



2023 コーポレート
シティズンシップ
レポート

目次



表紙の画像:インドのバンガロールにある施設の屋上に TI が初めてソーラー パネルを設置。

TI の概要 3

TI のコミットメント 4

最高経営責任者より	4
コーポレート シティズンシップに対する TI のコミットメント	5
2023 年のハイライト	6

環境への取り組み 7

環境に及ぼす影響の低減	8
目標と進捗状況	9
温室効果ガス排出量	10
エネルギー	11
水	12
廃棄物と原材料の管理	13
製品の流通	14

職場環境 15

TI での仕事	16
TI の従業員と価値基準	16
採用	17
多様性と包摂性	18
人材開発	20
給与と福利厚生	21
安全と健康	22

責任ある事業慣行 23

ガバナンス	24
エシックスおよびコンプライアンス	25
製品の品質	26
サプライ チェーン の責任	27
責任ある鉱物調達	29
人権と労働	30
リスク管理と事業継続性	31
情報保護	32
パブリック ポリシー	33

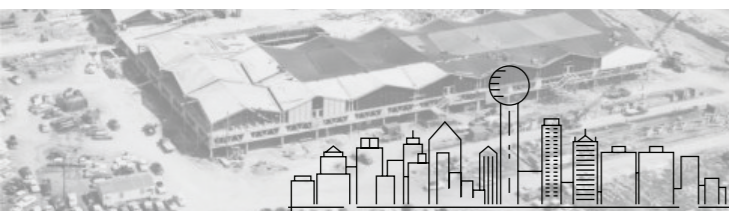
コミュニティに及ぼす影響 34

寄付	35
ボランティア活動	37

付録 38

実績データ	39
グローバル レポーティング イニシアティブ (GRI) インデックス	53
気候関連財務情報開示作業部会 (TCFD)	75
サステナビリティ会計基準委員会 (SASB)	76
社外への保証証明書	77

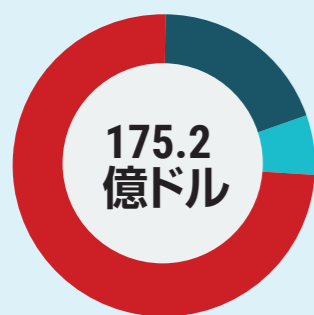
TI の概要



1930 年設立

本社はテキサス州ダラス

TI の半導体チップは、電気自動車、産業用ロボット、ソーラーパネル、人工衛星など、あらゆる種類のエレクトロニクス システムに搭載されています。



\$13.04 アナログ
\$3.37 組込み
\$1.11 その他

(10 億ドル単位)

資本的支出 : 51 億ドル
研究開発 : 19 億ドル



- 産業 - 40%
- 車載 - 34%
- パーソナル エレクトロニクス - 15%
- 通信用機器 - 5%
- エンタープライズ システム - 4%
- その他 - 2%



世界各地に合計 15 の製造拠点を置き、毎年数百億個のチップを製造

従業員約 34,000 人 (内
南北アメリカ: 約 15,000 人
アジア太平洋: 約 17,000 人
欧州: 約 2,000 人)



主な工場と設計拠点¹

テキサス州ダラス
メキシコ、アグアスカリエ
ンテス
日本、福島県会津
フィリピン、バギオ
インド、バンガロール
中国、成都
フィリピン、クラーク
ドイツ、フライジング

テキサス州ヒューストン
マレーシア、クアラルンプ
ール
ユタ州リーハイ
マレーシア、ムラカ
(マラッカ)
日本、茨城県美浦村
台湾、新台北
(新北市、シンペイ)

テキサス州リチャードソン
カリフォルニア州サンタ
クララ
中国、上海
テキサス州シャーマン
メイン州サウスポートラ
ンド
アリゾナ州ツーソン

約 80,000 点の製品を
100,000 社以上の顧客に提供

株式公開済み
(Nasdaq:TXN)



¹ TI が定義する主要運営拠点 とは、面積が 50,000 平方フィート (4,621 平方 m) 以上、または 2023 年 12 月 31 日時点で従業員数が 100 人を超える製造施設、設計拠点、および販売拠点のことです。

最高経営責任者より



TI (テキサス・インスツルメンツ) は数十年にわたり、半導体によってエレクトロニクスをだれもが手に届く手ごろなものにし、より良い世界を作り上げる、という熱意をもって事業を運営してきました。半導体技術は、世代を重ねるごとに信頼性が高まり、コストと消費電力は低減されています。今や半導体はあらゆる電子機器に搭載されるようになりました。私たちの情熱は今日も脈々と受け継がれ、より持続可能な未来を実現する新しいアプリケーションや電子機器の開発に活かされています。

しかし情熱だけでは十分ではありません。TI の創設者たちには、優れた企業を築き上げるには、長期的な成長に貢献する特別な文化が必要であるという知識や先見性がありました。長年にわたって、TI は 3 つの重要な目標を念頭に置いて事業を運営してきました。

- 第一に、私たちは、今後数十年にわたって会社を所有するオーナーのように行動します。
- 第二に、私たちは、絶えず変化を続ける世界に適応し、成功を収めます。
- 第三に、私たちは、社員であることを誇りに思える会社、地域の隣人として望ましい会社であることを目指します。

これらの目標は、TI の長期的な意思決定の指針となり、私たちの製品がより良い世界の創造に貢献することで、私たちの努力の結集はインパクトある長期的なものになると確信しています。

私たちは良き企業市民であることに誇りを持ち、私たちを取り巻くコミュニティや世界全体に以下の 2 つの形で影響を及ぼしています。

第一に、私たちの目標は TI が企業経営の指針を示すと同時に、持続可能性があり、社会的に思慮深く、環境に責任を持てる方法で事業を確実に進めるための土台になります。これらの目標の中心にあるのは、すべてのステークホルダーに有益な結果をもたらすために、会社は長期間にわたってより強力になるように成長を続ける必要がある、という確信です。

第二に、より良い世界を築き上げ、環境に及ぼす影響を低減するのに役立つ手段として、半導体は重要な役割を継続的に果たします。

エンジニアとして、私たちは幸運にも、お客様がより良い世界を創造するためのイノベーションを支援するエキサイティングな技術に携わることができます。技術は当社の基盤であり、当社の半導体製品は電気自動車やエネルギー貯蔵システム、再生可能エネルギーアプリケーションなど、多くのサステナブルテクノロジーの開発の核となっています。

2023 年には、社内の製造能力に対する投資と拡大を長期的な視野で継続するとともに、環境に及ぼす影響を低減し続けました。当社が持つ業界屈指の 300mm ウェハーファブの電力は、2025 年にはすべて再生可能電力でまかなわれる予定です。さらに、再生可能電力の割合は 2027 年に米国内の製造施設全体で 100%、2030 年には全世界で 100% に到達することを目標としています。

2023 年に TI 従業員が適応性を発揮し、行動したことを私は誇りに思います。私たちは、安全な職場環境を確保し、革新的なテクノロジーとアプリケーションを提供しています。また、顧客の需要を満たすために生産能力を増強するとともに、地域社会にも貢献してきました。

私たちは長期的に会社を所有するオーナーのように考え、絶えず変化を続ける世界に適応し成功を収め、TI のステークホルダーに誇らしく思われるような行動に努めます。これらの目標に継続的かつ誠実に取り組む TI に期待してください。私たちがこれらの目標の達成に成功すれば、TI の従業員、顧客、コミュニティ、ステークホルダーはいずれも勝者になることができます。

Haviv Ilan (ハビブ イラン)
社長および最高経営責任者 (CEO)

コーポレート シティズンシップに対する TI のコミットメント

TI は良好なコーポレート シティズンシップを維持し、私たちを取り巻くコミュニティと世界各地に以下の 2 つの形で影響を及ぼしていることを大いに誇りに思います。

- 第一に、私たちの目標は TI が企業経営の指針を示すと同時に、持続可能性があり、社会的に思慮深く、環境に責任を持つ方法で事業を確実に進めるための土台になります。これらの目標の中心にあるのは、すべてのステークホルダーに有益な結果をもたらすために、会社は長期間にわたってより強力になるように成長を続ける必要がある、という確信です。
- 第二に、より良い世界を築き上げ、環境への影響を低減するのに役立つ手段として、半導体は重要な役割を継続的に果たします。

2006 年以來、TI はプログラムに関する情報、複数の目標、各目標に関する進捗状況、関連データを公開してきました。その中で、良好なコーポレート シティズンの立場を維持するためのコミットメントの一環として、職場環境への取り組み、自然環境の維持、コミュニティに及ぼす影響を重視してきました。

レポートの概要

これまでの年と同様、TI の 2023 年コーポレート シティズンシップ レポートは、これらの広く受け入れられているレポート フレームワークを使用して、TI の事業に関連するさまざまな分野で TI がどのように考え、どのように行動しているか、という洞察を明らかにしています。

- グローバル レポートイニシアティブ (GRI)²
- 気候変動関連財務情報開示タスクフォース (TCFD)³
- サステナビリティ会計基準委員会 (SASB)⁴
- CDP (Carbon Disclosure Project: 炭素開示プロジェクト) の情報開示の枠組み⁵

これらの情報は [TI.com/citizenship](https://ti.com/citizenship) で開示されています。



A team of TIers volunteer to refresh the community garden outside of Ignacio Zaragoza Elementary School in Dallas, Texas.

² GRI (Global Reporting Initiative: グローバル報告構想) は国際的な独立機関であり、企業が自ら及ぼした影響に関する責任を負うことができるように、自らの影響を他者に伝達する際に使用できる、グローバルな共通言語や言い回しを企業に伝えます。

³ Financial Stability Board (財務安定性委員会) は、機構に関連する、より効果的な開示の勧告を策定するための TCFD (Task Force on Climate-Related Financial Disclosures: 気候関連財務情報開示作業部会) を設立しました。TCFD はいっそう多くの情報に基づいて、投資、与信、保険の査定に関する決定を推進することができます。

⁴ SASB は独立系の非営利団体であり、企業が自社の投資家に対して持続可能性 (サステナビリティ) 情報を開示するための指針となる一連の規格を制定しています。

⁵ CDP (Carbon Disclosure Project: 炭素開示プロジェクト) は非営利団体であり、投資家、企業、市町村、州や都道府県、および地域向けにグローバル開示システムを運用し、それぞれが環境に及ぼす影響を管理できるようにしています。

2023 年の主な出来事

2023 年、私たちは 従業員の育成と包括的な職場環境の構築、従業員の安全確保、環境に及ぼす影響の低減、そして地域社会に貢献する取り組みを継続して行ってきました。

TI での仕事

世界各地にいる 34,000 人の従業員は、互いに協力し、半導体を通じてエレクトロニクスをより手頃な価格で提供することで、より良い世界を作り上げようとしています。

30 時間以上 人材育成と多様性に関するプログラムに費やした時間

40 時間以上 TI 従業員あたりの平均学習時間

15 従業員リソース グループ



より強力なコミュニティの構築

社員であることを誇れる会社、そして地域の隣人として望ましい会社である、という TI の目標は、より強力なコミュニティを築くための TI の指針になります。

6,200 万ドル

TI、TI Foundation、従業員、退職者による寄付、およびその他の寄付

277,800 時間

他の人をサポートするために従業員と退職者がボランティアで費やした時間



持続可能な未来を作り上げる

TI はエネルギー、原材料消費量、水の使用量、さらに、温室効果ガス (GHG) の排出量を減らすために、自社の製造プロセスと機器への投資を継続してきました。

22% スコープ 1 とスコープ 2 の GHG 排出量削減 (2015 年との比較)

19% 使用した再生可能エネルギーの割合

84% 埋立地からの廃棄物の転用

29% 再利用した水の割合



環境への取り組み

TI は良き企業市民であることに大きな誇りを持ち、責任ある持続可能な製造に長年取り組んできました。私たちは、水を始めとする天然資源の保護、GHG (温室効果ガス) や大気汚染物質の排出削減、エネルギー消費の削減、埋め立てに回す廃棄物の転換といった長期にわたる環境サステナビリティプログラムを継続しています。

このほど、マレーシアのクアラルンプールにある TI の施設が拡張されました。同国に新たに設置されるアセンブリ / テスト施設 2 拠点の 1 つとなります。

環境に及ぼす影響の低減

TI は良き企業市民であることに大きな誇りを持ち、持続可能な製造と環境に対する責任に長年取り組んできました。

エレクトロニクス、特に産業用と車載用の市場において半導体の成長が将来にわたって続く予想されることから、この 10 年近く、環境の持続可能性に関する TI の取り組みには、半導体需要を満たすための長期的な製造能力計画に合わせた戦略が適用されてきました。

毎年数百億個のチップを製造する半導体メーカーとして、TI は製造プロセスの効率改善を最優先課題としています。私たちは、TI が取り組む事業の指針とするために、複数年にわたるサステナビリティ目標を設定しました。その目的は、GHG (温室効果ガス)、エネルギーと水の消費量、埋め立てに回す廃棄物の削減です (次ページの表を参照)。

加えて、製造活動が環境に及ぼす悪影響を低減するために、製造拠点全体で毎年多額の投資を行っています。以下はその例です。

- 水とエネルギーの節約に関する数百のプロジェクトを実施。
- より新しく、より効率的な製造技術を導入。
- 既存の工場設備を改修して先進の排出物低減技術を導入。
- 必須ではないフッ素ガスの使用を削減。
- 電力利用における再生可能エネルギー源の割合を着実に拡大。
- 原材料の再利用とリサイクル、有害ではない物質の使用を促進。

当社は製造能力を拡大する中で、これらの投資を通じて、サステナビリティに向けた取り組みを進めています。この 3 年間で TI が米国内で建設に着手、または操業を開始した 300mm 半導体ウェハー製造拠点は 5 か所です。

コミットメントの拡大

チップの製造量を増やすには、目標達成に向けたさらなる施策が必要です。2024 年初頭には、再生可能電力の利用拡大を通じてスコープ 2 の GHG (温室効果ガス) 排出量を減らす新たな野心的目標を発表しました。以下のスケジュールで再生可能エネルギー源の利用拡大を目指します。

- 2025 年までに TI の 300mm 半導体工場の 100%
- 2027 年までに米国内の製造施設の 100%
- 2030 年までに全世界の製造施設の 100%

投資の継続

2023 年、TI は、より高効率な排出物低減システムとリモート プラズマ洗浄法を導入し、前年よりも 93,572MWh (メガワット時) 多く再生可能電力を調達しました。TI におけるスコープ 1 とスコープ 2 の絶対 GHG 排出量は、製造能力拡大に伴う活動とエネルギー使用量の 3.9% の増加が原因で、2022 年と比べてわずかに増加しましたが、2015 年比では、これらの投資により、排出量が 22% 削減されています。

加えて、当社が実施した水利用効率化プロジェクトの結果、2023 年には、TI の 2022 年の水使用量の 4.1% に相当する 2 億 6,400 万ガロン (約 9 億 9,934 万リットル、100 万キロリットル、比重 1.0 として 100 万トン) の水を節約することができました。また、原材料の 84% を再利用することで、環境に及ぼす影響をさらに軽減しています。

もちろん、やるべきことはまだあります。私たちの目標は、長期間にわたる私たちの意思決定の指針であり、TI の製品はより良い世界を作り出すのに役立っています。このことを踏まえ、私たちの取り組みは影響力があり、長期的に持続すると確信しています。



ドイツのフライジングで高圧電力変換システムの設計に取り組む Harald Parzhuber

環境に及ぼす影響を低減する上で、今後もますます TI の半導体製品は重要な役割を果たします。当社の半導体は、より小さく効率的で、費用対効果の高い技術ソリューションをお客様が構築するのに役立っており、電動化、再生可能エネルギー、エネルギー貯蔵の分野で継続的な技術革新を進める原動力となっています。



環境に関する目標と進捗状況

TI は、GHG (温室効果ガス) 排出量、エネルギー、水、廃棄物の削減プログラムを進めています。以下の表に、TI の目標に向けた進捗状況を要約します。

重点項目	目標	2023 年末までの進捗
温室効果ガス排出量 排出物を削減するための TI の行動: <ul style="list-style-type: none"> 再生可能なエネルギーを購入します。 排出物を削減する機器を設置します。 地球温暖化係数がより小さい、代替のガスと化学薬品を使用します。 製品の製造、配送、流通を最適化します。 不必要な出張を減らし、特定の拠点で従業員の通勤費用を補助します。 	2025 年末までの目標: 2015 年の基準年に比べて、スコープ 1 と 2 の絶対排出量 (総量) を 25% 削減 ⁶ 。	GHG 排出量を 22% 削減。
エネルギー エネルギー消費量を削減するための TI の行動: <ul style="list-style-type: none"> 効率を最適化し、すべての新しい建物について LEED (Leadership in Energy and Environmental Design: エネルギーと環境を意識したデザインのリーダーシップ) Gold 認証⁷ を取得するために、ビルや製造拠点の設計と運用を実施します。 ツールや設備などの入れ替えや更新を行います。 センサや自動化制御装置を使用します。 日常的にエネルギー節約プロジェクトを実施します。 	2025 年末までの目標: 2015 年を基準年とし、チップあたりのエネルギーを 50% 削減。	チップあたりのエネルギーを 10% 削減。
水 水の消費量を削減し、再利用率を高めるための TI の行動: <ul style="list-style-type: none"> 逆浸透フィルタの回復率を最適化することによって、脱イオン水プラントの効率を改善します。 洗浄装置などの下流工程での用途を含め、事業全体で水を再利用する機会を模索します。 流量を改善し、製造ツールの水使用量を減らします。 他のプロセスで水を再使用することが可能になる、その他の製造ツールを特定します。 より多くの廃水を浄化できるように、マイクロフィルタ (精密ろ過器) とウルトラフィルタ (超精密ろ過器) の使用を拡大します。	2023 年の節約: 2022 年の合計水使用量の 3.4% 相当。	2022 年の合計水使用量の 4.1% 相当を節約。
廃棄物と原材料の管理 廃棄物と原材料の管理に関して、3 ステップのアプローチを適用: <ul style="list-style-type: none"> TI が何を必要としているかを検討します。 可能なものを再利用します。 許可されているものをリサイクルします。 	2023 年の転用: 埋め立て処分するはずだった固体原材料のうち、転用した比率:90%	埋め立て処分するはずだった固体原材料のうち、転用した比率:84%

⁶ World Business Council for Sustainable Development and World Resources Institute の「Greenhouse Gas Protocol: A Corporate Accounting and Reporting Standard (温室効果ガスの手順書: 企業の計算と報告に関する基準)」の規定が示すガイドラインに従い、TI の運用に関する構造的な変化を反映するために、2021 年コーポレート シティズンシップシティズンシップ レポートで、TI の 2015 年における GHG 排出量ベースラインを 2,471,357 から 2,832,709 MTCO₂e に調整しました。

⁷ LEED は、世界で最も広く認知されている、グリーン対応ビルのレーティング システムです。

Greenhouse gas emissions

GHG 排出量を減らすための TI のコミットメント

環境に及ぼす悪影響を低減し、効率を改善するために、TI は GHG 排出量とエネルギーの低減に関する目標を設定しています。2015 年⁸ を基準年とし、スコープ 1 と 2 の GHG の絶対排出量（総量）を 2025 年末までに 25% 削減することを意図しています。

TI が実施する取り組み

TI は長年にわたって、自社の事業、配送、流通チャネル、および自社のサプライチェーン全体で GHG 排出量を削減するために行動してきました。

スコープ 1

TI は製造に使用するガスと、天然ガスやディーゼル⁹ などオンサイトで消費する燃料を通じて、スコープ 1 の GHG 排出物を直接排出しています。TI は以下のような方法で、これらの排出量の削減に取り組んでいます。

- 製造に用いられる装置や技術をアップグレードして効率を向上。
- 代替のガスと化学薬品を使用し、必須ではないフッ素化ガスの使用を削減。
- 半導体の製造に使用するガスの排気に対処する、使用時点熱排出物低減装置をいくつかのツールに導入。

スコープ 2

TI は自らの製造または他の事業を目的として購入した電力によって、スコープ 2 の GHG（温室効果ガス）排出量を間接的に排出しています。排出量を削減するために、私たちは次のことに取り組んでいます。

- 世界各地で再生可能エネルギー源を購入、使用。
- TI の製造システム、ビル、ツールのエネルギー効率を向上。

スコープ 3

TI は CDP の年次調査で、出張に関するスコープ 3 排出量を報告しています。2024 年には、関係する上流と下流のすべてのスコープ 3 カテゴリについて、第三者による完全な計測と分析を実施する予定です。2025 年には、報告の対象となるスコープ 3 排出カテゴリを増やす予定です。

潜在的なリスクの監視

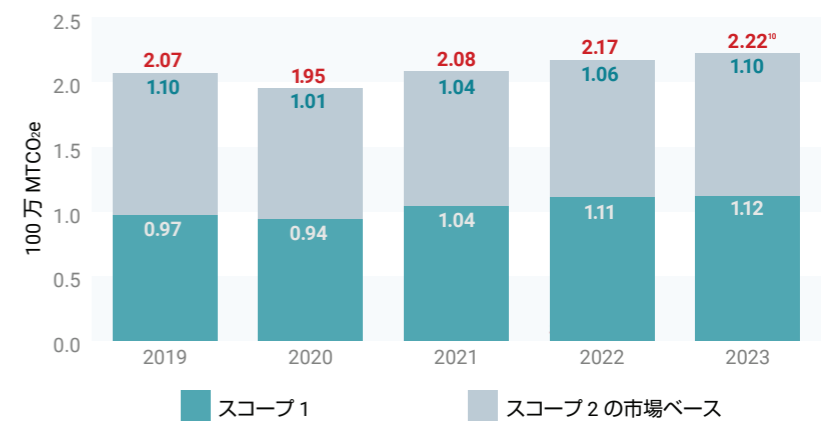
TI は気候変動に関連する潜在的なリスクと機会に関心を向け、それらを CDP への回答の最新版で詳細に説明しています。気候変動に関連するガバナンスと管理の方針については、TI の CDP への回答や、GRI Index (GRI インデックス) の排出物セクション (Emissions section)、TCFD Index (TCFD インデックス) を参照してください。

実績

2023 年末の時点でスコープ 1 と 2 の絶対排出量（総量）を 2015 年比で 22% 削減しました。再生可能電力の使用と排出物低減装置や効率化技術の導入によって、TI は、2022 年と比較してエネルギー使用量が 3.9% 増加したにもかかわらず、GHG の増加を 2.0% に抑えています。

GHG の詳細なデータについては、付録の「実績データ」をご覧ください。

GHG 総排出量 (CO₂ 換算百万トン)



⁸ 2021 年コーポレート シチズンシップ レポートでは、TI の経営に関する構造的な変化を反映するために、2015 年における GHG 排出量ベースラインを調整しました。それらの変化に該当するのは、スコットランドでの水製造プラントの引き上げと、米国ユタ州での 300mm ウェハー製造プラントの買収です。

⁹ FHTF (フッ化熱伝達液) からの排出量は、計算方法とガイダンスが異なるため、本コーポレート シチズンシップ レポートには含めていません。半導体の排出物を追跡する組織である、WSC (世界半導体会議) の現時点の報告ガイダンスによると、FHTF の追跡と報告に関する要件は存在していません。米国環境保護庁 (EPA) が、EPA への情報開示に関して最近導入したルールは FHTF (キログラム単位の量) を含めており、TI はこの要件に適合しています。WSC は最近、FHTF を含めている 2019 年の IPCC (気候変動に関する政府間パネル) ガイダンスに合わせて移行する方針で、すべての地域を調整しました。TI は 2019 年の IPCC ガイダンスに移行するタイミングを検討しており、その方針を採用する際に FHTF 排出量を含める予定です。FHTF からの排出量は、2023 年のスコープ 1 とスコープ 2 の GHG 排出量の約 5% と見積もっています。

¹⁰ 2022 年と 2023 年に TI が排出したスコープ 1 と 2 の GHG については、ERM CVS (認証と検証サービス) から限定的保証が提供されています。保証声明書をご覧ください。

エネルギー

クリーン エネルギーと節約に向けたコミットメント

TI は、世界各国の設計、製造、アセンブリ / テスト施設において、エネルギー消費量を減らし、化石燃料への依存度を下げするために、10 年以上にわたり多大な投資を行ってきました。

2024 年初頭には、今後 6 年間でクリーン エネルギーの使用をさらに促進する一連の目標を発表しました (詳細については、「[環境に及ぼす影響の低減](#)」を参照)。

TI が実施する取り組み

TI は毎年、各拠点で年間削減目標を設定し、200 以上の効率化プロジェクトを実施し、再生可能電力を購入して GHG (温室効果ガス) と公共料金コストを削減しています。エネルギーを節約するために、次のような取り組みも行っています。

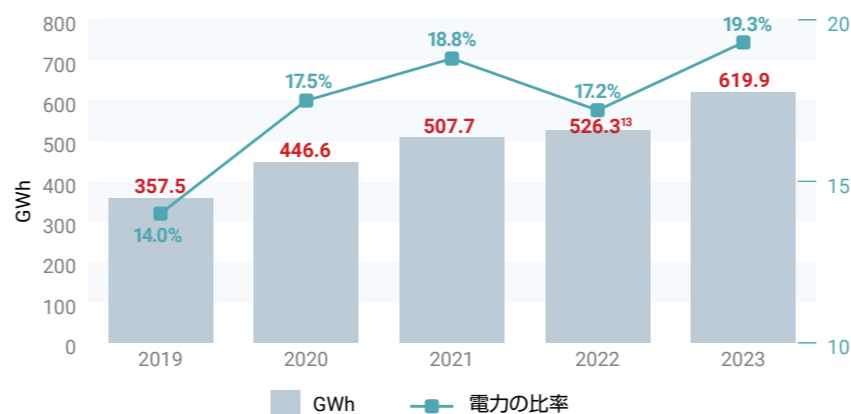
- 新しい建物や製造拠点の LEED Gold 認証を取得。
- 各種ツールと機器のアップグレードと更新を実施。
- 各種センサと他の自動化制御機器を使用。
- 冷却水プラントの制御を改善し、設定ポイントを最適化。
- TI のエア ハンドリング システムに、エネルギー効率の優れた LED 照明、ファン、ドライブ メカニズムを設置。

これらの取り組みは、直近の 5 年間で TI の製造量が 9% 増えたにもかかわらず、同じ期間内に 326GWh (ギガワット時) 以上のエネルギーを節約 (削減) するのに役立ちました。

実績

再生可能電力は現在、TI のエネルギー ミックス全体の 19.3% を占めています。テキサスとインドで風力および太陽光発電の購入量を増やした結果、619.9GWh のクリーン エネルギーを調達することができました。ユタ州リーハイとテキサス州リチャードソンにある最新施設 2 拠点での製造能力拡大に伴う活動によって、TI が消費したエネルギーは、2022 年の 3.75 テラワット時 (TWh) から 2023 年¹² の 3.89TWh に増加しています。

電力総量を基準とした再生可能電力の比率



2015 年を基準年とし、世界各地の製造拠点におけるチップあたりのエネルギー使用量を 2025 年末までにその 50% に削減するという当初のエネルギー インテンシティ目標から後退することとなりました。エネルギー インテンシティとは、1 つのチップを製造するために必要なエネルギーの量です。

新しい拠点での製造能力拡大が進んでおり、エネルギー消費が増えています。また最大製造能力でウェハーが製造されておらず、そのことがエネルギー インテンシティのレベルに影響しています。お客様の要件に合うウェハーが製造され、認定される以前に、各拠点の製造能力を拡大するプロセスが多くのエネルギーを消費することから、当初の 50% の削減目標を達成することは困難となる見通しです。

しかし、2023 年に実施された効率化プロジェクトにより、約 80GWh のエネルギーを節約することに成功しています。

エネルギー データの詳細については、付録の「[実績データ](#)」をご覧ください。TI がエネルギー使用量を管理する方法の詳細については、[CDP への回答の最新版](#)と [GRI Index \(GRI インデックス\) の Energy \(エネルギー\) セクション](#)をご覧ください。



LEED Gold バージョン 4 を取得した米国初の工場

RFAB2 は 2008 年の最初の LEED Gold 認証取得に続き、2023 年に高性能のグリーン対応建造物に関する持続可能な設計、建設、運用を対象とする、さらに厳格な LEED Gold バージョン 4 認証を取得した米国初、世界全体では 4 番目のウェハー ファブとなりました。TI は環境責任に対して全社的に取り組んでおり、年間 7 億 5,000 万ガロン (約 28 億 3,905 万リットル、284 万キロリットル、比重 1.0 として 284 万トン) の飲料水と約 80,000 メガワット時 (MWh) のエネルギーを節約できる見込みです。



¹² 2022 年と 2023 年に TI が使用したエネルギーと再生可能電力については、ERM CVS から限定的保証が提供されています。[保証声明書](#)をご覧ください。

¹³ テキサス州北部のプロジェクトは 2022 年 12 月に運用を開始しましたが、同月に生成された再生可能エネルギーは 2022 年の再生可能エネルギー総量に含まれていません。複数の新しい工場が稼働を開始し、製造量が増加したことが原因で、2022 年に再生可能エネルギーの調達量と使用量が増加したにもかかわらず、再生可能電力がエネルギー総量に占めるパーセンテージは減少しました。

水

節約に向けた TI の取り組み

TI は、責任ある効率的な水の使用に取り組んでいます。コストを削減し、長期的な水の供給を促進するために、私たちは処理水と飲料水を節約し、廃水の処理とリサイクルに取り組んでいます。最近 5 年間で、TI は 9 億 200 万ガロン (約 34 億 1,444 万リットル、341 万キロリットル、比重 1.0 として 341 万トン) の水を節約してきました。

2023 年には、2022 年の合計水使用量の 3.4% 相当の節約を目標に掲げました。

TI が実施する取り組み

TI が毎年実施するプロジェクトでは、事業全体での水の総消費量を削減し、再利用する水の量を増やしてリサイクルを行うことで、公共の給水インフラからの全体的な取水量を削減しています。以下はその例です。

- 脱イオン水プラントを最適化して、逆浸透フィルタの回復率を改善。
- 流量を改善して製造装置の水使用量を削減し、他のプロセスで水を再利用。
- マイクロフィルタ (精密ろ過器) とウルトラフィルタ (超精密ろ過器) の使用を拡大することで、より多くの廃水を浄化。
- 冷却塔に送り込む、凝縮と精密ろ過を実施した水の量を最大化。
- 製造に使用した水を浄化し、水質を高めてリサイクルした後、超純水プラントの入力に戻す。

水質の監視

TI は各製造拠点で、水の取水量と水質を定期的に監視し、社内基準と規制基準を維持するために、定期的な試験を実施しています。さらに TI は各製造拠点で、標準的な排水パラメータに基づいて水の排出量と水質を追跡しています。

廃水の管理

TI は、社内の基準、プログラム、手続きも制定済みであり、すべての拠点で発生した廃水が、地元、州、国家の放水要件を確実に満たせるようにしています。パラメータは、半導体業界の基準です。通常、生物化学的酸素要求量 (BOD)、総懸濁固体量、金属量、pH (ペーハー)、温度などが該当します。

また、以下の項目も実行します。

- 金属、有害な有機化合物、硝酸塩、硫化物のような物質を制限するか、放水を行う前に廃水から除去します。
- 溶剤、濃縮された金属、または酸性溶液を含有している廃水のスラッジ (泥滓、ヘドロ) を収集し、法規制要件に従ってそれらを拠点外で処分します。場合によっては、TI はそれらの化合物を廃物再生利用施設に転送し、他の業界で再利用できるようにしています。
- 必須である廃水のサンプル採取を定期的に行い、運用を確実に自社の許容限度内に収めます。

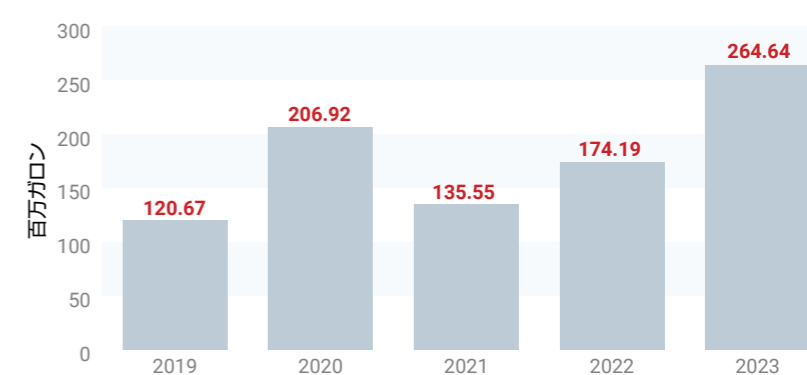
加えて TI は、法規制の限度および許容可能な限度に適合するように、自社の廃水処理システムの維持と最適化を行います。

実績

2023 年に実施した節減プロジェクトによって、TI は 2 億 6,400 万ガロン (約 9 億 9,934 万リットル、100 万キロリットル、比重 1.0 として 100 万トン) の水を節約しました。これは TI の 2022 年の水の使用量の 4.1% に相当します。取水量が 1.2% 増加した一方で、水の総使用量は 0.2% 減少しました。また、年間で 28.5% に相当する約 26 億ガロン (98 億 4,207 万リットル、984.2 万キロリットル、比重 1.0 として 984.2 万トン) の水を再利用しました。水の詳細なデータについては、付録の「[実績データ](#)」をご覧ください。

TI による水の使用、再利用、放出の管理戦略については詳しくは、TI の [CDP への回答](#) の最新版と GRI Index (GRI インデックス) の [水と廃水 \(Water and Wastewater\)](#) のセクションをご覧ください。

水の節約



廃棄物と原材料の管理

埋め立てに回す廃棄物の量を減らすための TI のコミットメント

環境を保護し、埋め立てに回す廃棄物の量を低減するために、TI は、原材料と化学物質の使用と廃棄を責任ある方法で管理しています。TI は、環境に及ぼす影響を低減するために、廃棄物の 90% を埋め立て処分する代わりに転用するという年間目標を設定しています。

TI が実施する取り組み

リサイクルや再利用ができない廃棄物や原材料は、連邦政府、州政府、および地元の該当する法令に従って適切に廃棄しているほか、以下の行動に最大の努力を払っています。

TI が何を必要としているかを検討します。

TI は原材料と化学物質の購入時点で、発生する可能性のある廃棄物について考慮するほか、既存の原材料を再利用するか、リサイクル済み原材料を購入するか、環境との親和性が高い品目を選択するかを検討します。

可能なものを再利用します。

TI は以下の方法で原材料と化学物質を再利用します。

- 固体、液体、廃水、その他の原材料から金属を回収します。
- 使用済みと余剰の化学物質、化学物質容器、古くなった製造機器を他の目的に振り向けるか、再販売します。
- ウェハー キャリアやフード サービスの食器を再利用します。

許可されているものをリサイクルします。

TI のリサイクル可能な原材料と化学物質は、主に自社のオフィスと製造拠点から調達されます。各地域の要件に従って、これらの管理と統制を実施します。

化学物質とガスや気体の管理

半導体の製造には、有害または有害ではない化学物質とガスの使用が関係します。そのため、TI の製品管理システムでは厳格な管理をしています。以下の方針に従います。

- TI 従業員、拠点のあるコミュニティ、および消費者を保護するために、最も安全で最もリスクが低い原材料を特定し、使用します。可能な場合、TI は特定の洗浄用途で化学薬品の代わりに高圧水を使用するか、化学薬品を環境に優しいものに置き換えます。
- 入荷するすべての原材料や化学物質の受入検査を実施し、規

制と顧客の要件の両方に準拠できるようにします。

- サプライヤとの契約の中で化学物質に関連する制約と基準を規定します。
- 新しい科学情報が入手可能になり、新しい規制が有効になった時点で、各原材料が ESH (環境、安全性、健康) に及ぼす潜在的な影響を評価します。
- 化学物質の購入、輸送、追跡、廃棄を責任ある方法で実施するために、厳格な基準と条項に従います。
- 個人用保護機器の適切な使用を含め、化学物資または有害物質の使用、ラベル表記、保管、廃棄に関する具体的な手順とトレーニングを提供します。
- 通気制御機能、排出物低減システム、漏洩検出器、適切な処理技術を使用しています。

TI でのスクリーニング プロセス中に原材料または化学物質に関する懸念が発生した場合、社内の各種関連部門に所属している専門家で構成される審査委員会に、その懸念事項をエスカレートさせます。ある原材料または化学物質が製造に必要であるにもかかわらず、依然として懸念事項が発生する場合、TI の製造責任者はその状況を見直し、必要に応じて、より安全な代替品を探すか、または使用に関するより厳格な管理を実施します。

含有原材料に関する透明性

原材料に関するグローバルな制約と法規制への適合を確実にするために TI が行う対策について、その概要を示す資料とリソースをお客様に提供しています。以下はその例です。

- 規制対象である化学物質と原材料の仕様。
- TI の制限化学物質と原材料。
- 環境と製品への責任に関する TI のアプローチ。
- 使用原材料を検索するためのツールや、制限化学物質テスト レポートをダウンロードするためのツール、製品の特定有害物質使用制限指令 (Restriction of Hazardous Substances Directive, RoHS)、化学物質の登録、評価、認可および制限 (Registration, Evaluation, Authorization and Restriction of Chemical Substances, REACH)、グリーン ステータスを検索するためのツール。
- 品質、信頼性、パッケージングに関するデータ。
- 鉛フリーへの転換。
- Low Halogen (Green) Statement (低ハロゲン (グリーン対応) に関する声明)。
- 環境に関する FAQ (よくある質問)。

実績

2023 年に発生した 50,747 トンの廃棄物と余剰原材料のうち 84% を埋め立て処分ではなく他の用途に振り向けましたが、目標達成には至りませんでした。詳細なデータについては、付録の「実績データ」をご覧ください。TI が原材料を管理する方法の詳細については、GRI インデックスの廃棄物 (Waste) セクションをご覧ください。

電卓のリサイクル

TI の教育用電卓は、中学から高校、大学まで、学生が長く使えるように設計されています。しかし、いずれ電卓を使わなくなる日はやってきます。

電卓をリサイクルしたいというお客様の声を受け、TI の教

育用テクノロジー部門では、責任あるリサイクルのために電卓を回収するサービスを導入しました。2023 年には、埋め立て処分されるはずだった約 21,000 トンの電子機器廃棄物を転用しています。



製品の流通



TI はお客様へのタイムリーな配送を保証し、国際輸送規制を遵守し、環境への影響を軽減するために自社製品を効率的に梱包して出荷するよう努めています。

TI が実施する取り組み

TI の製品流通センター (PDC) はプラスチックの消費量を念頭に置き、実行可能な場合は、プラスチック製のダンネージ (輸送用トレイなどの梱包材) を外部向けの配送パッケージングに 2 次使用しています。パッケージングの廃棄物を削減するために、TI はさまざまな原材料の再利用とリサイクルを実施しています。

次に例を示します。

- 配送の回数を減らすため、1 回の配送に詰める製品の数を多くします。また、注文された製品の寸法に合わせて箱の大きさを調整する技術を導入し、ダンネージ (梱包材) の量を減らします。
- 梱包の際に、リサイクル可能かつ再利用可能でリサイクル済み物質を採用したエア緩衝材を使用しています。TI のいくつかの PDC は、シュレッダー処理後の廃棄段ボールをダンネージ (梱包材) として内容品保護に活用しています。
- お客様と協力し、配送に関するニーズに合わせて、可能な場合は一括で配送を実施しています。この慣行の採用により、航空便を使用する場合でも、より手ごろな出荷オプションが使用できる時期を想定して、優先順位の低い航空便を使用する方針に相互で合意することができます。
- 入荷する 300mm ウェハの輸送には、再利用可能なコンテナが最大限に活用されています。空になったコンテナは返却するか、社内で再利用します。

- 配送時に製品を保護する梱包材 (発泡エア パッキンやフォーム緩衝材など) や、配送資材 (箱、木枠、パレットなど)、貴金属を回収できる品目をサプライヤ宛に配送するためのケース、および製品の流通に使用するプラスチック製リールを再利用しています。
- お客様への配送用パレットの再利用、廃材からのトレイやリールの再利用、TI.com からの配送に使用されるダンネージ (エアキャップなどの梱包材) の再利用など、さまざまな方法で入荷のダンネージを再利用し、プラスチック使用量をさらに削減しています。
- 欧州連合 (EU) の Waste Electrical and Electronic Equipment (WEEE、廃電気電子製品) と EU の Packaging and Packaging Waste (包装廃棄物) リサイクル プログラムに準拠し、EU 管轄地域に輸入する評価基板に適用しています。
- 自社の PDC をお客様に近い地域に配置することで、納期の短縮、効率化、また災害時の製品配送の円滑化を実現します。
- 特定の市場への出荷を対象に、重くて高価な特注の発泡材やリサイクルできない発泡材、プラスチック ラップの使用を廃止します。
- いくつかの自社 PDC では、プラスチックと段ボールの廃棄物を排除するために、配送用の箱の代わりに、再利用可能な金属製コンテナを使用しています。

TI が製品内容のラベルを管理する方法の詳細については、GRI インデックスの [マーケティングとラベル \(Marketing and Labeling\) セクション](#) をご覧ください。

職場環境

TIには、34,000人のワールドクラスの優れた社員がいます。これらの人々を英語では Tlers、つまり TI 従業員と呼んでいます。彼らは、熱心に課題に取り組み、エレクトロニクスの将来を描いています。

入社したその日から、刺激的でやりがいのある仕事で個人の能力を発揮できる、それが TI が従業員に選ばれる理由です。

Working at TI

「私たちは、TI で築き上げている企業文化を誇りに思っています。多様で包括的な環境は、グローバルチームが垣根なくオープンに対話を持ち、より多くのコラボレーションとより高いレベルのイノベーションを実現するために不可欠であると考えています。私たちは、すべての TI 社員 (Tler) が、拠点や職種にかかわらず最善の業務を遂行し、会社全体の成功に貢献してくれることを望んでいます」。

– Haviv Ilan (ハビブ イラン)、
社長兼 CEO (最高経営責任者)



TI には、半導体を通じてエレクトロニクスをより低コストで入手できるようにして、より良い世界を築き上げるといった熱意があります。

真空管からトランジスタへ、さらに IC (集積回路) へと世界が移り変わる際に、TI は先駆者として行動してきました。また、数十年にわたって IC のテクノロジーを進歩させ、信頼性の高い方法で IC を大量生産する能力を実証してきました。

各世代の革新は、それより前の世代を土台として、技術の小型化、効率と信頼性の向上、低コスト化に貢献しています。コネクテッドカーからインテリジェント ホーム、ドローンやスマートフォンにいたるまで、身の回りの多様な製品の内部で、TI の革新は機能を果たしています。

TI は以下の 3 つの目標を考慮して会社を運営し、この熱意を継

続的な現実へと確実に変えようとしています。

- 私たちは、長い間会社を所有するオーナーのように行動します。
- 私たちは、絶えず変化を続ける世界に適応していきます。
- 私たちは、社員であることを誇りに思える会社、地域の隣人として望ましい会社であることを目指します。

私たちがこれらの目標の達成に成功すれば、TI の従業員、お客様、コミュニティ、ステークホルダーはいずれも勝者になることができます。

TI の価値基準



TI の価値基準とは、私たちと私たちの行動を定義する 5 つの原理原則です。これらの原理原則によって、今後数十年にわたって、より強く会社を成長させることができます。

信頼性

最初に、信頼できる人間になります。誠実な行動をとり、常に正しいことを実行します。TI は、社会的責任に沿った事業運営を行います。信頼されるということは、会社として、個人としての私たちの基礎です。

多様性

多様性は成功へと導きます。全員の能力を引き出し、敬意をもって互いに接し、互いの違いを尊重するとともに、考えやアイデアを出し合うよう促す環境を作り上げます。

革新的

革新的であることで成功します。私たちは、魅力的な製品を製造し、新しい市場を開拓し、競争力を高める新しいテクノロジーを思い描きます。私たちは好奇心を維持し、粘り強く努力を続けると同時に、障壁を克服するために決意を抱いています。

競争力

私たちは競争が不可欠であることを理解しています。私たちは敗北を望みません。そのため、最善を尽くせるように、自らに対して継続的に課題を課します。私たちは、持続可能な成長を実現できるように、最善の機会に投資します。競争力を維持するために、TI は優秀な人材を採用し、能力開発を進め、維持します。

結果重視

TI は結果を重視し、責任ある言動を心がけています。お客様には複数の選択肢があります。TI は緊急性を持って行動し、お客様が TI を継続的に選択してくださるよう物事に取り組みます。お客様の成功を支援するために、私たちは業務を継続的に改善します。

Recruitment

業界で最高クラス的能力と創意工夫、成功実現力のある人材を採用し、雇用を継続することが、TI の成長と発展を左右します。

TI は革新と成長を推進するために、多様な経験と背景を持つ従

Change the world.
Love your job.

業員を雇用する目的で、多面的なアプローチを採用しています。次に例を示します。

- TI は就職フェア、説明会、ネットワークおよびキャリア準備イベント、さまざまな学生団体や専門団体とのパートナーシップを通じて、工学と経営を専攻するトップクラスの学生に TI のインターンシップへの参加や就職を積極的に働きかけます。
- TI は複数のコミュニティ カレッジや高校と緊密に連携し、現在および将来の TI の製造拠点に向けて、技術者やメンテナンス整備士の採用と育成を行っています。
- TI は、HBCU (Historically Black Colleges and Universities: 歴史的ないきさつで黒人主体の専門学校と大学) を含む大学や、SWE (Society of Women Engineers: 全米女性技術者団体) などの業界をリードする組織とのパートナーシップを通じて、多様な人材のパイプラインを積極的に構築しています。
- TI は、米国の各大学や 2 年制の技術教育機関にある退役軍人サービス団体、軍事基地、RecruitMilitary などの組織を通じて、スキルのある退役軍人を雇用しています。

アンケートの結果、従業員は、TI が提供する以下の職場環境を理由に入社を決めたことがわかっています。

- 入社したその日から能力を発揮できる刺激的でやりがいのある仕事。
- 問題解決に力を尽くして未来を形づくる人々と協力し合う機会。
- 従業員の生活向上に役立つ、競争力のある給与と充実した福利厚生。
- 絶えず成長を追求できるキャリア開発の機会。

- 考えやアイデアを自由に発言できる包摂的で多様性のある文化。
- TI 従業員とその家族が個々の生活を最大限に充実させることができるフレキシブルな勤務オプション。

TI でのインターンシップ

TI のインターン生は、各自が学んできた知識や技能を生かして、関心のあるプロジェクトで重視される慣行を身に着けることができます。2023 年には、世界 26 か国で 2,400 人以上のインターン生を受け入れ、実習生の数は過去最多となりました。インターンシップを利用することで、やりがいのあるプロジェクトに取り組み、魅力的なプログラムに参加して、能力開発の機会を得ることができます。

それは、TI が WayUp から 4 年連続でトップ 100 インターンシップ プログラムに選ばれた理由のほんの一部にすぎません。



受賞とランキング

2023 年に、TI は世界各地で 30 以上の賞賛と評価を受けました。これらの受賞は、多様で包摂的な職場環境の醸成、TI 従業員の育成、キャリアを発展させるための機会の構築を TI が重視していることを評価したものです。各受賞は、価値基準に基づく行動と、誇りを持てる会社になるための TI の取り組みを反映しています。



TI の採用プログラムの詳細については、GRI Index (GRI インデックス) の **Employment (雇用)** と **Labor/Management Relations (労使関係)** の各セクションをご覧ください。careers.TI.com にアクセスしてください。

多様性と包摂性

私たちは、アイデアを尊重し、奨励し、社員が成功し、長期的なキャリアを築くことができると認識する、包摂的な文化の構築に取り組んでいます。多様なバックグラウンドと視点は、TI 製品のいつもの革新と会社の強化につながっています。

包摂的な環境に対する TI の取り組みは、以下の 3 つの戦略的な優先事項を重視しています。

- あらゆる階層で多様性を具体的に表現する。
- 包摂的で帰属意識が持てる社内文化を作り出す。
- TI 従業員が生活と労働の拠点にしている地域に影響を及ぼす。

TI は、これらの優先事項を取り巻くグローバルな包摂的プログラムを意図的に策定してきました。その目的は、会社があらゆる人の意見に価値を見だし、TI 従業員が自分自身をフルに発揮して、アイデアを共有することを奨励する流れを強化することです。以下に挙げたのは、私たちの取り組みの例です。

- **社内プロセスでの偏見の低減**
TI は、入社希望者との面談、業務実績の再確認、人材の再評価、報酬の支払い、昇進の決定をする際に、社内プロセスで偏見を低減することを重視しています。客観的な基準と複数の情報源から取得したフィードバックを使用して専門職としての成長を評価するほか、業務実績を評価するときに独立したフィードバックを収集することができます。
- **重要な事項に関する対話**
TI が包摂的な文化を互いに協力して築くために用いている方法のひとつが、グループベースのディスカッション グループです。そこでは、世界中の何百人もの TI 従業員それぞれの個人的な経験が尊重されます。こうした対話グループの目的は、自己認識能力を高めるとともに、排他的な行動を阻止し、ステレオタイプに立ち向かうスキルを身に付けることです。
- **私たちのコミュニティに影響を及ぼす変化**
TI は、非営利団体の役員を務めたり、継続的なボランティア活動や寄付キャンペーンに参加したり、より包摂的なコミュニティを構築するために活動したり、また年間を通じて意識向上を広め、教育を推進するために働く際に、従業員の活動を支援します。

私たちが目指すのは、従業員一人ひとりが生き生きと働ける環境です。TI の希望は、経歴等のバックグラウンドや働き方、考え方や、または違いにかかわらず、TI 従業員全員が自分らしく、仕事に全力を注げることです。

労働力の比率

TI は数十年にわたり、職場環境の多様性に関して継続的に取り組んできました。TI の職場が包摂的であると考えられる従業員は、2023 年の従業員エンゲージメント調査によると、全世界の従業員の 87% に上ります。終わりのない仕事ではありますが、私たちは着実に前進しています。

TI は性別、人種、民族という人口学的な分類に対する従業員の相対的な比率を定期的に評価し、どこにギャップが存在するのか、またあらゆる階層で多様性を目指して進捗を継続するために、どの分野をより重視する必要があるのか理解できるようにしています。今後も、高校、大学、非営利団体とのパートナーシップを通じて、工学分野に秀でた多様な学生の人材供給の流れを強化していきます。

詳しい労働力の比率データについては、付録の「実績データ」と、当社の最新の EEO-1 報告書をご覧ください。

36%

米国でシニア リーダーシップの役割を担う女性 (2023 年)

28%

世界の技術職における女性の地位向上 (2020 年比)

23%

当社の米国の労働力における黒人とヒスパニックの割合 (2023 年)



帰属意識

TI の従業員リソース グループ (ERG) が提供するコミュニティは、開かれた対話や教育、ボランティア、福利厚生、専門性の人材開発、業務に関与する機会を通じて、帰属意識を高めることに寄与します。

TI 従業員が主導する各 ERG には、会社の価値基準とビジネス上の目標に沿った目標と目的があります。また、各 ERG は、少なくとも 1 人の TI 役員からの支援を受けます。

世界各地の ERG とその地域支部が一体となって TI ダイバーシティ ネットワーク (TIDN) を構成し、従業員にとって重要なトピックについて教育し、その重要性を高める役割を果たしています。どのネットワークもすべての TI 従業員に開かれており、当社では従業員がネットワークに参加して関わりを持つことを推奨しています。2023 年には、8,000 人以上の TI 従業員が少なくとも 1 つのネットワークに参加しています。

私たちは、キャリア、会社の影響力、文化、コミュニティという 4 つの重点分野を通じて多様性と包摂性の戦略を支援し、毎年開催される TIDN アワードでは、これらの優先事項に対する ERG の影響を評価しています。

- **キャリア** - TI の Unidos! Employee Network (団結従業員ネットワーク) は、TI でのキャリアパスの築き方や、組織構造、方向性をより具体的に理解するための能力開発を従業員に提供する取り組みが評価され、優れたキャリアへの影響を称える部門で最優秀賞を受賞しました。
- **会社の影響力** - TI の Veterans Employee Network (退役軍人従業員ネットワーク) は、革新と成長の原動力となる人材の獲得と維持に尽力したことが評価され、優れた会社の影響力を称える賞を受賞しました。VALOR プログラムでは人材獲得組織と緊密に連携し、兵役を終えて市民生活に戻る軍人に、TI で半導体製造のキャリアを築く素晴らしい機会をもたらしました。

- **文化** - Black Employee Network (BEN、黒人従業員ネットワーク) は、啓蒙イベントを通じて従業員やその独自の文化を尊重する活動が評価され、優れた文化的影響力を称える賞を 2 年連続で受賞しました。「Conversations with BEN (BEN との対話)」という 1 年間に及ぶシリーズでは、いくつかのイベントが開催され、メンタルヘルスや大学から社会人への移行を含む一連のトピックについて従業員が体験を共有し、コミュニティを形成しました。TI 従業員を魅了した Lunar New Year celebration (旧正月の祭典) は、Asian Alliance Employee Network (アジア アライアンス従業員ネットワーク) と共同で、文化的に優れた影響をもたらしたとして表彰されました。
- **コミュニティ** - TI の Unidos! Employee Network (団結従業員ネットワーク) は、STEM に重点を置いた、地域社会の非営利団体の支援が評価され、コミュニティへの優れた影響を称える賞を受賞しました。地域社会に関与する同ネットワークの計画的で多層的なアプローチは助成金の適用となり、TI のボランティアも参加しています。また、協力関係と効果を継続させるために、専任の調整役が任命されました。

TI がどのように多様性と包摂性を支持しているか、また、地域社会における専門能力開発、メンタリング、文化的意識、ボランティア活動を支援する有効なプログラムをどのように提供しているかについて詳しくは、[TI.com](#) をご覧ください。TI が多様性と包摂性を管理する方法の詳細については、GRI Index (GRI インデックス) の [Diversity and Equal Opportunity \(多様性と機会均等\)](#) をご覧ください。

私たちは、従業員すべての声を大切にします

TI の多様性のあるバックグラウンドと視点は、製品の革新性を高め、会社を強くし、より包摂的な環境をつくるうえで重要な要素となっています。

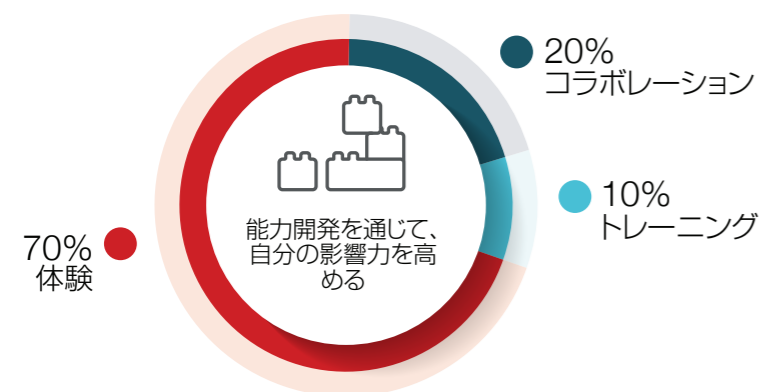


人材開発

TI は、社内の人材に投資しています。従業員それぞれのスキルと関心に合った柔軟なキャリアパスを用意することで、従業員のキャリアの長期的成功を支援します。TI は、TI 従業員が個人の目標を設定し、個人の能力開発計画を策定した後、成功に必要なスキルを特定して身に付けることができるように、従業員を支援します。

学習と能力開発

TI では、新入社員からベテラン社員まで、すべての TI 従業員が影響力を高め、常に向上心を持てるよう、体系的な学習と能力開発の機会を組織内のすべての階層で提供しています。



従業員はいつでも、雇用とラーニングに関する社内のシステムにアクセスし、職業経験の探索や能力開発パスの図式化、または必須のトレーニング モジュールや他のラーニング モジュールを修了することができます。2023 年の TI 従業員 1 人あたりの平均学習時間は 40.1 時間でした。

TI でのキャリア形成

キャリア形成における成功とは、自己の能力と影響力の継続的成長です。私たちは従業員のスキルと関心に応じて、各自の専門能力を高め、キャリアの道のりを描くツールとリソースを提供しています。ほとんどのキャリアパスは、組織内での昇進、特定分野における専門性の追求、さまざまな分野での幅広い経験の獲得など、さまざまな要素が組み合わさってできています。

早期の職業経験

新卒者は、キャリア アクセラレーター プログラムなど、さまざま

なプログラムに参加することができます。新卒者が最高のパフォーマンスを発揮し、キャリアの成長を加速させることができるよう、ツール、プロセス、基本スキルに関する集中トレーニングを提供する 1 年間のプログラムです。

また、早期キャリア ピボット ラーニング ロール (ECPLR、Early Career Pivotal Learning Role) プログラムは、高いパフォーマンスを発揮する若手従業員を対象にした選抜プログラムであり、TI 全体のリーダーや技術エキスパート、スタッフと緊密に連携しながら、さまざまな役割や新しいスキル セットを学ぶ機会を参加者に提供します。

ビジネス リーダー

TI のマネージャの大半は TI でキャリアをスタートさせました。また、幹部レベルのリーダーも大部分が社内からの昇進です。私たちは、TI 従業員が管理職として成功を収めることができるよう、個人貢献者からマネージャ、上位管理者への昇進を各種のプログラムやリソースで支援します。これには、リーダーシップが及ぼす影響、主な利害関係者との関係を構築する方法、戦略を策定して適切に伝達する方法を理解するための技術的スキルと行動スキルが含まれます。

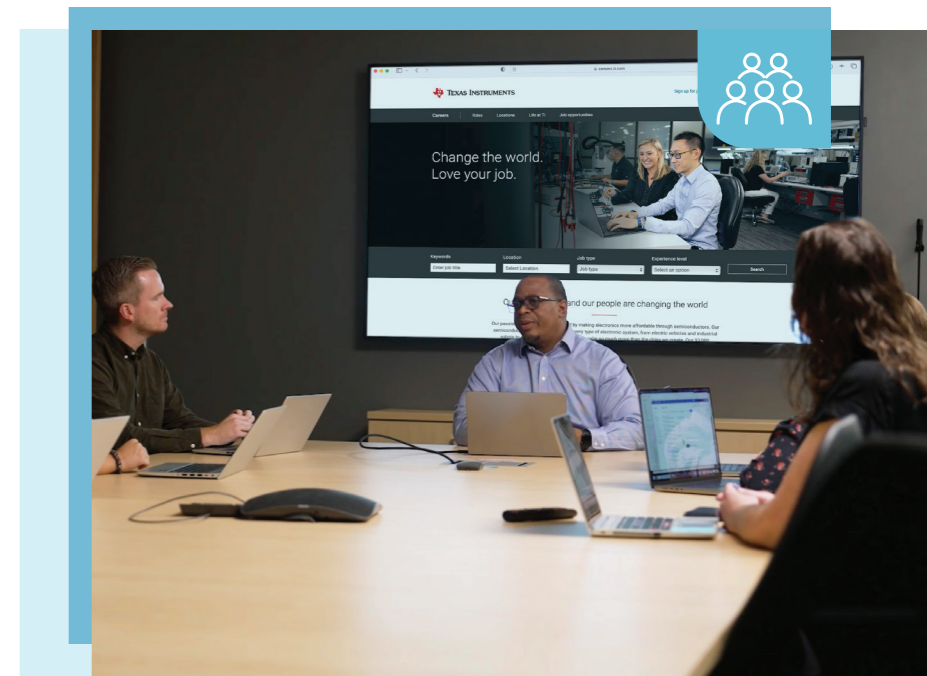
テクニカル リーダー

TI は能力開発の手段をカスタマイズし、自社のエンジニアが技術的能力の高度化、ベスト プラクティスの共有、さらにコミュニケーションや影響力など、リーダーシップ スキルの能力開発を推進できるように支援しています。テクニカル リーダーは、TI の名誉ある Tech Ladder (テクニカル ラダー) という技術指導者への昇進を目指すこともできます。Tech Ladder は、TI のテクニカル リーダーのうち 24% を占めています。

実績管理

従業員は、自己のパフォーマンスがどのような状態にあるかを常に把握しておく必要があります。当社では、すべての従業員に、自己のパフォーマンス、能力開発、キャリアについて、少なくとも年に 3 回は上司と率直に話し合うことを奨励しています。それは従業員にとって、他者に認められ、TI での職務に満足し、長く会社の成功に貢献する機会となります。また、このプロセスは、将来重要な役割を担う人材の供給を強化することにもつながります。

TI が従業員の能力開発を管理する方法の詳細については、GRI インデックスのトレーニングと教育 (Training and Education)、雇用 (Employment)、労使関係 (Labor/Management Relations) の各セクションをご覧ください。



過去 26 年間、Amili は TI で 3 つのユニークなキャリアを歩んできました。現在は、自身の経験を活かして、HBCU から優れた人材を獲得する役割を担っています。



給与と福利厚生

従業員の幸福と経済的豊かさを高めるため、競争力のある報酬と福利厚生を提供しています。

報酬

報酬は、より強い TI を築くための人材の獲得、動機付け、雇用の定着を図るための重要な要素です。私たちは従業員に公正な給与を支払い、実績に応じた報酬を提供しています。

報酬に対する TI の考え方の基本は、実績に応じた給与です。従業員には、競争力のある基本給、ボーナス プログラム、長期的インセンティブが提供されています。TI の成功に対する従業員の貢献と会社の業績の両方を考慮して、個人の報酬を決定します。

公平で公正な報酬

TI の報酬体系には、従業員に対する公平かつ公正な待遇という当社の長年の取り組みが反映されています。報酬プロセスにおけるチェック アンド バランス (抑制均衡) も、それを実現すべく設計されています。

当社は毎年報酬分析を実施し、職種、職位、国や地域を考慮して性別と人種ごとの (基本給、賞与、株式の) 支払いの同等性を検証しています。2023 年の分析では、米国内と世界各地で、女性に支払われている賃金の額が男性と同等であることが判明しました。米国では TI はマイノリティに非マイノリティと同額を支払っています。グローバルでは、男性が 1,000 ドルを得ることに、女性は 1,015 ドルを得ています。米国では、男性が 1,000 ドルを得ることに女性は 1,006 ドルを得ています。非マイノリティが 1,000 ドルを得ることにマイノリティは 0.997 ドルを得ています。

実績に応じた報酬

TI の報酬戦略のユニークな点として、グローバルな利益分配プログラムがあります。TI が営業利益 (PFO) を 10% 以上達成した場合に、職務、職位、勤続年数に関係なく、従業員が TI の成功を分かち合うことを保証するものです。PFO が増加するにつれて支給額は増加します。過去 8 年間に、対象となる従業員全員に対して TI が支給した最大の額は 20% でした。

将来の信頼性

従業員は、TI の株主兼オーナーになることで、より大きな意義を見出すことができます。TI は、重要な人材を会社に留めるために、そのキャリアの過程で長期的なインセンティブを提供しています。加えて、社員持株会制度 (ESPP) では、条件を満たしたすべての従業員に、報酬の所定の割合に応じた額 (上限の適用あり) の自社株式を購入する機会を提供しています。

充実した福利厚生

TI は、最良の福利厚生、プログラム、サービスを TI 従業員やその家族に提供しよう努めています。

TI の福利厚生プログラムは、国内の法や規制に準拠するように設計されており、通常は、医療、歯科、眼科のプランのほか、短期的、長期的な障壁に関するプラン、従業員負担の生命保険、有給休暇、退職後の生活を手厚く支援するプログラムなどがあります。米国の TI では、競争力のある 401(k) マッチング制度を提供しており、従業員の医療貯蓄口座に対して年次拠出を行っています。米国における TI の福利厚生については詳しくは、TI.com で最新の [Benefits and Insurance Guide \(福利厚生・保険ガイド\)](#) をご覧ください。

加えて、TI 従業員とその家族固有のニーズに対応できる包括的な福利厚生の支給を通じて、TI は互いを尊重する環境の構築に取り組んでいます。

仕事と生活に関連するリソース

TI は、以下のようなさまざまなプログラムを提供し、それらを最大限活用することを従業員に奨励しています。これにより、従業員の福利厚生や、職場の満足度と生産性に悪影響を及ぼす可能性のある日常的なストレス要因が低減しやすくなります。

- 福利厚生を支援する、信頼できるカウンセリング セッションとツール。
- 育児と高齢者介護を支援するリソース。
- 休暇の計画、予約などの個人的な取引のためのコンシェルジュ サービス。

- 個人の都合に合わせて仕事のスケジュールを調整する機会。
- 正規教育の継続を希望する従業員への教育支援。
- 従業員の短期的・長期的目標の達成を支援する資金面の指導とコーチング。

競争力の維持とサービスの改善を目的として、ワーク ライフ プログラムの選択肢をいっそう向上させるために、従業員が参加する形式でプログラムのアセスメントを毎年実施しています。

出産 育児休暇

家族に優しい職場であることを TI は誇りとしています。TI では、子育てへの移行 (出産準備期間) を含め、生活のあらゆる面で従業員をサポートしています。TI では新しく親になったすべての従業員が育児休暇を取得できます。従業員は新生児との絆を深め、生活の新たな需要に対応する時間を有給で確保することができます。

米国では、出産した母親に 12 週間の有給休暇が認められています。その他、性別、性的志向、家族構成に関係なく、新しく子供を迎えたすべての親には、4 週間の完全有給の出産育児休暇が付与されます。

TI が給与と福利厚生を管理する方法の詳細については、GRI インデックスの [Employment \(雇用\)](#)、[Economic Performance \(経済的パフォーマンス\)](#)、[Diversity and Equal Opportunity \(多様性と機会均等\)](#) の各セクションをご覧ください。

安全と健康

TI は、職場でのけがや病気の予防に役立てるため、安全で健康的な実践と管理に投資し、従業員の日常生活に取り入れています。

安全な職場環境を維持するための TI の取り組み

TI の年間安全目標には、休業、制限、または作業転換 (days away, restricted or job transfer: DART) の事例率を 0.08 以下とすること、および要記録事例率を 0.20 以下とすることが含まれます。

TI の要記録事例率と DART 事例率は、業界平均を大きく下回っています。これは、TI に根付く安全の文化と、TI で働くすべての従業員の健康と安全への投資がうまく機能している証しです。

安全

当社は、安全で健康的な職場環境を従業員に提供するため、世界各地で安全性要件とベスト プラクティスを導入し、業界最高水準の安全性記録を維持しています。私たちの積極的な取り組みの例を次に示します。

- 厳格な安全手順と人間工学に基づいたプロトコルと統制を維持。
- 社内基準の策定と維持。多くの場合、この基準は法規制の要件を上回っています。
- 本質的に安全な建物の設計および建築、機器のリスクへの対処。
- 基本的な安全トレーニングの徹底。
- 個人保護具 (PPE) の支給。
- 装置の定期検査。
- 社内プロセスの継続的な監査と、コンプライアンスと実績の評価。

健康

健康リスクにさらされる可能性を低減するために、TI は厳格な産業用衛生基準を適用しています。これらの基準は、有害化学物質とその他の原材料の安全な使用と適切な保管に必要な最小限の要件を確立します。これらの基準に該当するのは、危険性に関する通知とトレーニング、化学物質へのラベル貼付、危険廃棄物の管理です。

加えて、有害な可能性のある物質の使用の排除または制限、換気管理装置と隔離管理装置の設置、衛生と個人の全般的な評価の実施に取り組んでいます。

幸福

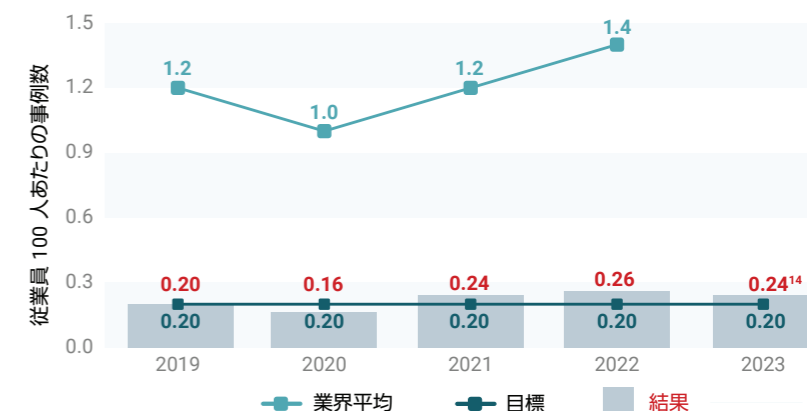
TI は従業員が健康と幸福を追求できるよう、さまざまなリソースを提供しています。職場での無料インフルエンザ ワクチンや健康診断、施設内のジムや診療所、フィットネス、栄養プログラム、従業員支援プログラム、カウンセリング、教育サービスなどのプログラムが、場所に応じて用意されています。

実績

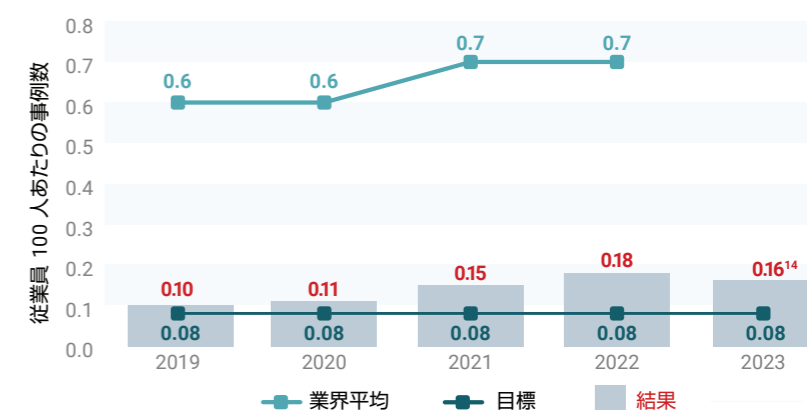
米国労働安全衛生局 (OSHA) と米国の労働統計局によると、TI の DART と要記録事例率は、米国半導体業界の中で引き続き最低水準にあります。2023 年、TI の DART レートは 0.16 でした。それに対し、2022 年の業界平均は 0.7 でした (2023 年の業界平均は現時点ではまだ入手できません)。

健康と安全に関する詳細なデータは、「[実績データ](#)」をご覧ください。詳細については、GRI インデックスの[労働安全衛生 \(Occupational Health and Safety\)](#) セクションをご覧ください。

要記録事例率



就業不能もしくは、業務制限日数、業務転換 (DART) の率



¹⁴ COVID-19 感染を除く、TI の事例発生率は 0.23、DART 事例率は 0.15 でした。

責任ある事業慣行

TI の目標とコア バリューは、会社をより強くするために不可欠であり、それらの原則を支持し、持続性と責任のある業務慣行を TI のサプライ チェーン全体で推進するうえで、TI 従業員全員が重要な役割を担っています。

TI の製品ディストリビューション センターで出荷製品を確認する従業員。

ガバナンス

TI は、長期的な成功を達成するには優れたコーポレート ガバナンスが重要であると確信しています。1973 年以来、TI は文書化したガバナンス ガイドラインを使用しており、会社と株主のニーズに合わせて長年にわたって改正を実施してきました。

TI のコアバリューは、TI をより強力なものにするために不可欠であり、私たちは定められた原則を遵守することで、責任ある倫理的なビジネス慣行を体現します。

取締役会

TI の取締役会は、責任能力と効果的なコーポレート ガバナンスを具体化するための活動に集中的に取り組んでいるほか、会社のグローバル事業戦略を監督しています。これに該当するのは、監査委員会、報酬委員会、ガバナンスと株主向け広報委員会です。

2023 年末の時点で、TI は10 人の独立取締役を含む 12 名の取締役からなる単一取締役会システムを採用しており、そのリーダーシップと多様な背景は、TI にとって多くの経験と知識をもたらしています。

取締役のこのような組み合わせを活用し、TI の株主にとって最善の利益が何であるかを考慮に入れ、取締役会は会社の現在および今後の方針とリスクと業績を監督します。

リスクの監督

取締役会は全体が、TI の戦略上および運営上のリスクに対する監督責任を負います。取締役会は、ガバナンスの慣行が現在の事業環境にとって有意義であるか確認するために、ガバナンスの慣行について毎年話し合います。

TI のリスク評価とリスク管理の実践について、監査委員会が経営陣と共に検討し、協議します。経営陣はリスクを日々評価し、それに対処する責任を負います。最高財務責任者 (CFO) は年に一回以上、監査委員会と共に TI のグローバル エンタープライズ リスク管理プログラムを再検証し、その結果を取締役に報告します。

環境

環境関連の課題が TI にとって非常に重要な場合、該当する委員会でそれらの課題を見直します。たとえば、特に環境関連のリスクを含め、監査委員会はリスク評価とリスク管理の観点で社内の慣行を見直します。ガバナンスと株主向け広報委員会も、会社の株主が関心を持つ公的な課題を見直す自らの責任に関連して、環境面、社会面、ガバナンス面の課題を監督します。

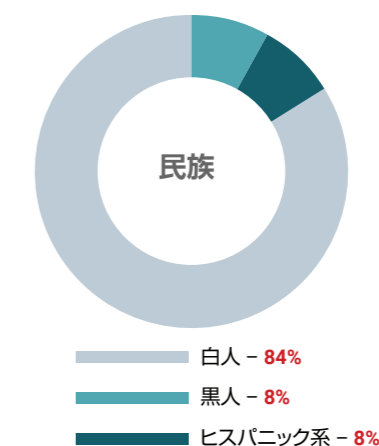
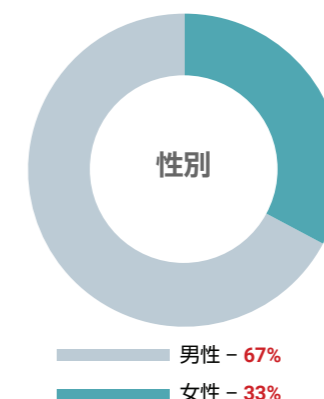
サイバー セキュリティ

ガバナンスとコンプライアンスに関する TI の体制は、社内のサイバー セキュリティ態勢を評価し、サイバー セキュリティに関する問題を最高情報責任者および情報セキュリティ最高責任者に報告するという制度設計になっています。TI の最高情報責任者は、サイバー セキュリティの脅威から生じる重大なリスクへの主要な監督責任を負います。監査委員会と定期的に会合を持ち、IT システムを再検証し、サイバー セキュリティの主なリスクについて協議します。

TI のコーポレート ガバナンスの詳細

- [ESG の課題に関する取締役会の監督](#)
- [取締役会と各種委員会](#)
- [コーポレート ガバナンス資料](#)
- [2023 Annual Report \(2023 年の年次報告書\)](#)
- [2023 U.S. Securities and Exchange Commission \(SEC\) Form 10-K \(2023 年の米国証券取引委員会 \(SEC\) の Form 10-K 年次報告書\)](#)
- [GRI インデックスの一般開示項目 \(General Disclosures\) セクション](#)

2023 年の取締役会の多様性



エシックスおよびコンプラ

TI の創設者たちには、優れた企業を築き上げるには、長期的な成長に貢献する特別な文化が必要であるという知識や先見性がありました。TI では、TI の目標、価値基準、および行動規範を含めた社内文化を **Living Our Values** (TI の価値基準に基づく行動) と呼んでおり、この基準に従って日々事業を進めています。

すべての TI 従業員はこれらの原則を支持する上で重要な役割を果たし、リーダーの関与や従業員の参加とトレーニングを通じて会社の強化を進めることができます。

TI の行動規範

TI は、従業員 1 人 1 人が行動規範について理解することを期待しています。この行動規範は、TI の目標や価値基準を、私たちが支持する必要がある基準へと作り替え、私たちが許容することのない言動を明確に提示することになります。

TI の行動規範には、以下の原則が明記されています。

- 法令順守
- 敬意と包摂性
- 適切な行動
- 責任ある事業慣行
- 健康と安全
- 秘密情報の保護とプライバシー
- 利害相反の回避
- 責任あるリソースの活用

TI 従業員には、目標、価値基準、行動規範、方針のいずれかに相いれない行動を目撃した場合に、そのことを報告する責任があります。マネージャまたは人事担当者に話すか、TI エシックス部門に直接または匿名で連絡を取ることができます。

直接の連絡先：

- E メール：ethics@ti.com
- 私書箱宛の郵送 Box 830801, Richardson, TX 75083-0801

匿名ヘルプライン：

- オンライン アクセス先：ti.com/tiethicshelpline
- 米国内の無料通話：1-888-590-5465

トレーニング

適切な意思決定、適切な方法での業務遂行、長期を見据えた企業の強靱化を実現できるように、TI は従業員、マネージャ、リーダーが必要とするトレーニングとツールを提供しています。

従業員は毎年、エシックスとコンプライアンスのトレーニングを受けます。トピックは年ごとに異なる可能性がありますが、複数年周期で、TI の行動規範、ESH、秘密情報の保護、情報技術とセキュリティ、職場での嫌がらせやセクシャル ハラスメントの防止、その他のコンプライアンス関連トピックを取り扱います。

加えて、特定の役割にある従業員を対象に、人権に関するポリシー、腐敗防止、輸出管理、インサイダー取引、グローバルな競争法、RBA Code of Conduct (責任ある事業同盟の行動規範) に関するトレーニングを実施しています。

また、「TI の価値基準に基づく行動」の意味を理解し、倫理的な行動に関する会社の各種規格を支持することができるように、上級マネージャの関与を求め、適切なツールを提供しています。この結果、各マネージャは自らが管轄する部門で、社内文化、倫理、コンプライアンスに関する期待という考え方を強化できます。

サプライヤ

TI のサプライヤ行動規範は、労働環境が安全であること、労働者が敬意と尊厳を持って扱われること、事業運営が環境に責任を持った倫理的な方法で遂行されることを確実にするための基準を確立しています。私たちは、新しいサプライヤと取引を始める際に、安全で人道的、倫理的な労働慣行に向けた TI の基準と期待、および人身売買、強制労働、労働者の権利についてサプライヤに説明を行います。また、すべてのサプライヤには、その業務のあらゆる分野で、環境、社会、ガバナンスに関する責任を実際の行動で示すことが期待されます。

当社の法令遵守、腐敗防止、反競争的行為、差別排除の慣行に関する詳細情報については、**腐敗防止、反競争的行為、差別排除の慣行**の項を参照してください。



TI の価値を称えるイベントを開催

アジア各地の TI 従業員が、2023 Ethics and Values Week (倫理・価値週間) に参加し、信頼、包摂、革新、競争、成果を重視する当社のコア バリューを表現したアクティビティを通じて、TI の企業文化を称えました。



製品の品質



品質に関する TI の総合的なアプローチは、会社のサプライチェーンのあらゆる段階に浸透しており、プロセス技術や設計から、製造、パッケージング、試験、納入までを網羅しています。TI は、顧客のニーズに適した高品質で高信頼性の半導体ソリューションを提供できるように、製品とプロセスのテクノロジーを継続的に向上させています。

品質とサポートへの TI の取り組み

環境に及ぼす影響を低減し、製品の耐用期間を延長するために、TI は自社テクノロジーの品質と信頼性を最適化しています。TI はお客様からの返品結果を測定しています。この数値に基づいて、解決のサイクル期間と 10 億個あたりの返品パーツ数という両方の実績を評価しています。これらの測定値は、高い水準の顧客サービスや、製品の品質と信頼性を維持するのに役立ちます。

継続的な改良を推進するために、TI は個別の返却に関する理由の評価、分類、集約を実施し、全体的な改良の機会を特定しています。過去 3 年の間に、TI 製品のうち 85% 以上は、どの顧客からも返品されたことはありませんでした。

品質と信頼性の基準

TI のすべての部門は協力し、品質の確保と、高信頼性製品の納入を進めています。産業用 (半導体技術協会: JEDEC) と車載 (車載電子部品評議会: AEC の Q100) の各製品を想定した厳格な品質規格に適合する高信頼性のテクノロジーを構築できるように、TI は自社の製品とプロセスのテクノロジーの改良を継続しています。TI は特化型の原材料と制御手法を使用して、高品質の製品を製作し、シリコン技術やパッケージ技術をテストするほか、ウェハーレベルの信頼性を継続的に監視しています。

製品の認証を開始する時点で、製品が完全に信頼性があり、お客様の長期的な品質ニーズに対応するという、データに裏付けられた高い信頼を得ることを目標としています。

TI は品質と信頼性を維持するために、さまざまな方針を活用しています。たとえば、TI は以下の活動を実施しています。

- **Quality System Manual** (品質管理マニュアル) は、TI の品質管理プロセスと管理システムについて記述しています。
- **品質方針と手順**は、品質に関連する課題を迅速に特定し、解決するための枠組みを実現します。TI は業界の要件と規格を採用しているほか、顧客の仕様とフィードバックも考慮に入れています。その結果、製品のライフサイクル全体でリスクを低減し、改善を推進することができます。
- 多数の業界規格と品質認定に適合できるように、TI は複数の社内品質基準を策定しています。それらの業界規格などに該当するのは、ISO (国際標準化機構) 9001、ISO 14001、ISO 45001、International Standard for Automotive Quality Management Systems (自動車産業向け品質管理システムの国際規格) 16949 と、UL (Underwriters Laboratories) 規格です。
- **信頼性試験**は潜在的な故障メカニズムの促進または加速を実現し、根本原因の特定や故障モードを防止する方法の解明に役立ちます。

TI は継続的な改良を行うために、製品とサービスの品質に関するいくつかの性能指標を測定しています。

製品の耐用期間

TI は品質と信頼性を維持するために、さまざまな方針を活用しています。製品耐用期間と、お客様への供給の継続性を維持するために、TI はライフサイクル管理ポリシー、および在庫と製造に関する戦略を策定しています。その結果、TI は 10 年またはそれより長い期間にわたって製品の販売とサポートを実施することができます。

TI の製品ライフサイクルは通常 10 年から 15 年で、多くのお客様のご要望に合わせて延長することもあります。TI は、お客様の観点で製品の耐用期間を考慮して対策に取り組んでおり、このコミットメントを維持するための戦略と社内方針を策定しています。

サプライチェーンの責任

TI は、責任ある体制と公正な業務慣行がサプライチェーン全体に浸透するように、これらに関してサプライヤが TI と同じ取り組みを行うことを要求します。TI の価値観、行動規範、他のガバナンス文書に違反するサプライヤとは意図的に関わりを持たないようにしています。

TI は主に、種類や規模が異なる約 10,000 社のサプライヤから、製造プロセス、工場設備、メンテナンス、流通サービスおよび非生産品やサービスのための各種原材料や資材を購入します。TI は、以下のようなサプライヤを求めています。成長に伴う TI の業容拡大への協力。全体的なコストの削減と廃棄物の低減。効率の向上。革新的なサービス、原材料、および製品サポートの提供。

世界各地にある TI の調達部門は、物品とサービスの購買調整、調達戦略の設定、資格あるサプライヤの特定と詳細検査、納期と価格設定の交渉、最善の履行方法の判断を実施します。

責任ある調達

業務、労働者、環境に関連するリスクを低減する目的で、TI は持続性と責任のある業務慣行を自社のサプライチェーン全体で推進するための投資を行っています。次に例を示します。

- 調達を実施する前に、サプライヤの人権に関する慣行や、環境と安全性の記録を収集し、注意深く考慮します。
- TI のポリシー、契約書、注文書に業績要件と期待を明記します。

管理システム

TI のサプライチェーン管理システムは、調達、在庫、製造、品質、流通の各プロセスを体系的に管理するための枠組みを実現します。このシステムは、TI が運用規格と規制の標準に準拠し、コストの追跡とリスクの監視を実施するのに役立ちます。TI の管理システムは、以下の方法で認証されています。

- ISO の品質マネジメント システム 9001
- ISO/技術仕様 16949
- International Automotive Task Force (国際自動車作業部会) 16949

TI は社内の管理システムに対して定期的に社内監査を実施し、ギャップの特定と縮小を図っています。加えて、ISO は再認証プロセスの一環として、TI の調達管理システムの評価を毎年実施しています。また、当社は、ISO および IATF 規格への適合について、独立機関による監査を毎年受け、定期的に再認証を受けています。

要件と期待

TI は、自社、業界、自社のサプライチェーン全体で人権を尊重するために、ベスト プラクティスとプロセスを採用し、適用しています。TI は、グローバル サプライチェーンにおける企業の社会的責任に取り組む世界最大の業界団体である RBA (責任ある企業同盟) のメンバーです。TI は RBA 行動規範を採用し、それをサプライチェーン全体の取り組みとして捉えています。

TI のサプライヤには、あらゆる事業分野で環境、社会、ガバナンスの責任を行動で示すことが求められます。たとえば、強固な ESH ポリシーと管理システムによって、リスクを特定して統制したり、関連する法令や規制に準拠していることを証明したりすることが挙げられます。また、サプライヤは、場所によって異なる地域の法規制について、監視し、確実に準拠する責任を負います。

TI のニーズに対応するサービスを提供し、供給と人権に関する TI の要件を満たすサプライチェーンを維持するために、TI はすべてのサプライヤに対して以下のガバナンス文書につき従うことを要求しています。

- TI の行動規範
- サプライヤ行動規範
- サプライヤの環境的責任と社会的責任に関するポリシー
- 人身売買防止に関する声明
- 責任ある鉱物調達ポリシー
- General Quality Guidelines (一般的な品質に関するガイドライン)
- ESH ポリシーと原則

TI のサプライヤポータルには、安全な労働条件、労働者と人権の保護、環境に配慮した運営、倫理的な行動に関する、TI の業務上の要件と標準を掲載しています。

サプライヤの多様性

米国で TI は、独特かつ革新的でコスト効率の優れた製品とサービスを提供できる、マイノリティや女性が経営する企業 (MWBE) との間で業務上の取引を行う機会を積極的に追い求めています。

毎年、TI は自社が計画したプロジェクトのタイプと、資格あるベンダの有効性に基づいて、支出目標を設定しています。2023 年に、TI は米国の多様なサプライヤに対して 5 億 8,000 万ドル以上を支出しました。



関わり

私たちは、新しいサプライヤーと取引を始める際に、安全で人道的、倫理的な労働慣行に向けた TI の基準と期待、および人身売買、強制労働、労働者の権利についてサプライヤーに説明を行います。これらの指針は、ミーティング、サプライヤー ポータル、注文書、サプライヤー契約、その他関連文書を通じて伝えています。

また、RBA、Semiconductor Industry Association (米国半導体工業会)、Semiconductor Equipment and Materials International (国際半導体製造装置材料協会) などの業界団体とも定期的に協力しており、サプライチェーンの基準について協議、作成し、最良の管理慣行を共有しています。

事業継続性

財務の健全性や特定の地域への集中度も含め、TI は自社のサプライチェーンにとってのリスクを継続的に評価します。その結果、調達プロセスと管理プロセスが十分な厳格性を確保し、評判に関わる問題、注文履行処理の問題、出荷の遅延、コストの増大を防止するのが容易になります。リスク要因の詳細については、TI の SEC Form 10-K の 9 ページをご覧ください。

TI は、サプライヤーが業務停止の事態に備えて適切な事業継続計画を整備すること、および必要に応じて計画の内容を TI に提供することを求めます。また、供給の継続性を維持できるように、TI はサプライヤーに対し、原因となるインシデントが発生した場合は 24 時間以内に TI に連絡することと、事業継続計画 (BCP) を実施することを求めています。

製品の転用と誤用

TI は、当社製品の不正転用を撲滅するために多大な時間とリソースを費やしており、その取り組みを継続的に刷新し、改善することをお約束します。TI は、意図しない用途への当社製品の使用を支持することも黙認することはありません。

当社には、強固なグローバル トレード コンプライアンス プログラムの一環として、TI 製チップの販売と出荷を積極的に、かつ注意深く監視する専門チームがあります。このグローバル トレード チームは特に、毎年数百万件の注文をリアルタイムでスクリーニングするなど、顧客の適正な調査を実施しています。TI の製品が転用されたことが判明した場合には、徹底した調査を行い、迅速かつ適切な措置を講じます。また、第三者や他の組織と連携しながら、転用のねらいは何かを把握し、当社プログラムの改善の余地を見出します。

加えて、TI は定期的に政府機関や法執行機関と連携し、輸出管理の有効性を支えるとともに、悪意のある行為に対抗しています。輸出管理法の遵守は TI のポリシーです。私たちはお客様や販売特約店にも同様の行動を求めており、違反を把握した場合には措置を講じます。

トレーニング

サプライヤー行動規範の基準と期待内容についての対面トレーニングを用意しています。また、RBA のオンライン トレーニング プラットフォームを活用して、サプライヤーが RBA 行動規範、労働リスク、労働者の権利の尊重、移民労働者の雇用などに関する理解を深められるよう支援しています。

苦情処理制度

TI は苦情処理制度を確立しており、購買担当者または調達担当者がサプライヤーとの話し合いで質問や懸念事項に対応できるようにしています。また、TI のサプライチェーン チームは、TI のエシックスや価値に反する問題を特定し解消するための支援を提供できます。サプライヤーが望めば、TI のエシックス オフィスに連絡して匿名で質問したり問題について話し合ったりできます。

TI のサプライヤー行動規範では、法律で禁止されていない限り、サプライヤーおよび従業員の告発者の機密性、匿名性を確保し、告発者を保護する規定を確立および維持することがサプライヤーには求められます。サプライヤーは、従業員が報復を恐れることなく問題を提起できる伝達プロセスを備えている必要があります。

評価

TI は自社の財政的投資、重要度、サプライヤーが提供する製品やサービス、およびサプライヤーの地理的位置と財務の健全性に基づき、優先順位を付けてサプライヤーを検討します。また、雇用契約、労働時間、寮の状態を評価するための定期的な監査も実施しています。

TI では、3 つのツールを導入して、生産サプライヤー、非生産プロバイダ、オンサイト サプライヤーを定期的に評価しています。

- **評価** - RBA の自己評価アンケート (SAQ)、または RBA 規範の各セクションに照らして既存の施設方針および人口統計を調査する内部開発の評価手法を使用して、優先度の高い直接材料サプライヤーおよびサービス サプライヤーのリスクと管理システムを調査します。この評価により、人権や強制労働などの倫理的リスク、環境リスク、社会的リスクを特定します。
- **監査** - このような評価の分析や、Transparency International (国際透明性機構) の Corruption Perceptions Index (腐敗認識指数) で特定されるようなリスク要因の分析に基づき、RBA Code of Conduct (RBA 行動規範) の全セクションまたは対象となるセクションを基準として、TI または独立した第三者監査人のいずれかによる監査の対象となるサプライヤーを特定します。TI の監査人が現場検査中に懸念事項を見つけた場合、TI がサプライヤーと連携して是正措置計画を策定します。この是正措置計画は、是正措置が完了するまで追跡されます。

- **サプライヤー実績測定プログラム** - 重要なサプライヤーについては、前述の評価結果をサプライヤー実績測定プログラムに取り込むことで、TI が供給と品質のリスクを監視し、サプライヤーの継続的な改善を促すことができます。

加えて、毎年、独立系の第三者監査担当者が、RBA の Validated Assessment Program (検証済み評価プログラム) 条項の基準に基づき、選択された TI の施設を評価しています。TI は、お客様がこれらのレポートを入手できるようにしています。

TI の評価プロセスの詳細については、TI の [人身売買防止に関する声明](#)をご覧ください。

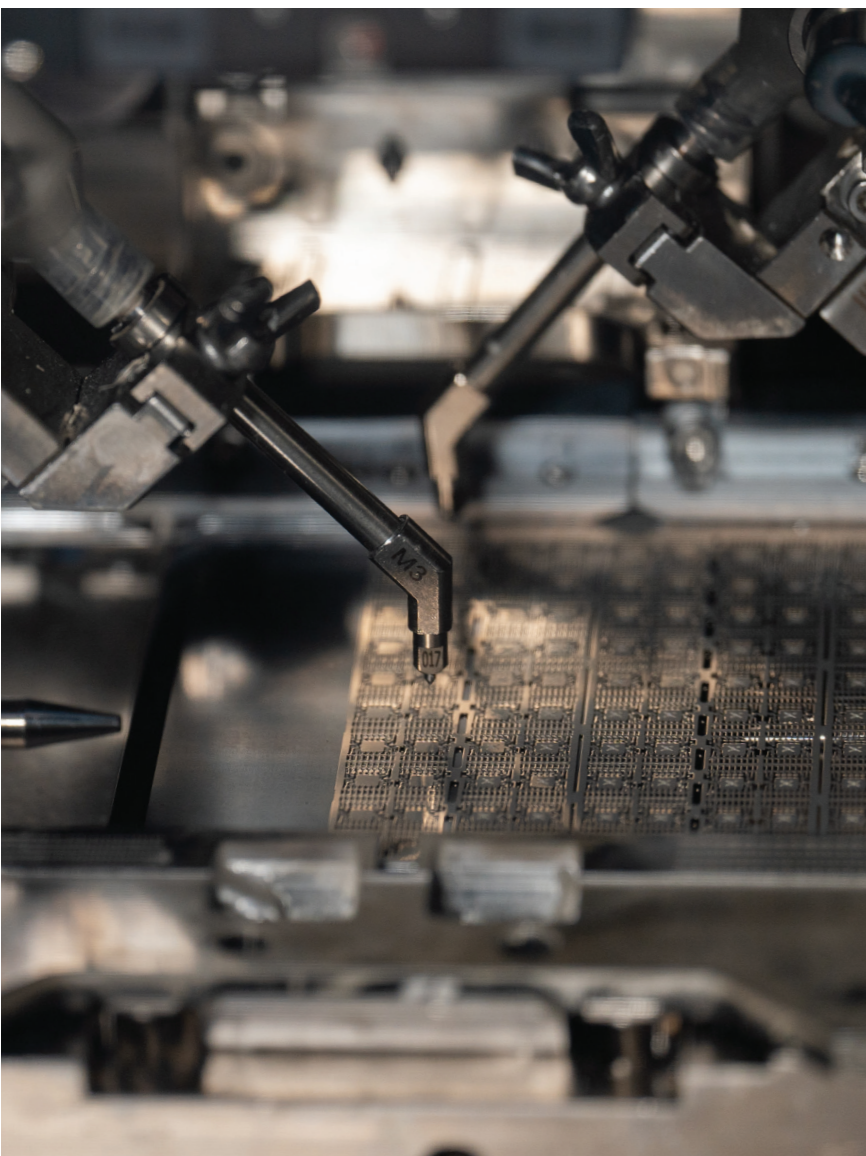
実績

2023 年に、TI は 265 のサプライヤーから提出された評価結果を受け取りました。その中には、370 の工場に關与する 175 の製造サプライヤーが含まれています。プロセス、ポリシー、トレーニングの更新を要するサプライヤーは 8 社でした。

個別サプライヤーのリスク評価がどのような値であっても、実際のリスクまたはリスク懸念事項を形成する可能性のある項目 (雇用活動、労働時間数、賃金と福利厚生など) を抱えているあらゆるサプライヤーに対して、TI は是正措置を講じることを求めます。完了するまでは、TI はそれらのサプライヤーの行動を監視します。

サプライチェーンの詳細については、TI.com の [サプライチェーンの責任](#)と、GRI Index (GRI インデックス) の [Procurement Practices \(調達慣行\)](#) セクションをご覧ください。

責任ある鉱物調達



TI は、世界中のさまざまなサプライヤから原材料、部品、消耗品を調達しています。ただし、コンゴ民主共和国 (Democratic Republic of Congo: DRC、旧ザイール) や周辺地域の武装グループへの資金提供または援助源になる鉱物を自社製品が含有していないことは、当社の複数のプロセスで確認済みです。これらの原材料に該当するのは、錫、タンタル、タングステン、金 (3TG)、コバルトです。

TI が実施する取り組み

下請けメーカーを含むサプライチェーンと緊密に協力し、不適切な原材料の発生源を特定し排除するために努力しています。

責任ある鉱物サプライチェーン管理に関する TI の標準的な事業手順は、方針、構造、手順、リスク管理、コミュニケーション体制の確立を必須とする OECD (経済開発協力機構) の Due Diligence Guidance (デュー・ディリジェンス・ガイダンス) に準拠しています。

TI は、自社の [責任ある鉱物調達ポリシー](#) をサプライヤに配布し、TI が情報を要求した際にサプライヤが全面的かつ迅速に対応できるように強化を図っています。

保管に関する追跡のチェーン

TI のサプライチェーンにおける紛争鉱物の原産国または地域、保管のチェーン、ステータスの詳細を把握するために、TI は主に責任ある鉱物保証プロセス (RMAP: Responsible Minerals Assurance Process) の調査結果に依存してきました。

RMAP は、独立した第三者機関が精錬所の管理体制と調達慣行を評価し、その精錬所が該当の RMAP 基準に適合することを実証できているかどうかを判断するプログラムです。RMAP は RMI (責任ある紛争鉱物構想) の監督下にあります。RMI は、RBA と Global e-Sustainability Initiative (グローバル e サステナビリティ構想) のメンバーによって設立された組織です。

TI は RBA のメンバーであり、RMI と 責任ある労働構想 (Responsible Labor Initiative) の両方に参加する作業部会のメンバーでもあります。

実績

TI が 2023 年に実施した調査と情報収集の結果、TI のサプライチェーンに属し、IC で使用している 3TG の鉱物を担当する各サプライヤは、適合する精錬所のみを出所としていることが明らかになりました。さらに、TI の事業に不可欠な原材料、部品、消耗品は一般的に入手可能であり、それらは当面の間入手可能であると考えられます。リスクとエンタープライズ リスク管理の詳細については、[米国証券取引委員会 \(SEC\) の Form 10-K](#) を参照してください。

TI の最新の SEC Form SD filing (SEC フォーム SD の記録)、Conflict Minerals Reporting Template (紛争鉱物報告テンプレート、CMRT)、Enhanced Minerals Reporting Template (鉱物報告テンプレート拡張版、EMRT) の詳細については、TI.com の [責任ある鉱物調達](#) に関するページを参照してください。

人権と労働

人権に対する TI の取り組み

人権を尊重し、保護することは、私たちの社会を正常な状態に維持し、TI の事業を成功させるための土台になります。TI は自社の事業と自社のサプライ チェーン全体で、人権を支持し、個人の尊厳、自由、尊重を確保するための取り組みを実施しています。

すべての雇用が自発的なものであり、労働時間数と賃金は公正かつ地元の労働規定と法令に準拠していることを確認できるように、TI はさまざまな手段を講じています。TI は、自社の事業と、自社のサプライ チェーン全体で、児童労働を使用することを禁じています。

TI の従業員には、地域の法令で認められている結社の自由や団体交渉の権利の両方が認められています。TI は世界各地の従業員への年次調査と、オンラインおよび対面での話し合いを実施しており、各拠点特有の労働環境を把握できるよう努めています。

TI が実施する取り組み

TI は人権に関するリスクを監視し、違反を排除するために、以下の行動を実施しています。

- OECD Guidelines for Multinational Enterprises (OECD 多国籍企業行動指針) に従って、定期的なリスク評価とサプライヤに対するデューデリジェンス (注意義務) を実施しています。
- TI はまた、リスクの高い地域で、第三者機関による監査や、オンサイトでの面接と評価を実施し、従業員、サプライヤ、契約社員の権利を確実に保護しています。
- 労働規定、研修と意識向上活動の実施状況、インシデント報告ツールの供与状況を評価します。

TI は、自社、業界、自社のサプライ チェーン全体で人権を尊重するために、ベスト プラクティスとプロセスを採用し、適用しています。TI は、グローバル サプライ チェーンにおける企業の社会的責任に取り組む世界最大の業界団体である RBA (責任ある企業同盟) のメンバーです。当社は、社会的、環境的、倫理的責任に関して、RBA 行動規範に沿うようにベスト プラクティスを調整して採用し、また、サプライヤにも同じ規範に従うよう求めています。RBA 行動規範は、世界人権宣言、ILO 国際労働基準、OECD 多国籍企業行動指針を始めとする、人権と労働権に関する国際的な要件に基づく一連の業界基準となっています。

TI が奴隷制度や人身売買を撲滅するために世界各地で講じてきた措置については、毎年発行される [Anti-human trafficking statement \(人身売買防止に関する声明\)](#) に記載されています。

社会的コンプライアンス基準

TI の行動規範は、当社が守るべき倫理的な基準を定めており、重要な問題領域全体にわたる責任の源となっています。TI の [サプライヤ行動規範](#) では、TI のサプライヤおよびそのサプライヤに対して、常に同じ原則を適用すること、人権と倫理的な慣行を支持すること、安全な職場環境を提供するよう取り組むことに関し、同様の期待水準を設定しています。

このような期待について詳しくは、当社の [Supplier Environmental and Social Responsibility Policy \(サプライヤの環境的責任と社会的責任に関するポリシー\)](#) を参照してください。このような基準は当社の価値観を中心とし、TI 従業員に対する期待を拡大して適用したものです。その原動力となっているのは、良き企業市民であることが長期的な事業の成功には不可欠であり、TI の職場および認定サプライヤの職場での行動や関係に反映されるべきであるという信念です。当社はサプライヤに対して、こうした基準の遵守を促進し、支持するための適切な行動を策定して導入することを求めています。

TI が懸念事項に対処する方法

TI は従業員への研修を実施するほか、意見を自由に表明し、あらゆるレベルの管理者に対して複数の方法で質問や懸念を投げ掛けることを奨励しています。従業員が懸念などに関する報告や表明をした場合、それに対する脅迫や報復を会社は許容しません。TI はその懸念事項を把握した時点で、会社側がただちに状況を評価して対処に努めます。

TI が人権を管理する方法の詳細については、TI.com の [人身売買防止に関する声明](#) および [サプライ チェーンに対する責任](#) と、GRI Index (GRI インデックス) の [Non-Discrimination \(差別禁止\)](#)、[Child Labor \(児童労働\)](#)、[Forced or Compulsory Labor \(強制労働\)](#)、[Procurement Practices \(調達慣行\)](#) の各セクションをご覧ください。



リスク管理と事業継続性

TI は、サイバー攻撃、天災、異常気象、パンデミック、地政学的問題、社会不安、テロリズム、またはサプライチェーンや製品流通の遅延など、予期せぬ業務運営リスクおよび新たなリスクの両方を継続的に監視し、計画を立て、トレーニングを実施しています。

TI が自社で所有する地理的に分散した製造施設には、12 箇所のウェハー製造プラント、7 箇所のアセンブリおよびテスト拠点、および世界各地の 15 箇所の拠点にわたる複数のバンブ（突起形成などの加工）施設とプローブ（検証）施設が含まれます。TI は社内の製造能力に加えて、外部ファウンドリや下請け業者との強固な提携を築いており、継続的に製品を供給しています。

TI は現在、自社の製造フローとテクノロジーの 85% 以上を少なくとも複数の拠点で製造する能力を確保しています。また、TI は堅牢性の高い事業継続プログラムを活用し、予期しない変化に迅速に対処することができます。2030 年までに、TI はウェハー製造能力の 90%、組み立てとテスト能力の 90% を社内で確保する予定です。社内の製造能力を高めることで、自社のコントロールを強化することが可能となり、市場や環境がどのように変化した場合でも、お客様のニーズに応えることができます。

TI が実施する取り組み

TI は事業の中断を低減するために、以下の行動を実施しています。

- リスクの監視、対処するための計画の策定と修正、危機への対応に関する従業員のトレーニング。
- 環境条件、サプライの継続性、グローバルな規制、政治情勢に関する変化の評価。
- 24 時間 365 日、通年で稼働しているセキュリティ コミュニケーション センターを運営。
- 多数の自社製造施設を所有し、お客様への製品供給の確実性を向上させるほか、地政学の観点で考慮して信頼性の高い製造と供給の能力を実現。
- お客様の近くに戦略的に配置された複数の製品流通センターを活用し、世界各地に在庫を積み上げ、配置。

緊急事態への対処

インシデントの性質と深刻さに応じて、TI は緊急対応システムを起動します。TI の緊急対応チームは、潜在的な損失を低減するのに必要とされる、適切なリソース、サービス、インフラを迅速に特定します。また、社内の対応とコミュニケーションに関する調整を実施します。

事業のモデル化や、シナリオと影響の分析を実施して、管理戦略、ポリシー、規格、緊急事態対応計画を策定および改善することは、以下のことを決定するのに役立ちます。

- TI の事業を構成する重要な業務プロセスと、それらの実行可能性の確保に責任を負う担当者。
- 潜在的な脅威とリスク、およびそれらを管理するために統制を実現するかどうか。
- 適切なリソースを使用して、効率の良い対応と復旧を確実に実施するためのプロセス復旧期間。
- 人材、会社の売上、評判に高いリスクをもたらす可能性のある、すべての重要な事業プロセスに対応するコンティンジェンシー（緊急事態対応）戦略。
- 対応と復旧、製品とサービスの継続に関する優先順位設定のすべての側面を網羅するための包括的な復旧戦略。

TI の Readiness 2 Recover プログラムは、TI の事業継続管理の要件の有効性と準拠性を測定するのに役立ちます。2 年ごとに（または必要に応じて）TI はリスク評価を実施し、既存の統制とギャップの特定および改訂を行います。

さまざまなシナリオに対処する準備

TI はグローバル企業であり、地震やパンデミックから深刻な気象災害に至るまで、警告なしに発生する予期せぬ世界的事象に直面します。この種の出来事が及ぼす影響は、最小限で済むことも、大規模に達することもあります。課題が発生した場合、TI は人員、環境、財務、評判への影響を防止すると同時に、製造と流通を維持します。

実際の出来事に対する対応の習得、調整、改善を実現できるように、TI の事業継続性と緊急対応計画は、現実的なシナリオを想定し、さまざまな訓練を通じてリーダーシップ チームに指針を示しています。TI の事業継続マネジメント フレームワークは、ISO 22301 の事業継続マネジメント規格に基づいてモデル化したもので、事業の中断に対して、TI が対策の計画立案、実現、監視、保護を実施するのに役立ちます。

TI の各リーダーが会社のリスク計画に関与できるように、以下の行動を定期的実施します。

- 各リーダーに対し、TI の従業員または製品に対する深刻さと潜在的な影響に基づき、各リスクの評価と優先順位設定を実施する方法を指導します。
- 実際の出来事やシナリオに基づく演習から学んだ教訓に基づき、コンティンジェンシー プランの評価と更新を行うように各種リーダーに伝えます。
- 予見できない出来事に対する準備を整えるために、訓練、トレーニング、机上演習、拠点レベルの演習を実施します。

詳細については、TI の [SEC Form 10-K](#) をご覧ください。

情報保護



TI は、TI 従業員、お客様、ITインフラ、TI 独自のテクノロジーと秘密情報に対する潜在的な脅威の特定と排除に継続的に取り組んでいます。これらの保護は、事業の成長と収益性の鍵であり、関連する規制の遵守を維持するために必要です。

サイバー セキュリティ リスクの低減

TI のリスク管理プロセスは、ISO、NIST (米国国立標準技術研究所)、CIS (Center for Internet Security: インターネット セキュリティ センター) の Controls (統制) などのベスト プラクティス管理手法やガバナンスの枠組みに基づいています。TI は、セキュリティバイ デザイン (設計段階でのセキュリティ実装)、多層防御、特権の最小化、復元力を重視したバックアップなど、サイバー セキュリティの基礎的な原理を活用し、リスクを管理しています。

これらの組織のガイダンスと、TI が実施した評価から収集した情報を使用してリスクを低減し、TI のセキュリティ体制の強化や、会社組織と技術と知的財産 (IP) の保護を実現するためのサイバー セキュリティ計画、ポリシー、条項を策定しています。TI のポリシーは、会社の情報資産の受け入れ可能な使用方法に関する定義、特定の IP (知的財産) または技術にアクセスするための要件、TI が個人情報とプライバシーを保護する方法に加え、EU の GDPR (一般データ保護規則) や中国の Cybersecurity Law (サイバー セキュリティ法) などの規制を遵守する方法を明記しています。

TI が実施する取り組み

TI のグローバル情報セキュリティ部門は、潜在的な脅威の特定と対処、各事業部やサポート チームと連携した作業を通じて、社内のセキュリティを改善しています。

その一環として、TI は以下を実施しています。

社会的コンプライアンス基準

- TI のコンピュータ、サーバー、ネットワーク、その他の IT システム上のデータへのアクセス制限。
- 外部からの攻撃から TI のホームページ (TI.com) を保護する技術的対策の実施 (オンライン ストアの保護を含む)。
- 多要素認証、マルウェア防御、アクセス レビュー プロセスなどの業界標準の保護機能の導入。
- TI の IT リソースと情報へのアクセスを要求するサードパーティーに対し、リスク評価とコンプライアンス評価を実施。

検知と対応

- USB またはサム ドライブ、外付けハード ドライブの使用監視、使用制限。
- IT システムを監視し、不適切なアクティビティに関するアラートに対応。

トレーニング

- フィッシングやスパイ型フィッシングをシミュレートした Eメール (実際は脅威ではない、テスト目的の疑似的な有害 Eメール) を従業員宛に必要に応じて送信し、関連する教育と注意喚起に関する情報を発信。
- サイバー セキュリティ意識と機密情報保護に関するトレーニングを TI の全従業員に提供するほか、社内の IT チームに専門的なセキュリティ トレーニングを提供。

継続的な事前対応能力

- 毎年、サードパーティーに侵入テストを依頼し、TI の統制と能力を検証します。
- 定期的に机上演習を実施し、社内の応答能力を実践します。
- 定期的な脅威ハンティング (社内システムで脅威やその兆候を探索) とレッド チーム演習 (攻撃側と防衛側に分かれ、ネットワークへの攻撃と防御を演習形式で実践) を実施します。

パブリック ポリシー



ユタ州リーハイに 300mm 半導体ウェハー製造プラントを建設する着工式に、州、地元、地域のリーダーとともに出席する TI のリーダー。

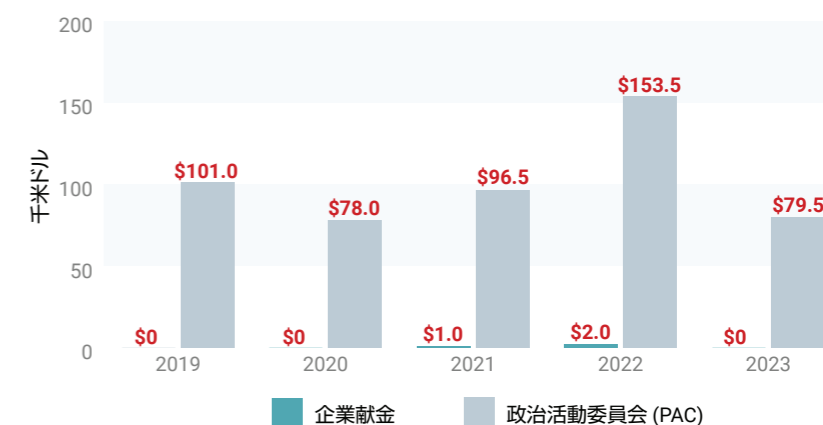
TI は、会社と従業員が政治的プロセスに合法的に参加しやすくなるように、方針と慣行を適切に策定してきました。これらの方針と慣行は、TI が関与する活動や、TI の政治活動委員会 (PAC) の責任と慣行を定義しています。

TI は、人材の採用、革新の推進、競争力強化に寄与する政策を提唱しています。TI が政策に関して特に関心を抱いている分野には、税制、貿易、人材、人種平等が含まれます。TI はこれらの成果を目指して、政策に関する目標を持つ、米国と国際的両方の多様な業界団体に協力しています。TI は特定の団体において、他の団体においてよりも積極的に活動しており、すべての団体のあらゆる事項に賛同しているとは限りません。

TI の PAC は 100% 従業員の資金提供によるものであり、秩序だっており、透明性が高く、どの党派にも属していません。従業員は TI の PAC を通じて自発的に結集し、会社の事業目標と整合性の高い位置付けにある政治的候補者を、連邦、州、地域レベルで支持します。

当社の政治的活動、TI の PAC (政治活動委員会)、従業員による政治的活動、関連する政策と期待に関する詳細情報を [TI.com](https://ti.com) で開示しています。

政治支出¹⁵



¹⁵ 2019 年、2020 年、および 2023 年に、TI は地域の無記名投票構想への企業献金を行わない方針を選択しました。

コミュニティに及ぼす影響

TI と TI Foundation は数十年にわたって、当社が事業を展開している世界各地のコミュニティをより発展させるために取り組んできました。



TI と TI Foundation は、For Oak Cliff を始めとする組織を支援し、コミュニティの強化と生活の質の向上に貢献しています。

寄付

「コミュニティへの貢献に取り組む TI の精神は、テキサス州北部で長年にわたって慈善事業やボランティア活動に携わってきた、創業者たちとその家族までさかのぼります。TI のリーダーから世界各地の従業員へと何世代にもわたって、その精神が受け継がれています。強い企業は強いコミュニティを築き、強いコミュニティは強い企業を築くという信念は、90 年以上前の創業当時から変わらず、TI の現在の企業文化に深く根付いています。」

– Andy Smith, TI Foundation 執行役員兼 TI の寄付とボランティア活動担当取締役



より強力なコミュニティの構築

TI の 3 つの目標のうちの 1 つは、社員であることを誇れる会社、および地域の隣人として望ましい会社であることです。

寄付とボランティア活動に関する TI のプログラム

- 世界各地の TI 従業員に、寄付のキャンペーンとボランティアプログラムへの参加を奨励します。
- TI が事業を営む地域にある非営利団体への寄与を通じて、世界各地のコミュニティを強化します。
- 最大の効果を達成できるように、財政的投資と従業員の参加を組み合わせます。

投資先と投資方法

当社が慈善活動を目的として行う投資のうち、最も優先度が高い分野が教育で、福祉、人種平等、芸術がそれに続きます。これらの分野はいずれも、多様なバックグラウンドや文化を持つ人々が生活し、働きたいと思っている公正かつ繁栄しているコミュニティにとって不可欠なものであると私たちは考えています。

私たちは、実績のあるプログラムを優先的に支持する一方で、大きな影響をもたらす可能性がある革新的なアイデアも検討の対象としています。成果を挙げるべくすべての投資を評価、測定し、人種平等を重視して、私たちが資金を提供するプログラムの公平性と包摂性を確保します。

マッチング ギフト

TI は、寄付やボランティア活動を通じたコミュニティとの関わりを奨励しており、同等の寄付金や時間を従業員や退職者に給付することで、その善意を称えます。

米国内の従業員および退職者が、対象となる組織に対して行う寄付については、TI Foundation¹⁶ が最大 3 万ドルまで同額を給付します。また、ボランティア時間についても、年間 1,000 ドルを上限に、相当する額が給付されます。2023 年に、TI Foundation は寄付とボランティア活動に対するマッチング ギフトの形で、1,190 万ドルを提供しました。

TI Foundation

TI Foundation は、以下の分野への慎重で計画的な投資を通じて、TI が事業を営む地域社会の生活の質の向上を目指しています。

教育

すべての生徒を優れた STEM (科学、技術、工学、数学) の成果に導くことに精通し、能力があり、情熱を持つ、幼稚園から高校まで (K-12) の優れた STEM 教師と校長の数、有効性、定着率を高めることで、数学と科学のスキルが高い黒人、ラテン系、女性の高校卒業生の数を増やします。

福祉

人種的、経済的に取り残された人々の重要なニーズに対するプログラムやサービスを強化し、自然災害または人為的な災害によって打撃を受けた地域社会や従業員のための緊急資金を確保します。

人種平等

人種平等という概念を妨げるさまざまな障壁を打破するための各種サポート プログラムは、説明責任を強化する警察の訓練と慣行を重視しています。その結果、すべての人々は警察によって平等に扱われ、TI が拠点を置くコミュニティは、生活と業務にとっていっそう安全な場所になります。

芸術

米国テキサス州ダラスの文化的で包摂性と活気を高める芸術を維持するため、活動地域とプログラム設定の点で多様性を強調する優れた団体に対して複数年にわたる寄付を行うほか、幅広く影響力を拡大させる多様なグループに対して変化につながる寄付を行います。

¹⁶ The TI Foundation is our company's 501(c)(3) philanthropic organization. It makes grants only in the U.S., primarily near TI's headquarters.

2023 年の寄付活動

教育

TI Foundation が過去数十年間、最も高い優先度を置いてきた慈善活動は教育です。2010 年以降、STEM 分野の教育に 7,100 万ドル以上を投資しています。

このような投資の具体例の 1 つが、STEM 教育へのニーズが高い一方で、そのような教育を受ける機会が限られている地域の学区を支援するための寄付です。数学的問題や科学的問題を解決するための論理的思考には、STEM 分野の教育、学習、応用が必要ですが、この資金は、教師を訓練し、学生の能力を高めるうえで極めて重要な役割を果たしました。

2023 年、TI Foundation は STEM 教育の助成金として 650 万ドルを拠出し、ダラス郡南部の教育への取り組みをいっそう強化するとともに、教育の成功には教師と校長の能力が重要であるとの認識を持ちました。助成金の主な対象となったのは、ダラス郡南部の 3 つの公立学区を対象に STEM 分野の教育格差を是正するプログラムです。

加えて、National Math and Science Initiative (NMSI) にも助成金を給付し、テキサス州シャーマン独立学区への College Readiness (大学進学準備) プログラム導入を支援しました。

優れた成果を挙げた教員には、その功績を称え、TI Foundation から TI Innovations in STEM Teaching Awards (STEM 教育革新賞) が授与されます。この賞は今年で 16 年目を迎え、受賞した教員とその学校には、授業関連テクノロジーや専門能力開発のための助成金が支給されます。



福祉

2023 年、TI Foundation は福祉サービスに対する助成金として 120 万ドルを拠出しました。この助成金の一部は、Digital Bridges プログラムによってダラス郡南部のデジタル デバイド解消に取り組む United Way of Metropolitan Dallas に寄贈されています。

2023 年には、TI の従業員と退職者による寄付、会社としてのスポンサー活動、TI Foundation の寄付金とマッチング ギフトを通じて、TI は United Way のために追加で 910 万ドルを集めています。また、TI 従業員は、食料配給施設や児童センターでのボランティア活動、ホームレスの人々のために衛生キットを詰め合わせる作業、認知障害を持つ近隣住民との協力など、2,500 時間以上の慈善活動に従事しました。さらに、今年の TI Foundation の災害救助補助金には、トルコの地震救援のための米国赤十字社への義援金も含まれています。

人種平等

米国ダラスでは、人種平等に向けた持続可能な取り組みをいっそう推進していくための助成金を継続します。2023 年、TI Foundation はこの分野で総額 50 万ドルの助成金を拠出しました。

TI は、ダラスのサウス オーク クリフ地区で制度的な人種差別問題に取り組む地域発の非営利団体 For Oak Cliff や、ラテンアメリカ系の若者を対象に専門技能育成に取り組む団体 Young Latino Professionals Network の文化的能力育成プログラムを支援する The Concilio に助成金を寄贈しています。

芸術

TI Foundation は、米国ダラスの芸術団体に 130 万ドルを寄贈しました。その中には、批評家から高く評価され、ダラスにトップアーティストや後援者を引き付ける Broadway Dallas、The Dallas Opera、Dallas Theater Center などが含まれます。これらの団体や他の資金提供を受けた組織は、幅広い層の観客や文化にエンターテインメントを届けることで、多様性への意義ある取り組みを続けています。

黒人、先住民、有色人種、LGBTQ+、女性の芸術家を支援する The Arts Community Alliance の New Works Fund を始め、Uptown Players、Teatro Dallas など、多様性のあるプログラムで大きな影響を及ぼしている小規模な組織に、画期的な助成金を寄贈しています。



教育を通じた機会の創出

TI は、米ユタ州リーハイの製造拠点があるアルパイン学区に、STEM 学習コミュニティを設立するための 900 万ドルの投資を行います。ユタ州では初の試みとなるこの複数年にわたるプログラムは、同学区の 85,000 人の生徒を対象にし、コースワーク (教育課程) に STEM の概念を奥深くまで行き渡らせ、担当する教員や管理者に、STEM を土台とする職業能力開発の機会を提供します。

ユタ州における STEM 教育への TI の取り組みは、この助成金によってさらに強化されます。2022 年、TI Foundation は、ユタ州南東部のサン フアン (San Juan) 学区に大学進学準備プログラムを導入するための助成金を National Math and Science Initiative に拠出しました。サン フアン学区は、12 の学校と 3,000 人の生徒を対象としており、そのうちの半数以上がナバホネイション (先住民族ナバホ族の準自治領) の学生です。



ボランティア活動

TI の従業員には、自らが活動するコミュニティに貢献し、生活の質を向上させるという熱意があります。TI には、従業員が主導するチームが世界中に20 以上あり、従業員は各地域のニーズを解決するために熱心に働いています。

従業員と退職者がボランティア活動に従事した時間は 27 万 8,000 時間近くに達し、2022 年から活動時間は増加しており、2023 年の時間数を金額に換算すると 880 万ドル¹⁷に相当します。TI Foundation は、米国内における従業員のボランティア活動時間の価値を1 人あたり年額 1,000 ドルを上限として、各従業員の参加する活動に対して、合計 460,000 ドル近くの追加支援を実施しました。



ハイライト



インドの農村部の多くの生徒が障害を乗り越え学習に取り組めるよう支援するために、従業員が数百マイルを旅して生徒たちを勇気づけました。



Stephan G. は、ドイツのフライジングの拠点に近い町に収容されている、子供を含めた難民の再定住を支援する組織の設立に貢献しました。



台湾のビーチ クリーンアップ デーに 500 人以上の従業員やサプライヤ、その家族が集まり、4,000 ポンド (約 1,800kg) 近くのごみをビーチから撤去しました。



米ユタ州とテキサス州の従業員チームが合計 1,500 マイルを旅して、ナバホ ネーションの遠隔地にある学校を訪ね、学生に科学と数学の素晴らしさを伝えました。



TI の社長および CEO が新規従業員ネットワークからの 90 人のボランティアと共に、ダラスのペロー自然科学博物館で開催された STEM イベントに参加し、STEM のコンセプトに対する学生の好奇心と自信を高めるために取り組みました。



中国の従業員と、コミュニティに関わる複数のチームが、小児心臓手術のための募金プログラムなどを通じて、子供たちのために、より強力なコミュニティを構築しています。

¹⁷ 2023 年の独立セクターにおけるボランティア時間の値は、この文書の発行時点では得られていません。880 万ドルという推定値は、2022 年の 1 時間あたりの価値 31.80 ドルに基づいています。

付録



Bring Your Kids to Work Day (子供を職場に連れてくる日)の様子。TI 従業員の子供たちは、科学、技術、工学、数学 (STEM) のキャリアや、TI の文化と価値観について詳しく学びます。

Performance data

Financial and end markets

Giving and volunteering

Environmental sustainability

Workplace

Responsible business practices

Financial and end markets

Revenue

Revenue by region (%)

Region	2021	2022	2023
Asia	36%	34%	29%
Europe	21%	24%	26%
Americas	34%	33%	33%
Japan	8%	8%	10%
Rest of world	1%	1%	2%

Revenue by segment

Segment	2021	2022	2023
Analog	\$14.05	\$15.36	\$13.04
Embedded processing	\$3.05	\$3.26	\$3.37
Other	\$1.24	\$1.41	\$1.11
Total	\$18.34	\$20.03	\$17.52

Key markets (% of revenue)

Market	2021	2022	2023
Industrial	41%	40%	40%
Automotive	21%	25%	34%
Personal electronics	24%	20%	15%
Communications equipment	6%	7%	5%
Enterprise systems	6%	6%	4%
Other (calculators, royalties and other)	2%	2%	2%

Performance data

Financial and end markets

Giving and volunteering

Environmental sustainability

Workplace

Responsible business practices

Community

Giving and volunteering

Giving¹ (millions)

Total	2019	2020	2021	2022	2023
Value (millions USD)	\$52.46	\$54.47	\$64.95	\$52.57 ²	\$61.87

Volunteering – volunteer hours (thousand hours)

Total	2019	2020 ³	2021	2022	2023
Hours (thousands)	273.3	156.9	119.5	256.9	277.8
Value (millions USD)	\$7.4	\$4.5	\$3.6	\$8.2 ²	\$8.8 ⁴

¹ Includes corporate giving, TI Foundation giving, employee/retiree giving, in-kind donations, matching gifts, the value of volunteer hours and volunteer matching.

² The value of volunteer hours was incorrectly stated in 2022, which impacted the total giving value.

³ Value and total volunteer hours were down in 2020 and 2021 because of the global COVID-19 pandemic.

⁴ The 2023 Independent Sector value of a volunteer hour was not available at the time of publication. The \$8.8 million estimate is based on the 2022 value per hour of \$31.80.

Environmental sustainability

Emissions

Greenhouse gas emissions (million metric tons of CO₂ equivalent [million MTCO₂e])

Type	2019	2020	2021	2022	2023
Scope 1 (direct)	0.97	0.94	1.04	1.11 ⁵	1.12
Scope 2 (indirect, market-based)	1.10	1.01	1.04	1.06	1.10
Scope 2 (indirect, location-based)	-	-	-	1.38	1.39
Total (scope 1 and market-based scope 2 only; 2015 baseline = 2.83⁶)	2.07	1.95	2.08	2.17	2.22⁷

Scope 1 GHG emissions by type (MTCO₂e)

Type	2019	2020	2021	2022	2023
Carbon dioxide (CO ₂)	78,731	75,190	84,904	123,542	122,339
Methane (CH ₄)	46	44	39	67	67
Nitrous oxide (N ₂ O)	23,440	28,452	31,557	37,592	47,070
Hydrofluorocarbons (HFCs)	36,552	37,532	44,633	45,949	45,689
Perfluorocarbons (PFCs)	669,757	622,526	665,457	734,338	722,841
Sulfur hexafluoride (SF ₆)	62,084	64,061	71,189	80,389	91,753
Nitrogen trifluoride (NF ₃)	94,853	110,701	142,671	90,157	86,922

Scope 2 market-based GHG emissions by type (MTCO₂e)

Type	2019	2020	2021	2022	2023
Carbon dioxide (CO ₂)	1,102,843	1,012,985	1,041,346	1,055,620	1,095,453
Nitrous oxide (N ₂ O)	1,673	1,386	1,294	1,345	1,317
Methane (CH ₄)	269	241	233	233	217

Air emissions⁸ (U.S., metric tons)

Type	2019	2020	2021	2022	2023
Nitrogen oxide (NO _x)	79.72	82.37	75.87	95.62	-
Volatile organic compounds (VOCs)	92.77	97.12	109.45	142.88	-

⁵ TI has not included emissions from fluorinated heat transfer fluids (FHTFs) in its Corporate Citizenship Report because of varying calculation methodologies and guidance. Under current World Semiconductor Council (WSC) reporting guidance, the association that tracks semiconductor emissions, there is no requirement to track and report FHTFs. Recently introduced U.S. Environmental Protection Agency (EPA) rules for disclosure to the EPA included FHTFs (quantities in kilograms) and we comply with this requirement. Recently, the WSC has aligned on all regions moving to the 2019 Intergovernmental Panel on Climate Change (IPCC) guidance, which includes FHTFs. TI is reviewing the timing of a transition to the 2019 IPCC guidance and will consider the inclusion of FHTF emissions upon adoption. TI estimates the emissions from FHTFs to be approximately 5% of the total 2023 scope 1 and scope 2 GHG emissions.

⁶ TI is focused on the total reductions of scope 1 and scope 2 GHGs and the company's disclosure of the baseline reflects that approach. TI's 2015 GHG emissions baseline was adjusted in the 2021 Corporate Citizenship Report to reflect structural changes to its operations, including the divestiture of a wafer fabrication plant in Scotland and the acquisition of a 300mm wafer fabrication plant in Utah. The 2015 baseline has been adjusted from 2,471,357 to 2,832,709 MTCO₂e in line with the guidance provided by the WBCSD/WRI's "The Greenhouse Gas Protocol: A Corporate Accounting and Reporting Standard."

⁷ ERM Certification and Verification Services (CVS) provided limited assurance of TI's GHG emissions for 2022 and 2023. See [Assurance Statement](#).

⁸ TI does not include nitrous oxide (N₂O) in its air emissions calculations because the company accounts for N₂O in its GHG emissions data. The 2023 data was not available at the time of publication; TI will report emissions to state air quality regulators in [Maine](#), [Utah](#) and [Texas](#).

Performance data

Financial and end markets

Giving and volunteering

Environmental sustainability

Workplace

Responsible business practices

Energy use by type (MWh)

Type	2019	2020	2021	2022	2023
Natural gas	372,359	363,413	414,254	606,393	592,267
Fuel oil (No. 6)	3,644	4,356	4,132	3,457	5,210
Diesel	9,718	7,376	16,905	9,481	5,268 ¹⁰
Propane	39,230	35,791	35,646	39,457	41,013
Gasoline	768	814	723	654	131
Jet fuel (kerosene)				7,788 ¹¹	15,065
Total direct energy use	425,719	411,750	471,661	667,220	658,954
Electricity	2,550,193	2,548,101	2,698,718	3,063,940	3,217,399
District heating	14,055	14,210	15,285	15,595	15,304
Total indirect energy use	2,564,248	2,562,311	2,714,003	3,079,535	3,232,703
Total energy use	2,989,967	2,974,061	3,185,664	3,746,755	3,891,657

Renewable energy

Type	2019	2020	2021	2022	2023
Renewable electricity (MWh)	357,547	446,559	507,528	526,322 ¹²	619,894 ⁹
Renewable energy as a percent of total electricity (% used)	14.02%	17.53%	18.81%	17.18% ¹³	19.27%

Energy savings (GWh)

Savings	2019	2020	2021	2022	2023
Total	73.3	64.5	53.4	55.5	79.5

⁹ ERM CVS provided limited assurance of TI's energy and renewable electricity use for 2022 and 2023. See [Assurance Statement](#).

¹⁰ TI reclassified a significant portion of the diesel used at its Philippines site as scope 3 emissions, since the fuel is used for third-party logistics and employee transportation.

¹¹ TI added jet fuel in 2022 as part of the third-party limited assurance assessment.

¹² While the North Texas project came online in December 2022, renewable energy generated in that month is not included in the total renewable energy number for 2022.

¹³ While renewable energy procurement and use increased in 2022, the percentage of renewable electricity compared to total electricity decreased because of expanded production with new factories coming online.

Performance data

Financial and end markets

Giving and volunteering

Environmental sustainability

Workplace

Responsible business practices

Water

Water use¹⁴ by type (billion gallons)

Type	2019	2020	2021	2022	2023
Municipal	4.29	4.53	4.79	5.42	5.37
Well	0.37	0.37	0.58	0.98	1.11
Reused	1.69	1.86	2.20	2.68 ¹⁵	2.58
Total¹⁶	6.35	6.76	7.57	9.08	9.06

Water savings (million gallons)

Savings	2019	2020	2021	2022	2023
Amount conserved	120.67	206.92	135.55	174.19	264.64

Water reduction goal

% reduction	2019	2020	2021	2022	2023
Goal	2.2%	2.6%	2.6%	3.4%	2.5%
Result	2.6%	4.4%	2.8%	3.2%	4.1%

Wastewater discharges (billion gallons)

By total and type	2019	2020	2021	2022	2023
Municipal sewer	3.61	3.87	4.15	4.65	5.00
Surface	0.25	0.26	0.27	0.32	0.40
Total	3.86	4.13	4.42	4.97	5.40

¹⁴ To calculate water use, we compile municipal billing data and our production metrics. We also measure effluent rates and volumes and analyze industrial wastewater and stormwater samples using standard U.S. EPA methodologies.

¹⁵ Upon completing an internal data collection assessment, TI identified previously unclaimed reuse. As a result, there was an increase in the amount of water reused for 2022.

¹⁶ There is a small amount of water storage (relative to overall usage) in facilities systems, but the year-over-year change is insignificant.

Performance data

Financial and end markets

Giving and volunteering

Environmental sustainability

Workplace

Responsible business practices

Water use (cont.)

Categories	2019	2020	2021	2022	2023
Water withdrawal (megaliters)					
Surface ¹⁷	0	0	0	0	0
Ground ¹⁷	1,409	1,408	2,198	3,708	4,200
Sea	0	0	0	0	0
Produced	0	0	0	0	0
Third party	16,255	17,152	18,214	20,520	20,316
Fresh ($\leq 1,000$ mg/L total dissolved solids) ¹⁸	17,664	18,560	24,516	24,228	24,516
Other ($\leq 1,000$ mg/L total dissolved solids) ¹⁸	0	0	0	0	0
Total water withdrawal	17,664	18,560	20,412	24,228	24,516
Water withdrawal, water-stressed regions					
Surface ¹⁷	0	0	0	0	0
Ground ¹⁷	44	35	27	30	2,797 ¹⁹
Sea	0	0	0	0	0
Produced	0	0	0	0	0
Third party	2,630	2,658	2,490	2,741	4,289 ²⁰
Fresh ($\leq 1,000$ mg/L total dissolved solids) ¹⁸	2,674	2,692	2,518	2,771	7,086
Other ($\leq 1,000$ mg/L total dissolved solids) ¹⁸	0	0	0	0	0
Total water withdrawal, water-stressed regions (megaliters)	2,674	2,692	2,518	2,771	7,086²¹
Water discharge					
Surface ¹⁷	953	989	1,039	1,212	1,518
Ground ¹⁷	0	0	0	0	0
Sea	0	0	0	0	0
Third party	13,664	14,658	15,711	17,613	18,927
Fresh ($\leq 1,000$ mg/L total dissolved solids) ¹⁸	Unknown	Unknown	Unknown	Unknown	Unknown
Other ($\leq 1,000$ mg/L total dissolved solids) ¹⁸	Unknown	Unknown	Unknown	Unknown	Unknown
Total water discharge (megaliters)	14,617	15,646	16,750	18,824	20,445
Water discharge, water-stressed areas					
Fresh ($\leq 1,000$ mg/L total dissolved solids) ¹⁸	Unknown	Unknown	Unknown	Unknown	Unknown
Other ($\leq 1,000$ mg/L total dissolved solids) ¹⁸	Unknown	Unknown	Unknown	Unknown	Unknown
Total water discharge, water-stressed areas (megaliters)	2,278	2,310	2,132	2,097	6,008²²
Water consumption					
Water consumption (total megaliters) ²³	3,047	2,914	3,662	5,403	4,071
Water consumption (water-stressed areas)	396	382	386	674	1,078

¹⁷ This does not include once-through cooling water, which is pumped from on-site wells at our Freising, Germany, site and used only for heat rejection. This water returns to the original aquifer.

¹⁸ TI does not monitor total dissolved solids continuously at all sites.

¹⁹ Groundwater withdrawals from water-stressed sites were in Lehi, Utah; Baguio, Philippines; and Bangalore, India.

²⁰ Third-party water withdrawals from water-stressed areas were in Aguascalientes, Mexico; Lehi, Utah; Tucson, Arizona; Baguio and Clark, Philippines; Bangalore, India; and Chengdu, China.

²¹ More sites were considered water-stressed based on the 2023 analysis.

²² Discharges from water-stressed areas were in Aguascalientes, Mexico; Lehi, Utah; Tucson, Arizona; Baguio and Clark, Philippines; Bangalore, India; and Chengdu, China.

²³ TI calculates consumption as water withdrawn minus water discharged.

Performance data

Financial and end markets

Giving and volunteering

Environmental sustainability

Workplace

Responsible business practices

Materials and waste

Waste by composition (metric tons)

	2019	2020	2021 ²⁴	2022	2023
Hazardous waste					
Waste generated	26,734	31,702	14,142	12,201	12,899
Waste diverted from disposal	23,869	28,396	11,250	9,012	8,875
Waste directed to disposal	2,865	3,307	2,892	3,189	4,024 ²⁵
Nonhazardous waste					
Waste generated	10,345	10,518	29,675	36,710	36,208
Waste diverted from disposal	9,534	9,563	28,025	35,299	32,384
Waste directed to disposal	811	955	1,650	2,128	3,849 ²⁶
Other waste categories					
Waste generated	-	-	1,860	1,762	1,640
Waste diverted from disposal	-	-	1,860	1,762	1,640
Waste directed to disposal	-	-	0	0	0

Waste diverted from disposal, by recovery operations (metric tons)

	Hazardous waste			Nonhazardous waste		
	2021 ²⁴	2022	2023	2021 ²⁴	2022	2023
Preparation for reuse						
On-site	4,000	1,015	1,064	826	3,999	4,425
Off-site	2,285	1,698	3,040 ²⁷	263	1,242	91 ²⁷
Total	6,285	2,713	4,104	1,089	5,241²⁷	4,516
Recycling						
On-site	0	0	0	0	0	0
Off-site	2,323	2,439	1,986	28,013	30,707	27,576 ²⁷
Total	2,323	2,439	1,986	28,013	30,707	27,576
Other						
On-site	0	0	0	0	0	0
Off-site	2,642	3,859	2,785	783	395	267
Total	2,642	3,859	2,785	783	395	267²⁷
Waste prevented (landfill diversion)	11,250	9,012	8,875²⁸	29,884	36,344	32,359

²⁴In 2021, TI disclosed new data based on updated Global Reporting Initiative (GRI) 306: Waste 2020 standards, allowing the reporting of hazardous waste separately from nonhazardous industrial waste. This methodology significantly reduced the amounts reported for hazardous waste.

²⁵Increases in hazardous waste to disposal were a result of transportation vendor and purchasing party issues.

²⁶Remodeling activities at some TI sites caused an increase in nonhazardous waste directed to disposal, as well as transportation vendor and purchasing party issues.

²⁷2021 and earlier reporting included an incorrect classification of waste as hazardous when it was nonhazardous. The 2022 data reflects the corrected shift to the nonhazardous category.

²⁸The waste vendor in Lehi, Utah, diverted waste to incineration; TI's site in Portland, Maine, reclassified waste from nonhazardous recovery.

Performance data

Financial and end markets

Giving and volunteering

Environmental sustainability

Workplace

Responsible business practices

Waste directed to disposal, by disposal operations (metric tons)

	Hazardous waste			Nonhazardous waste		
	2021 ²⁴	2022	2023	2021 ²⁴	2022	2023
Incineration (with energy recovery)						
On-site	0	0	0	0	0	0
Off-site	0	0	0	0	0	0
Total	0	0	0	0	0	0
Incineration (without energy recovery)						
On-site	0	0	0	0	0	0
Off-site	2,803	3,103	3,920	102	178	122
Total	2,803	3,103	3,920²⁷	102	178	122²⁷
Landfill (solid waste disposal)						
On-site	0	0	0	0	0	0
Off-site	89	87	104	1,548	1,949	3,727
Total	89	87	104²⁷	1,548	1,949	3,727²⁷
Other disposal operations						
On-site	0	0	0	0	0	0
Off-site	0	0	0	0	0	0
Total	0	0	0	0	0	0

Performance data

Financial and end markets

Giving and volunteering

Environmental sustainability

Workplace

Responsible business practices

Workplace

Global workforce

Workforce by region

Region	2020	2023
Americas	11,903	15,025
Asia	14,423	15,993
Europe, Middle East and Africa (EMEA)	1,911	1,952
Japan	1,184	1,244
Total	29,421	34,214

Retention

Employee voluntary turnover ²⁹	2020	2023
Asia	7.4%	9.0%
Japan	3.3%	4.5%
Europe	4.6%	6.2%
Americas	5.9%	8.1%
Worldwide	6.4%	8.3%

Tenure (%)

Service bands	2020	2023
<10 years	50%	55%
10-20 years	24%	23%
>20 years	26%	22%

Development

Training	2020	2023
Average hours	30	40.13 ³⁰

²⁹ Includes employees and student workers.

³⁰ The increase in training hours is the result of an updated tracking system that more accurately captures on-the-job training occurring in our factories worldwide.

Performance data

Financial and end markets

Giving and volunteering

Environmental sustainability

Workplace

Responsible business practices

Workplace

Diversity

Regional workforce by gender

Region	2020	2023
Worldwide		
Female	11,136	11,812
Male	18,285	22,402
Americas		
Female	2,957	3,613
Male	8,946	11,412
Asia		
Female	7,681	7,621
Male	6,742	8,372
EMEA		
Female	361	418
Male	1,550	1,534
Japan		
Female	137	160
Male	1,047	1,084

Gender by role (% , worldwide)

Role	2020	2023
Technical		
Female	17.5%	18.6%
Male	82.5%	81.4%
Managers		
Female	23.2%	23.5%
Male	76.8%	76.5%
Overall		
Female	37.9%	34.5%
Male	62.1%	65.5%

Performance data

Financial and end markets

Giving and volunteering

Environmental sustainability

Workplace

Responsible business practices

Workplace

Diversity

Gender by role (% , U.S.)

Role	2020	2023
Technical		
Female	16.5%	17.2%
Male	83.5%	82.8%
Managers		
Female	22.2%	21.5%
Male	76.8%	78.5%
Vice president (VP) and above³¹		
Female	22.5%	31.9%
Male	77.5%	68.1%
Overall		
Female	23.2%	22.6%
Male	76.8%	77.4%

³¹ TI recalculated its 2020 data for the percentage of "VP and above" roles as of Dec. 31, 2020. Previously, the data reported was from February 2020.

Performance data

Financial and end markets

Giving and volunteering

Environmental sustainability

Workplace

Responsible business practices

Workforce by race (% , U.S.)

Role	2020	2023
Technical		
White	52.7%	50.8%
Asian	31.3%	30.5%
Hispanic/Latino	8.8%	10.1%
Black	4.0%	4.3%
Other/underrepresented minorities (URMs) ³¹	2.0%	2.3%
Managers		
White	61.3%	58.2%
Asian	25.1%	25.3%
Hispanic/Latino	6.4%	7.9%
Black	5.6%	5.4%
Other/URMs	0.9%	1.6%
VP and above³¹		
White	66.2%	58.0%
Asian	19.7%	20.3%
Hispanic/Latino	4.2%	7.2%
Black	9.9%	8.7%
Other/URMs	0.0%	1.4%
Overall		
White	56.0%	51.8%
Asian	21.8%	21.1%
Hispanic/Latino	10.1%	12.9%
Black	8.9%	9.8%
Other/URMs ³²	1.9%	2.6%

³²We define other URMs as Native Hawaiians or other Pacific Islanders, American Indians or Alaska Natives, or two or more races. Any totals less than 100% are attributable to a small percentage of undisclosed data.

Performance data

Financial and end markets

Giving and volunteering

Environmental sustainability

Workplace

Responsible business practices

Workplace

Safety and health (cases per 100 employees)

Recordable case rate	2019	2020	2021	2022	2023
Goal	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
Result	0.20	0.14	0.21	0.26 ³³	0.24 ³⁴
Days away, restricted or job transfer rate (DART)	2019	2020	2021	2022	2023
Goal	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08
Result	0.10	0.10	0.13	0.18 ³⁵	0.16 ³⁶

Employee and supplemental contractor safety and health data

Description	2019	2020	2021	2022	2023
Recordable cases (employees)	0.16 (48 cases)	0.14 (41 cases)	0.19 (55 cases)	0.25 (79 cases)	0.23 (75 cases)
Recordable cases (contractors) ³⁷	0.27 (5 cases)	0.19 (3 cases)	0.65 (10 cases)	0.38 (5 cases)	0.58 (5 cases)
Fatalities from work-related injuries (employees)	0	0	0	0	0
Fatalities from work-related illness (employees)	0	0	0	0	0
Fatalities from work-related illness (contractors)	0	0	0	0	0
High-consequence injuries (employees) ³⁸	0.003 (1 case)	0.007 (2 cases)	0.007 (2 cases)	0.009 (3 cases)	0.012 (4 cases)
High-consequence injuries (contractors)	0	0	0	0.07 (1 case)	0
Hours worked (employees) ³⁹	59,426,059	59,410,887	58,550,515	62,832,813	64,214,599
Hours worked (contractors)	3,658,678	3,084,874	3,092,457	2,652,204	1,734,856
Recordable cases from work-related illness (employees)	9	10	10	30	4
Recordable cases from work-related illness (contractors)	0	1	4	0	0

³³ The 2022 increase is because of COVID-19 infections. The case rate without the virus was 0.18.

³⁴ The 2023 case rate without COVID-19 infections was 0.23.

³⁵ The 2022 increase is because of COVID-19 infections. The DART rate without the virus was 0.10.

³⁶ The 2023 DART rate without COVID-19 infections was 0.15.

³⁷ Refers to supplemental contractors, who receive daily work instruction from TI managers.

³⁸ The high-consequence work-related injury metric uses recovery time, instead of lost time, as the criterion for determining the severity of an injury. Lost time is an indicator of the loss of productivity for an organization as a result of a work-related injury; it does not necessarily indicate the extent of harm suffered by a worker. In 2023, we updated the number of injuries from 2019 through 2022.

³⁹ Hours reported are worldwide. TI employees do not include turnkey or supplemental contractors. In 2023, we updated the number of hours worked data from 2019 to 2022.

Performance data

Financial and end markets

Giving and volunteering

Environmental sustainability

Workplace

Responsible business practices

Responsible business practices

Public policy

Political expenditures (USD)

Description	2019	2020	2021	2022	2023
Corporate contributions	\$0 ⁴⁰	\$0 ⁴⁰	\$1,000	\$2,000	\$0 ⁴⁰
Political action committee	\$101,000	\$78,000	\$96,500	\$153,500	\$79,500

Supply-chain management

Assessment goals (%)

Goals and results	2019		2020		2021		2022		2023	
	Goal	Result	Goal	Result	Goal	Result	Goal	Result	Goal	Result
Production suppliers rated as low risk for all facilities on environmental and social responsibility self-assessment questionnaire evaluations	90%	89%	90%	95%	95%	99%	97%	98%	95%	99%

Responsible minerals sourcing

3TG⁴¹ smelters potentially in the supply chain for TI's integrated circuits

Description	2019	2020	2021	2022	2023
RMAP ⁴² conformant	100%	99.6%	99.6%	100%	100%
Under RMAP assessment	0%	0.4%	0.4%	0%	0%

⁴⁰ TI chose not to make any corporate contributions to local ballot initiatives during these years.

⁴¹ 3TG refers to tin, tantalum, tungsten and gold.

⁴² RMAP is a program in which an independent third party evaluates smelters' management systems and procurement practices and determines whether the smelter has demonstrated that all of the materials it processed originated from conformant sources.

GRI Content Index

Statement of use Texas Instruments has reported the information cited in this GRI content index for the period Jan. 1, 2023, to Dec. 31, 2023, with reference to the GRI Standards.
GRI 1 used GRI 1: Foundation 2021

General disclosures

Organization and reporting practices			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 2: General disclosures	2-1 Organizational details	3	Texas Instruments Incorporated (NASDAQ: TXN); 12500 TI Blvd., Dallas, TX 75243. See: <ul style="list-style-type: none"> • TI at a Glance for primary countries of operation. • SEC Form 10-K, Part I for TI's ownership structure.
	2-2 Entities included in the organization's sustainability reporting	3	See SEC Form 10-K , Part I, Item 1, pages 2-4 for TI's reportable segments (analog and embedded processing) and other business activities. TI's Corporate Citizenship Report covers environmental, social and governance (ESG) topics for all TI-owned entities and facilities included in financial statements.
	2-3 Reporting period, frequency and contact point	–	TI produces its Corporate Citizenship Report annually based on the previous calendar year, which aligns with financial reporting. TI published its 2022 report in June 2023. For questions, email citizenshipfeedback@list.ti.com .
	2-4 Restatements of information	–	TI includes restatements and any associated impacts in the footnotes of its 2023 Corporate Citizenship Report and in Performance Data in the appendix.
	2-5 External assurance	77	See Assurance Statement . ERM Certification and Verification Services conducted limited assurance of TI's 2023 scope 1 and scope 2 GHG data. ERM CVS provides a management report at the conclusion of its assurance process that TI leaders consider for implementation. Other nonfinancial data is not independently assured except for the TI Foundation's financial records, which Ernst & Young audits annually.
Activities and workers			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 2: General disclosures	2-6 Activities, value chain and other business relationships	27	See: <ul style="list-style-type: none"> • SEC Form 10-K Part I for a description of TI's markets, upstream and downstream activities, products and sales, and supply chain. • Supply Chain Responsibility, Supplier webpage and Education Technology for information about TI's value chain and business relationships. <p>TI is a publicly traded company in the semiconductor and education technology sectors. In 2023, we continued building fabs in Sherman, Texas, and Lehi, Utah, to expand production capacity.</p> <p>We spend about 80% of procurement dollars with approximately 260 suppliers, of which about 130 are critical to supporting semiconductor manufacturing. We define "critical suppliers" as those essential to the supply strategy of a category procurement team that could cause a major disruption in manufacturing or design output. When needed, we outsource the manufacturing of wafers or product assembly and testing.</p>
	2-7 Employees	–	See Performance Data in the appendix for employee data and calculation methodologies. In 2023, TI classified 27 employees as temporary (mostly student workers) and classified about 200 as part time.

GRI Content Index

Governance			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 2: General disclosures	2-9 Governance structure and composition	24	See: <ul style="list-style-type: none"> • Governance webpage, SEC Form 10-K (Part III), Governance Guidelines and Board Oversight of ESG Matters for TI's governance structure, roles and responsibilities. • Governance for board diversity data.
	2-10 Nomination and selection of the highest governance body	–	See TI's Governance Guidelines , 2024 Proxy Statement and Investor Relations FAQs for information about TI's director nomination and selection process, diversity, training, board independence and role requirements.
	2-11 Chair of the highest governance body	–	See Board of Directors & Committees and Governance Guidelines for the roles and responsibilities of TI's chairman.
	2-12 Role of the highest governance body in overseeing the management of impacts	–	See Board of Directors & Committees and Board Oversight of ESG Matters for TI's governance oversight of ESG impacts.
	2-13 Delegation of responsibility for managing impacts	–	See Board of Directors & Committees , Governance Guidelines and Board Oversight of ESG Matters for delegation responsibilities.
	2-14 Role of the highest governance body in sustainability reporting	–	See Board Oversight of ESG Matters for information about reporting oversight.
	2-15 Conflicts of interest	–	See Governance Guidelines and 2024 Proxy Statement for information about managing conflicts of interest.
	2-16 Communication of critical concerns	25	See Board Oversight of ESG Matters , Governance Guidelines and Ethics and Compliance for how board members and employees can report concerns. We encourage TIers to raise questions or concerns about conduct and will not tolerate retaliation against those who have reported an issue in good faith. Anyone who retaliates is subject to disciplinary action, including termination.
	2-17 Collective knowledge of the highest governance body	–	See Board Oversight of ESG Matters and Governance Guidelines . TI's Governance and Stockholder Relations committee maintains the right balance of knowledge, experience, background and capability on key ESG matters.
	2-18 Evaluation of the performance of the highest governance body	–	See Governance Guidelines and pages 17-18 of the 2024 Proxy Statement for TI's board evaluation process.
	2-19 Remuneration policies	–	See Governance Guidelines , pages 22-25 of the 2024 Proxy Statement , Recoupment of Executive Compensation Policy and Board Oversight of ESG Matters for TI's remuneration policies for directors and executive officers.
	2-20 Process to determine remuneration	–	See pages 22-26 of the 2024 Proxy Statement , Executive Compensation Consultants Policy and Recoupment of Executive Compensation Policy for TI's remuneration policies for directors and executive officers.
2-21 Annual total compensation ratio	–	See pages 55-57 of the 2024 Proxy Statement for compensation pay ratios.	

GRI Content Index

Strategy, policies and practices			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 2: General disclosures	2-22 Statement on sustainable development strategy	4	See Letter from the CEO for the company's commitment to citizenship and sustainability.
	2-23 Policy commitments	24-30	See Living our values – TI's ambitions, values and code of conduct , Supplier Code of Conduct , Governance Documents and Governance for policies related to responsible business conduct, human rights and employee reporting methods.
	2-24 Embedding policy commitments	24-30	See Ethics and Compliance , Supplier Code of Conduct , Governance Documents and Governance for how TI embeds policy commitments.
	2-25 Processes to remediate negative impacts	24-30	See Ethics and Compliance and Supply-Chain Responsibility to learn how TI identifies and remediates negative impacts. We investigate and work to resolve all inquiries and take appropriate remedial measures.
	2-26 Mechanisms for seeking advice and concerns	25, 28-30	See Ethics and Compliance for how employees can report concerns. TI will not tolerate retaliation against those who have reported an issue in good faith. Anyone who retaliates against an employee for these activities is subject to disciplinary action, including termination.
	2-27 Compliance with laws and regulations	–	TI did not receive material fines or nonmonetary sanctions related to social, economic and environmental issues in 2023.
	2-28 Membership associations	33	See industry associations for organizations where TI collaborates on various policy objectives. We are more active in some organizations than others, do not work on all association issues, and may not align on all positions. We also collaborate with other external groups and coalitions, such as the Responsible Business Alliance (RBA) and Semiconductor Industry Association, to advance our public policy priorities.

Stakeholder engagement			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 2: General disclosures	2-29 Approach to stakeholder engagement	–	<p>We regularly engage with stakeholders who directly influence or are interested in our operations (that is, employees, customers, shareholders, communities where we have operations, academia, public officials, trade associations, regulatory agencies, nongovernmental organizations, analysts, suppliers, contractors, retirees and prospective employees). On ESG matters, we routinely engage investors, customers, suppliers, policymakers and other stakeholders to discuss issues of mutual interest.</p> <p>We tailor engagement strategies, interactions and communications to stakeholders' unique interests and needs. We remove communication barriers by translating information, delivering cultural sensitivity training, addressing accessibility issues, and using engagement channels based on cultural preferences. Our senior leaders regularly share stakeholder feedback on ESG matters with the executive team and board of directors.</p> <p>Stakeholders can ask questions or share opinions through our website (TI.com), email (citizenshipfeedback@list.ti.com) and social media channels. We have an accounting and audit hotline for addressing accounting- and audit-related topics and relate all inquiries received on the hotline to the Audit Committee chair of our board of directors.</p>
	2-30 Collective bargaining agreements	30	Employees at our global operations have always had the freedom to associate and the right to collective bargaining as provided by local statutes; therefore, we do not track the percentage of employees covered by such agreements.

GRI Content Index

Material topics

GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 3: Material topics	3-1 Process to determine material topics	–	<p>TI engages in an annual comprehensive review process to identify material topics. This entails:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Actively soliciting input from internal and external stakeholders. • Assessing geopolitical, social, labor and economic tensions as well as security, water, public health and climate change risks. • Evaluating financial and inflationary conditions. • Reviewing internal and third-party sustainability assessments. • Benchmarking against peers. <p>We then compare these inputs to our company priorities to determine what topics and disclosures to include in our annual Corporate Citizenship Report.</p>
	3-2 List of material topics	–	<p>TI's material topics include:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Business continuity and risk management. • Environmental impact (GHGs, energy and water consumption, and wastewater management). • Material consumption and disposal and chemical management. • Workplace (diversity and inclusion, recruitment and retention, development, compensation, and health and safety). • Supply-chain responsibility (including labor and human rights and responsible minerals sourcing). • Ethics. • Public policy. <p>Additional important topics to TI and its stakeholders include giving and volunteering.</p>
	3-3 Management of material topics	–	<p>See indicators 3-3 in this index and the following pages in the 2023 Corporate Citizenship Report for information about how TI manages material topics:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Risk Management and Business Continuity. • Environmental Sustainability. • Workplace. • Supply-Chain Responsibility. • Ethics and Compliance. • Public Policy. • Giving and Volunteering.

GRI Content Index

GRI 200 series

Economic performance			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 201: Economic performance	3-3 Management of material topics	–	See TI's 2023 Annual Report, 2024 Proxy Statement and SEC Form 10-K for information about how the company facilitates economic growth and manages financial performance.
	201-1 Direct economic value generated and distributed	35, 40	See: <ul style="list-style-type: none"> • TI's 2023 Annual Report, 2024 Proxy Statement and SEC Form 10-K for economic value generated and distributed. • Giving and Volunteering and Performance Data in the appendix for philanthropic contributions.
	201-2 Financial implications and other risks and opportunities due to climate change	31	TI evaluates risks related to the changing environment, such as severe weather, water availability, flooding and other threats. Each site and region evaluates these broader environmental risks. We invest capital in engineering controls that reduce operational and environmental impacts. We base each manufacturing site's financial value on product revenue generated and its assets. Any potential revenue loss associated with an environmental or severe weather event generates a potential business interruption loss, which we can partially offset by insurance. TI's Risk Management and Business Continuity office reports companywide risks, such as those associated with environmental change, to the chief financial officer. See the SEC Form 10-K and the latest CDP response for additional information.
	201-3 Defined benefit plan obligations and other retirement plans	21	TI has various employee retirement plans, including defined contribution, defined benefit and retiree health care benefit plans. Contributions to these plans meet or exceed all minimum funding requirements. See SEC Form 10-K , Part II, Item 8, Note 7, pages 44-49: Postretirement Benefit Plans. For all U.S. employees who opt into and contribute to a 401(k), we match 100% of their contributions, up to 4% of annual eligible earnings. We match up to 2% percent for employees who continue to accrue a benefit in our pension plan. For qualifying employees, we offer deferred compensation arrangements. We offer a global profit-sharing program that rewards all eligible Tiers for contributing to our financial success. Some countries, such as France and Mexico, have statutory requirements for their local profit-sharing programs, which we meet.
201-4 Financial assistance received from the government	33	TI receives tax-benefit incentives from federal, state and local governments worldwide. These incentives are commonly available to manufacturing companies with investments in equipment and facilities, employment, and R&D. See SEC Form 10-K for details about government incentives, awards, grants, royalties, tax relief and other financial incentives.	

Market presence			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 202: Market presence	3-3 Management of material topics	17, 21	See Compensation and Benefits , Recruitment , GRI 401: Employment and GRI 406: Anti-Discrimination for workplace information.
	202-1 Ratios of standard entry-level wage by gender compared to local minimum wage	–	TI does not maintain a standard entry-level wage for every country. However, our processes ensure that we continuously pay employees above the local minimum wage in every country in which we operate. We compensate each employee based on their experience, performance, roles and responsibilities, regardless of gender, race, ethnicity or other protected characteristics.
	202-2 Proportion of senior management hired from the community	–	TI recruits senior management across the globe and promotes a high percentage of leaders from within. We currently don't have a tracking system to gather hiring data geographically in this way.

GRI Content Index

Procurement practices			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 204: Procurement practices	3-3 Management of material topics	27, 29	See Supply-Chain Responsibility , Responsible Minerals Sourcing and TI's Supplier portal to learn to learn about how TI manages its supply chain. TI is expanding fabrication sites in the U.S. to lower costs and gain greater control of its supply chain. We source materials, parts and supplies from a diverse set of suppliers globally. Those essential to our business are generally available, and we believe that they will be available in the foreseeable future.
	204-1 Proportion of spending on local suppliers	27	TI does not currently report supplier spending by individual markets. In the U.S., we pursue business opportunities with minority- and women-owned business enterprises, and spent more than \$580 million with diverse suppliers in 2023.

Anti-corruption			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 205: Anti-corruption	3-3 Management of material topics	25, 27	See Ethics and Compliance and Living our values – TI's ambitions, values and code of conduct for how we prevent corruption. We assess all manufacturing sites for corruption and ethics risks annually using the RBA's self-assessment tools. Additionally, we leverage an industry-leading anti-corruption and third-party management system to assess our external engagements.
	205-1 Operations assessed for risks related to corruption	–	TI's anti-corruption compliance program assesses worldwide operations and suppliers for corruption risks. While TI operates in countries that are considered at higher risk for corruption, the semiconductor industry experiences relatively low risk compared to other industries that require considerable interaction with government officials. We have policies in place and deliver focused training for certain high-risk countries and functions to mitigate these risks.
	205-2 Communication and training about anti-corruption policies and procedures	25, 28	TI provides ethics and compliance awareness training that includes anti-corruption topics to all employees, select suppliers and third parties. Additionally, we make our anti-corruption policy and code of conduct available to all employees and translate them into multiple languages. We periodically assess and revise training programs and related efforts to reflect legal changes and advance continuous compliance improvement. The Code of Ethics for TI CEO and Senior Finance Officers outlines the expectations of executives.
	205-3 Confirmed incidents of corruption and actions taken	–	TI investigates all reports for review and action. If any confirmed incidents occur, we will take appropriate remedial actions. For confidentiality reasons, we do not publicly report the number or nature of such incidents.

Anti-competitive behavior			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 206: Anti-competitive behavior	3-3 Management of material topics	25	See Ethics and Compliance and Living our values – TI's ambitions, values and code of conduct to learn about the company's management approach to anti-competitive behavior.
	206-1 Legal actions for anti-competitive behavior, antitrust, and monopoly practices	–	See SEC Form 10-K page 16 for material legal proceedings involving TI.

GRI Content Index

Tax			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 207: Tax	3-3 Management of material topics	–	See TI's Global Tax Policy .
	207-1 Approach to tax	–	See TI's Global Tax Policy .
	207-2 Tax governance, control and risk management	–	See TI's Global Tax Policy .
	207-3 Stakeholder engagement and management of concerns related to tax	–	See TI's Global Tax Policy . We support local, national and international tax policies that recognize the semiconductor industry is global, capital-intensive and R&D-focused. Worldwide, we seek to ensure that our tax policies are competitive, predictable and transparent.
	207-4 Country-by-country reporting	–	We report tax obligations in accordance with country-specific requirements.

GRI Content Index

GRI 300 series

Worldwide environmental management			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
N/A	3-3 Management of material topics	8, 22	<p>Note: The following applies to TI's overall environmental, safety and health (ESH) management. See Environmental Sustainability and Health and Safety for more information.</p> <p>Management system Our ESH management system facilitates the planning, execution, evaluation and management oversight of activities and strategies. It meets certification requirements set by the International Organization for Standardization (ISO) 14001 (environmental management system criteria) and ISO 45001 (occupational health and safety management system criteria). Our management system also contains programs, policies, controls, processes and measurement tools based on industry best practices and international standards. It helps us mitigate risks, improve our performance, fulfill compliance obligations, and achieve our objectives.</p> <p>Programs include extensive chemical and material screening, material sourcing, waste profiling, emissions management, and responsible recycling and disposal. We require 100% of our employees and supplemental contractors at all manufacturing and assembly and test sites to adhere to management system requirements. Other personnel not managed by TI are responsible for following their companies' ESH management procedures and applicable regulatory requirements.</p> <p>To ensure that our management system is effective, our Worldwide ESH Compliance Support team and independent third parties perform audits at each facility every three years; in interim years, the facilities perform self-assessments. They examine compliance with legal and TI standards and training effectiveness. Additionally, we:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Survey employees and external stakeholders. • Conduct legally required inspections and monitor incident rates. • Benchmark against the RBA's self-assessment disclosure, its code of conduct, and against peers and members of the Semiconductor Industry Association. • Assess select sites using a third-party auditor under the RBA's Validated Audit Program. <p>We communicate gaps and best practices to other sites and have not had to make significant adjustments to our corporate-level ESH management system because of audit findings. Each manufacturing site also reports performance using a scorecard that measures energy use, water efficiency and landfill diversion. We share scorecards internally to build awareness of best practices and hold ourselves accountable for improvement.</p> <p>Additionally, we provide our ESH team with extensive training and tools to implement appropriate industry best practices and comply with regulatory requirements.</p> <p>Policies We require employees and supplemental contractors at all manufacturing and assembly and test sites to adhere to our ESH Policy and Principles. It is available in multiple languages: traditional Chinese, simplified Chinese, Japanese, Malay, Spanish, German and Korean. Living our values – TI's ambitions, values and code of conduct also contains environmental management expectations.</p> <p>Engagement We evaluate a proposed project's potential positive and negative impacts on a community by conducting environmental impact assessments.</p> <p>Grievance channels All employees and supplemental contractors have "stop work" authority to remove themselves from work situations that they believe could cause injury, illness or environmental harm. They can also anonymously contact their supervisor, site ESH staff or the TI Ethics Office. Customers can contact TI.com/support or email all other ESH-related inquiries to citizenshipfeedback@list.ti.com.</p>

GRI Content Index

Energy			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 302: Energy	3-3 Management of material topics	11	See Energy and Worldwide Environmental Management in this index for how TI manages energy consumption.
	302-1 Energy consumption within the organization	11, 42	See Energy and Performance Data in the appendix for energy consumed from renewable and non renewable sources.
	302-2 Energy consumption outside the organization	11, 42	See our most recent CDP response for details on energy consumed outside TI.
	302-3 Energy intensity	–	TI's 2023 energy intensity ratio was 0.41. When calculating energy intensity, we divide the total energy consumption by the number of wafer chips (not including external manufacturing) produced each year. We then compare this to a 2015 base year to report a ratio based only on internal energy consumption. The energy types included in the ratio are natural gas, gasoline, diesel, electricity, propane, fuel oil, liquid petroleum gas and district heating.
	302-4 Reduction of energy consumption	42	See Performance Data in the appendix for energy reduction data.
	302-5 Reduction in energy requirements of products and services	–	TI does not have data collection processes to track, record and report this information exactly this way.

Water and effluents			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 303: Water and effluents	3-3 Management of material topics	12	<p>See Water, Worldwide Environmental Management in this index and our most recent CDP response to learn more about water management. TI's ESH water-management standard outlines requirements of wastewater programs, sewage treatment programs, stormwater pollution prevention and water reduction activities at each site. Additionally, we:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Visually inspect our on-site wastewater treatment plants regularly to ensure that they operate properly and do not leak. • Periodically clean the plants and inspect the treatment basins for integrity. • Hire trained or certified operators as required. <p>We calculate consumption data from water utility bills at sites that we financially control and that are larger than 50,000 square feet. Each year, we voluntarily report our water footprint to the CDP and in this report.</p> <p>Water sources Our water sources include surface water from local municipal supplies and groundwater. Our water footprint comprises three types of water:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Nonmanufacturing – used in restrooms, irrigation, drinking fountains and cafeterias. • Manufacturing – used to rinse wafers after chemical processing or for other fabrication processes. • Manufacturing support – used in exhaust abatement and cooling systems.

GRI Content Index

Water and effluents (cont.)			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 303: Water and effluents	303-1 Interactions with water as a shared resource	12	<p>No water impacts are directly attributable to discharges and runoff at any TI site. We sustain this by maintaining compliance with discharge limits in our permits, following TI standards, and ensuring that sites follow good housekeeping practices while actively collaborating to continuously improve and minimize exposure to water pathways.</p> <p>See Water and TI's most recent CDP response for how TI interacts with water and collaborates with stakeholders regarding this shared resource.</p> <p>TI's main manufacturing and assembly and test facilities set annual water conservation goals based on projects they identified as part of the company's ongoing water reduction strategy. Sites develop and complete water conservation projects based on various factors, including process system reliability, economic feasibility and sustainability targets. Public policy and water stress also factor into these decisions, influencing the availability and cost of water, which drive water reduction and reclaim efforts to ensure system reliability and business continuity.</p>
	303-2 Management of water discharge-related impacts	12	<p>See Water and TI's most recent CDP response to learn more about wastewater management. Local regulatory agencies set minimum quality standards for effluents, which all TI sites manage to permissible limits. Some regulators incorporate sector-specific standards to set their requirements.</p> <p>Our internal water management standard includes guidelines that ensure compliance with wastewater, stormwater and sewage discharge permits, along with other requirements. Sites monitor water quality and have procedures to manage spills or other abnormalities. We report wastewater discharges and the portion of total water discharged through regulated wastewater treatment points to local, state, federal and international regulatory agencies.</p>
	303-3 Water withdrawal	44	See Performance Data in the appendix for water withdrawal data. Municipal sources and groundwater supply our water. We calculate withdrawal from sites TI fully controls larger than 50,000 square feet.
	303-4 Water discharge	43	Federal, state or local regulators create wastewater permits that define and determine priority substances that must meet discharge limits. We comply with these limits by treating water in on-site treatment plants, separating concentrated metals and solvents from waste streams, and taking other actions. See Performance Data in the appendix for water discharge data.
	303-5 Water consumption	12, 43	See Water and Performance Data in the appendix for water consumption and storage data. We calculate consumption data from total water usage and site-specific factors, such as evaporation, irrigation and boiler or cooling tower use. We verify this data by examining site water balances and discharge flow rates from our wastewater and sewage treatment systems. TI reports water usage data to local, state, federal and international regulatory agencies.

GRI Content Index

Emissions			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 305: Emissions	3-3 Management of material topics	10	<p>See Greenhouse Gas Emissions, Worldwide Environmental Management in this index and TI's most recent CDP response to learn more about how we manage GHGs. We conduct routine monitoring and audits to comply with air quality and GHG emission regulations and reporting requirements that vary by country, state and municipality. We must report U.S. GHG emissions to the U.S. EPA to comply with mandatory reporting requirements.</p> <p>The EPA requires that the semiconductor industry (among other industries) measure and report annual fluorinated GHG emissions (such as sulfur hexafluoride [SF₆], perfluorocarbons [PFCs] and hydrochlorofluorocarbons), as well as GHG emissions from combustion sources. We also voluntarily report our GHG emissions data to the World Semiconductor Council (as part of the U.S. industry report), the CDP and our annual Corporate Citizenship Report.</p> <p>TI reports U.S. air emissions data to federal and state regulators. We also report chemical releases and pollution prevention activities to the EPA's Toxic Release Inventory.</p> <p>Boundaries Our organizational boundary includes TI manufacturing sites, larger nonmanufacturing sites, and support facilities subject to contracts considered embedded leases by TI for financial accounting purposes. Our operational boundary includes scope 1 and 2 emissions from these sites and facilities, as applicable.</p> <p>For more information on TI's approach to GHG emissions reporting, see the TI Basis of Reporting statement.</p>
	305-1 Direct (scope 1) GHG emissions	41	<p>See Performance Data in the appendix for scope 1 data. The gases included in data calculations include carbon dioxide (CO₂), methane (CH₄), nitrous oxide (N₂O), hydrochlorofluorocarbons (HFCs), PFCs, sulfur hexafluoride (SF₆) and nitrogen trifluoride (NF₃).</p> <p>We calculate scope 1 GHG emissions using relevant guidelines from the Intergovernmental Panel on Climate Change (IPCC), the EPA's Mandatory Reporting Rule and published emission factors. Our methodology includes accepted quantification methods, emission factors and global warming potential. For more information, see TI's most recent CDP response.</p>
	305-2 Indirect (scope 2) GHG emissions	41	<p>See Performance Data in the appendix for scope 2 market- and location-based data and our response to 305-1. The gases included in our market- and location-based data calculations include CO₂, CH₄ and N₂O. In 2023, we made no significant emissions changes that triggered base-year emissions recalculations.</p> <p>The EPA's GHG Mandatory Monitoring and Reporting Requirements (MRR) Final Rule is our source of emissions factors and global warming potential rates. Scope 2 location-based electricity emission factors are from the U.S. EPA eGRID for U.S. sites and the International Energy Agency for all international sites. Scope 2 market-based factors are the Green E residual mix for U.S. locations and the Association of Issuing Bodies Residual mix for our Freising, Germany, location. All calculations for scope 2 emissions follow either U.S. EPA MMR or IPCC Tier 2 requirements. See TI's most recent CDP response for more information.</p>
	305-3 Other indirect (scope 3) GHG emissions	10	See Greenhouse Gas Emissions and TI's most recent CDP response for scope 3 GHG emissions information.
	305-4 GHG emissions intensity	–	TI's normalized GHG market-based emissions intensity ratio in 2023 was 0.32. The ratio equals the emissions intensity in 2023 divided by the emissions intensity in 2005. We calculate the intensity using the sum of scope 1 and scope 2 emissions as the numerator and the number of chips produced within TI as the denominator.
	305-5 Reduction of GHG emissions	10, 41	TI's scope 1 and 2 absolute emissions were down 22% from 2015 to 2023. See Performance Data in the appendix and TI's most recent CDP response for more information about emission reductions.

GRI Content Index

Emissions (cont.)			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 305: Emissions	305-6 Emissions of ozone-depleting substances (ODS)	–	U.S. air emissions data was not available at the time of publication; TI will report emissions to state air quality regulators in Maine, Utah and Texas .
	305-7 Nitrogen oxides (NOx), sulfur oxides (SOx) and other significant air emissions	–	U.S. air emissions data was not available at the time of publication; TI will report emissions to state air quality regulators in Maine, Utah and Texas .

Waste			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 306: Waste	3-3 Management of material topics	13	See Waste and Material Management and Worldwide Environmental Management in this index to learn more about waste management.
	306-1 Waste generation and significant waste-related impacts	13, 45	See Waste and Material Management and Performance Data in the appendix for information and data on waste-stream activities.
	306-2 Management of significant waste-related impacts	13, 14	See Waste and Material Management and Logistics for information on our waste diversion goal and activities. We follow strict standards and protocols for responsibly purchasing, transporting, tracking and disposing of chemicals safely. We have an established process to review, assess and select waste management facilities according to legal requirements. Each TI site is responsible for monitoring and collecting waste data.
	306-3 Waste generated	45	See Performance Data in the appendix for waste-related data.
	306-4 Waste diverted from disposal	45	See Performance Data in the appendix for waste-related data.
	306-5 Waste directed to disposal	46	See Performance Data in the appendix for waste-related data.

Supplier environmental assessment			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 308: Supplier environmental assessment	3-3 Management of material topics	27	See Worldwide Environmental Management in this index, Supplier Code of Conduct , Supplier Environmental and Social Responsibility Policy , and ESH Handbook for Suppliers for TI's approach to supply-chain environmental management.
	308-1 Percentage of new suppliers that were screened using environmental criteria	–	We do not have a process to track the percentage of new suppliers screened. However, we screen any new supplier deemed critical or one that provides on-site services to our factories.
	308-2 Negative environmental impacts in the supply chain and actions taken	27, 28	<p>TI works with thousands of suppliers worldwide and communicates expectations for responsible environmental performance. We assess strategic and high-risk suppliers against our expectations, policies, standards and the RBA code of conduct.</p> <p>We received assessments from 265 suppliers in 2023, including 175 production suppliers representing 370 factories. Of these, eight necessitated corrective actions around training, policy and processes, but none were related to environmental impacts. As a result, we did not terminate any relationship.</p>

GRI Content Index

GRI 400 series

Worldwide workplace management			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
N/A	3-3 Management of material workplace topics	15, 25	See Workplace to learn more about how we manage workplace issues. Grievance channels We offer several channels through which Tiers can submit questions, concerns or grievances without fear of retaliation, including to their supervisor, human resources representative or anonymously through the TI Ethics Office. We also have multiple avenues to report work-related injuries, illnesses, hazards and risks.
Employment			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 401: Employment	3-3 Management of material topics	15, 18	See Workplace and Worldwide Workplace Management in this index and TI's Equal Employment Opportunity Policy for how TI manages employment matters. We regularly monitor our employment processes and focus on reducing bias within them.
	401-1 New employee hires and employee turnover	47	We aim to ensure that our recruiting efforts and workforce reflect the available talent pool. TI hired more than 4,023 employees (including exempt, nonexempt and interns) in 2023. Recruiting efforts and programs are unique by country and region, based on local needs. We recruit from the states and countries where we operate, particularly for entry-level and managerial positions, and then train employees for more advanced roles. We use data analytics to track turnover by region to tailor programs for improvement. In 2023, total turnover was 8.3%, down from 12.2% in 2022. As an indication of workforce longevity, 22% of our employees have worked at TI for more than 20 years.
	401-2 Benefits provided to full-time employees that are not provided to temporary or part-time employees	21	Full-time U.S.-based employees and those who work 20 to 39 hours per week are eligible for all benefits, including medical, pharmacy, dental, vision, retirement, leaves, employee stock purchase plan, and income protection benefits such as life insurance and disability. Temporary or part-time employees working less than 20 hours per week are not eligible for benefits.
	401-3 Parental leave	21	TI offers 100% paid parental leave to part- and full-time U.S. employees who are eligible for benefits. In the U.S., new birth parents are eligible for 12 weeks of paid time off. All other new parents are entitled to four weeks of fully paid parental leave, regardless of gender, sexual orientation or family structure. In 2023, 365 U.S. employees used parental leave. For our employees outside of the U.S., we offer varying programs according to local market practices and regulations.
Labor and management relations			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 402: Labor and management relations	3-3 Management of material topics	15	See Workplace and Worldwide Workplace Management in this index for how we manage employee relationships. To keep communication channels open and gather and share business information with our teams, we use various communication tools and platforms to facilitate open dialogue, share our expectations, and reinforce our values. Our managers are the first to engage Tiers, so we invest in their development and training to help them be stronger, more inclusive, and ensure that we operate in accordance with TI values.
	402-1 Minimum notice periods regarding operational changes	-	TI complies with all legal and regulatory requirements in this area for the jurisdictions in which it operates. In the U.S., TI's policy is to provide at least one week's notice regarding shift changes. We provide at least 60 days' notice (or pay in place of notice) for reductions in force. Outside the U.S., we adhere to local labor laws.

GRI Content Index

Occupational health and safety			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 403: Occupational health and safety	3-3 Management of material topics	22	<p>See Safety and Health and Worldwide Environmental Management in this index to learn more about our management approach. Our management responsibilities include having:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Formal ESH committees at our manufacturing sites – which include managers, ESH specialists and Tiers – work with site managers to oversee health and safety management systems. • Manufacturing and assembly and test safety councils, comprising ESH and ergonomics representatives, drive a safety-focused manufacturing culture within our facilities. • Leaders at all levels support and reinforce consistent safety practices, including training and reporting. • Employees complete applicable training and keeping their work environments safe. <p>Policies</p> <ul style="list-style-type: none"> • TI's Threat-Free Work Environment Policy describes our expectations. • TI's Supplier Code of Conduct requires that suppliers ensure their working conditions are safe. • TI's Supplier Environmental and Social Responsibility Policy outlines health and safety expectations. • TI's ESH Handbook for Suppliers summarizes standards, policies, guidelines and general practices.
	403-1 Occupational health and safety management system	22	<p>TI's health and safety management system is voluntarily third-party certified to ISO 45001:2018. This management system:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Comprises interrelated and interacting elements used to establish our ESH policy, principles and objectives. • Drives a reduction of occupational injuries and diseases and promotes and protects the physical and mental health of employees, contractors, customers and visitors. • Records performance data; identifies trends, weaknesses and hazards; and remedies flaws. • Ensures the quality of and facilitates workers' access to safety and occupational health services. <p>We require 100% of employees and supplemental contractors at all manufacturing and assembly and test sites to adhere to management system requirements. Other personnel not managed by TI are responsible for following their companies' ESH management procedures and applicable regulatory requirements.</p>
	403-2 Hazard identification, risk assessment and incident investigation	22	<p>All TI sites are covered by occupational safety and health standards that help identify, evaluate and control potential workplace hazards. TI provides resources, training, one-on-one engagement and other tools to promote mental well-being and improve or maintain physical health. All workers are responsible for and receive periodic training and communications on reporting unsafe conditions and injuries by calling internally managed emergency response centers. They also receive training on their responsibility to suspend any operation or deactivate any equipment in the event of imminent risk to life, health or the environment.</p> <p>Assessments</p> <p>Through routine programs, facility self-assessments and audits, work area sampling, and health and safety surveys, we assess potential safety and health risks by:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Identifying, assessing and documenting potential workplace hazards and risks using qualitative and quantitative methods, and implementing appropriate controls to mitigate risks. • Using the assessment results to identify annual goals to drive risk-reduction projects in accordance with ISO 45001:2018. • Investigating all incidents and near misses to analyze the root cause and take corrective and preventive actions. • Communicating lessons learned and corrective action plans to other sites and groups to avoid similar issues. • Documenting all incidents for review by a central recordkeeping review panel, which ensures the quality and accuracy of each injury investigation and its associated documentation. • Conducting internal and external audits to verify the quality and effectiveness of our processes. TI's needs and regulatory requirements determine competency requirements specific to job functions.

GRI Content Index

Occupational health and safety (cont.)			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 403: Occupational health and safety	403-3 Occupational health services	22	<p>See Safety and Health to learn more about occupational health services. TI ensures the quality of occupational health services through:</p> <ul style="list-style-type: none"> • On-site clinics staffed by medical practitioners who hold recognized qualifications. • Its worldwide medical director, who reviews statements of work for medical providers and conducts on-site reviews as needed. • Medical surveillance oversight and monitoring of occupational health examinations. <p>All TI sites:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Use an industrial hygiene program to identify, evaluate and control potential workplace hazards. • Collect employee health data to design custom health-improvement programs. • Manage all personal health-related information as confidential according to all legal requirements and our confidentiality classification expectations.
	403-4 Worker participation, consultation and communication on occupational health and safety	22	<p>TI sites have health and safety committees comprising ESH staff, site managers and employees who typically meet monthly to discuss site-specific needs. We consult with employees and supplemental contractors on various management system programs, training courses, and hazard and risk assessments to encourage their feedback on closing gaps, improving performance, and proactively managing risks.</p> <p>For employees not actively engaged in safety meeting discussions, a representative, such as a manufacturing superintendent, will attend and provide a conduit for information sharing.</p>
	403-5 Worker training on occupational health and safety	22	<p>To reinforce TI's commitment to employee safety, we:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Train employees to prioritize safety, speak up about potential hazards, correct or report unsafe behaviors and conditions, follow procedures and policies, and use personal protective equipment. • Deliver occupational health and safety training to 100% of our employees and supplemental contractors. • Tailor training to each role to reinforce our commitment to compliance, resilient ESH standards and customers' performance expectations. • Reinforce expectations regularly through safety campaigns, articles, meetings, posters and reminder emails. <p>Our ESH leadership team reviews key outcomes and determines focus areas and opportunities for improvement every year. We expect our employees to share lessons learned and best practices to prevent future incidents and recognize and reinforce safe behavior.</p>
	403-6 Promotion of worker health	22	<p>See Safety and Health to learn more about occupational health services. For ergonomics risk, we:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Implement high- and medium-risk-reduction projects that help sites identify and reduce musculoskeletal disorder risks. • Engage workers to assess safety and ergonomics risks and reinforce solutions. • Implement a hearing conservation program and controls, which we continuously monitor according to our medical surveillance program. • Created a website to help at-home employees conduct ergonomic assessments. • Offer a health care plan for U.S. employees that includes free access to a preventive provider who works with musculoskeletal discomfort. <p>At our manufacturing sites, we provide training on proper stretching to prepare the body for work and reduce fatigue, which is led by contracted health and fitness professionals and reinforced through a training manual and posters.</p> <p>U.S. employees also have access to on-demand stretching breaks and fitness classes. In the U.S., our Well-Being Steering committee increases awareness of TI's wellness benefits and programs.</p> <p>TI's Safety Panel reviews all reported injury and illness cases. We share lessons learned with employees to increase risk awareness and deliver monthly safety topics to reinforce safe practices.</p>

GRI Content Index

Occupational health and safety (cont.)			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 403: Occupational health and safety	403-7 Prevention and mitigation of occupational health and safety impacts directly linked by business relationships	27	See Supplier Code of Conduct and Supplier Environmental and Social Responsibility Policy for expectations about supplier health and safety. See TI's response to GRI 403-1 and GRI 403-3 in this index for information about mitigating health and safety impacts.
	403-8 Workers covered by an occupational health and safety management system	–	TI's occupational health and safety management system is third-party certified to ISO 45001 requirements and covers 100% of employees and supplemental contractors. (Its parameters exclude turnkey suppliers and non-TI-managed workers, as they are expected to follow their companies' procedures and applicable regulatory requirements.) To ensure the effectiveness of our management system, the Worldwide ESH Compliance support team and independent third parties audit each facility every three years; in interim years, the facilities perform self-assessments.
	403-9 Work-related injuries	22, 51	See Performance Data in the appendix for injury data. The calculation is based on 200,000 hours worked and excludes temporary labor provided by turnkey suppliers or non-TI-managed workers. The main employee and worker injuries include overexertion, awkward posture or ergonomics issues, contact with an object (struck by or against), falls, slips, trips, and loss of balance.
	403-10 Work-related ill health	51	See Performance Data in the appendix for ill-health data (the calculation excludes temporary labor provided by turnkey suppliers or non-TI-managed workers). The main types of employee ailments include overexertion and awkward posture or ergonomics issues.

Training and education			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 404: Training and education	3-3 Management of material topics	20	See Talent Development and Worldwide Workplace Management in this index to learn more about how TI manages employee development. To strengthen development programs, we: <ul style="list-style-type: none"> • Track attendance in mandatory training programs to ensure compliance. • Assess training content to ensure that it is accurate and relevant. We work with facilitators and subject-matter experts to improve program content where needed. • Benchmark with training providers and other companies to ensure the effectiveness of our learning modalities. • Conduct internal and external audits to verify the quality and effectiveness of our processes. TI's needs and regulatory requirements determine competency requirements specific to job functions.
	404-1 Average hours of training per year per employee	20	Employees globally received, on average, approximately 40.13 hours of training in 2023.
	404-2 Programs for upgrading employee skills and transition assistance programs	20	See Talent Development for various development opportunities offered to employees throughout their careers. If workforce reductions occur, we make every effort to transfer impacted employees to other open positions within TI. When transfers are not possible, we provide severance packages that include résumé and job search assistance.

GRI Content Index

Training and education (cont.)			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 404: Training and education	404-3 Percentage of employees receiving regular performance and career development reviews	–	<p>TI supports employees owning their careers, which includes three main components: performing in your current role, developing your capability, and planning your career. We encourage goal setting at the beginning of each year, including performance and development goals and formal performance reviews twice a year to confirm that employees understand their own goals and manager expectations.</p> <p>We do not track the number of employees receiving performance reviews. We have seen greater success in employee engagement, goal setting and alignment with our priorities by encouraging better conversations between supervisors and employees. We provide access to online resources to guide these conversations. We also host workshops on setting goals, reviewing performance, development planning, engaging and retaining talent, and career planning.</p>

Diversity and equal opportunity			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 405: Diversity and equal opportunity	3-3 Management of material topics	18	See Diversity and Inclusion and Worldwide Workplace Management in this index to learn more about our management approach. To assess our diversity strategy's effectiveness, we evaluate the outcomes of our various diversity, equity and inclusion efforts to determine any necessary adjustments. We also benchmark our strategy, programs and outcomes against our peers, and monitor reported concerns or grievances.
	405-1 Diversity of governance body and employees	24, 47	See Governance for board diversity data and Performance Data in the appendix for workforce data.
	405-2 Ratio of basic salary and remuneration of women to men	21	<p>We have a long-standing practice to pay our employees fairly and equitably. TI maintains competitive and equitable compensation policies. We designed checks and balances into our compensation system, including conducting regular in-depth analyses, to ensure that we achieve them.</p> <p>We annually conduct a compensation analysis examining gender and race pay parity for base, bonus and equity that considers job type, job level and country. Our analysis for 2023 again confirmed that within the U.S. and worldwide, TI pays women as much as men.</p> <p>In the U.S., TI pays minorities as much as nonminorities. Globally, women make \$1.015 for every \$1.000 men earn. In the U.S., women make \$1.006 for every \$1.00 men earn, and minorities make \$0.997 for every \$1.000 non-minorities earn.</p>

Non-discrimination			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 406: Non-discrimination	3-3 Management of material topics	25	<p>See Worldwide Workplace Management in this index, Living our values – TI's ambitions, values and code of conduct, and our Equal Employment Opportunity Policy to learn about nondiscrimination standards. We:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Take measures to ensure that recruiting efforts and workforce reflect the available talent pool. • Measure participation in diversity initiatives. • Monitor concerns or grievances reported. • Benchmark programs and strategies against our peers.
	406-1 Incidents of discrimination and actions taken	–	We investigate and work to resolve all discrimination inquiries and take appropriate remedial measures. TI does not publicly report the number or nature of such incidents for confidentiality reasons. We periodically review and reassess this information to ensure adequate and effective preventive measures.

GRI Content Index

Freedom of association and collective bargaining			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 407: Freedom of association and collective bargaining	3-3 Management of material topics	30	See Worldwide Workplace Management in this index and Labor and Human Rights for information about how TI manages freedom of association and collective bargaining.
	407-1 Operations and suppliers in which the freedom of association and collective bargaining may be at risk	–	Employees have the freedom to associate, the right to collective bargaining or both, as provided by local statute. We regularly conduct global employee surveys and virtual and in-person roundtable discussions to understand site-specific work environments better. Further, our Supplier Code of Conduct sets the same expectations of our suppliers and their suppliers to commit to the same principles, uphold human rights and ethical practices, and provide a safe work environment.

Child labor			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 408: Child labor	3-3 Management of material topics	30	TI forbids the use of child labor in any area of its business. The Supplier Code of Conduct , Supplier Environmental and Social Responsibility Policy , and Anti-Human Trafficking Statement also forbid child labor in any stage of manufacturing. See Labor and Human Rights and Supply-Chain Responsibility to learn more about our policies, reporting and assessment mechanisms. We use our Living our values, TI's ambitions, values and code of conduct , Business Practices Statement , and membership in organizations such as the RBA as reference points for our approach to managing human rights issues. Assessment We require all worldwide manufacturing sites to complete third-party self-assessment questionnaires annually, focusing on human rights practices. TI and third-party auditors also assess select sites for human rights risks. Policies and practices TI has: <ul style="list-style-type: none"> • Nondiscrimination, workplace safety, anti-human trafficking, working hours, minimum wage, and data privacy policies. Additional policies guide our actions in specific areas, such as supply chain, environmental protection, health and safety, and privacy. • Several operating procedures to safeguard employee, supplier and contractor rights, including labor standards, training and awareness-building practices, freedom to associate, and incident reporting tools.
	408-1 Operations and suppliers at significant risk for child labor	–	TI's Ethics Office is responsible for investigating all child labor allegations at its sites and taking corrective actions if needed. It did not identify child labor concerns at TI operations in 2023. We also received assessments from 265 suppliers in 2023, including 175 production suppliers representing 370 factories. Of the eight that necessitated corrective actions around policy and processes, none were related to child labor. As a result, we did not terminate any relationship.

GRI Content Index

Forced and compulsory labor			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 409: Forced and compulsory labor	3-3 Management of material topics	30	TI forbids forced or compulsory labor in any area of its business. See GRI 408: Child Labor for more information on how TI manages human and labor rights.
	409-1 Operations and suppliers at significant risk for forced or compulsory labor	–	TI's Ethics Office is responsible for investigating all forced or compulsory labor allegations at its sites and taking corrective actions if needed. It did not identify child labor concerns at TI operations in 2023. We also received assessments from 265 suppliers in 2023, including 175 production suppliers representing 370 factories. Of the eight that necessitated corrective actions around policy and processes, none were related to forced or compulsory labor. As a result, we did not terminate any relationship.

Security practices			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 410: Security practices	3-3 Management of material topics	–	Our Worldwide Protective Services organization has a standard protocol for maintaining a globally safe and respectful working environment.
	410-1 Security personnel trained in human rights policies and procedures	–	TI delivers targeted training that includes ethics, compliance and human rights components to 100% of its security personnel, including third-party security contractors.

Local communities			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 413: Local communities	3-3 Management of material topics	35	TI positively impacts the global communities in which it operates through employment, wages, taxes, supplier contracts, indirect jobs, giving and volunteering. Worldwide, our devices are used in technologies that improve education, enhance automotive safety and efficiency, reduce energy consumption, optimize health and well-being, and enable other social and environmental benefits. At each site, we engage government, business and community leaders to build mutually beneficial relationships, identify local needs, responsibly manage shared resources, and prioritize capital and philanthropic investments. We solicit feedback to help us assess our impact and make refinements. TI has stringent standards, policies and processes to ensure that our local operations are safe, that human rights and biodiversity are protected, diversity is valued, employees are compensated fairly and equitably, and all stakeholders are treated with dignity and respect. We strive to be good corporate citizens and enrich the communities where our teams live and play to ensure our collective long-term sustainability.

GRI Content Index

Local communities (cont.)			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 413: Local communities	413-1 Operations with local community engagement, impact assessments and development programs	–	<p>When doing business in new communities, we engage local government, business and community leaders to establish mutually beneficial relationships, understand the availability of infrastructure and shared resources, and the extent of qualified workers to hire. We maintain these relationships and discussions and monitor our collective needs.</p> <p>TI also conducts formal environmental impact assessments to determine water, power and infrastructure availability, the location of sensitive ecosystems and other potential risks. Our sites are currently in industrial areas and do not negatively impact biodiversity or vulnerable populations directly.</p> <p>Additionally, we engage with community leaders and nonprofits that align with our giving priorities so that we may support them through corporate, TI Foundation, employee and retiree donations, disaster relief funding, or volunteering.</p> <p>Stakeholders with questions or concerns about our community, philanthropy and volunteering programs can email citizenshipfeedback@list.ti.com or contact the TI Ethics Office anonymously.</p>
	413-2 Operations with significant potential or actual negative impacts	–	None of TI's sites experienced negative community impacts in 2023.

Supplier social assessment			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 414: Supplier social assessment	3-3 Management of material topics	27	See Supply-Chain Responsibility , Anti-Human Trafficking Statement and the supplier portal for how we manage suppliers' social risks.
	414-1 Percentage of new suppliers that were screened using social criteria		We do not have a process to track the percentage of new suppliers screened. However, we screen any new supplier deemed critical or one that provides on-site services to our factories.
	414-2 Negative social impacts in the supply chain and actions taken	28	<p>TI works with thousands of suppliers worldwide and communicates expectations for responsible social performance. We assess strategic and high-risk suppliers against our expectations, policies, standards and the RBA code of conduct.</p> <p>TI received assessments from 265 suppliers in 2023, including 175 production suppliers representing 370 factories. Of the eight that necessitated corrective actions around policy and processes, none were related to social impacts.</p>

Public policy			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 415: Public policy	3-3 Management of material topics	33	<p>To protect our ability to engineer progress, we advocate for government policies that help us attract talent, drive innovation, and promote competitiveness.</p> <p>We conduct public policy activities transparently, ethically and in compliance with relevant laws, and disclose our membership in industry associations and all political expenditures. We openly describe the role of TI's political action committee. We regularly perform extensive due diligence and provide reports and training to maintain compliance with our standards and requirements. The Governance and Shareholder Relations committee of TI's board of directors reviews these actions annually to confirm their consistency with company policies.</p>

GRI Content Index

Public policy (cont.)			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 415: Public policy	3-3 Management of material topics	33	Across the globe, we engage with policymakers, government authorities, industry organizations and peers to discuss and identify solutions to shared challenges. We assess the effectiveness of this collaboration by our ability to compete fairly and transparently. If any concerns arise, stakeholders can contact our vice president of Worldwide Government Relations or the TI Ethics Office. See Public Policy and TI's Public Policy website for more information.
	415-1 Political contributions	33	TI's political activities and contributions reflect U.S. activity only. We do not make political contributions outside the U.S.

Marketing and labeling			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 417: Marketing and labeling	3-3 Management of material topics	13, 14	TI meets regulatory and customer requirements for material content contained in its labels and packing materials . Information about how we manage restricted chemicals and product labeling is on TI.com.
	417-1 Requirements for products or service information and labeling	14	<p>We aim to comply with ever-changing regulations and import and export laws while delivering products on time. Label requirements vary by material type, customer agreements, and country-specific laws and regulations. We:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Use TI standard labels and create semi-custom labels if customers require them. • Share information about products' possible environmental and social impacts on our Eco-Info page and material content search tool. • Provide applicable safety information in product literature. • Assess and indicate the compliance status of all regulatory and industry requirements for integrated circuit components on our labels and website. <p>Our Restricted Chemicals and Materials program requires that material suppliers and external manufacturers provide appropriate information for TI to assess compliance with restricted chemicals and materials requirements at least annually.</p>
	417-2 Incidents of non-compliance concerning production information and labeling	–	TI complies with information and labeling requirements across the globe, such as the European Union (EU) Restriction of Hazardous Substances, the United Kingdom Conformity Assessed Marking and the EU Directive for Waste Electrical and Electronic Equipment. We also adhere to voluntary codes, such as Underwriters Laboratories, the Canadian Standards Association (North American certification), the China Quality Certification Center (Chinese certification marking) and Verband Deutscher Elektrotechniker (European test certification marking). In 2023, TI had zero noncompliance incidents with regulated and voluntary codes.
	417-3 Incidents of non-compliance concerning marketing communications	–	TI had zero incidents of noncompliance related to product marketing communications in 2023.

GRI Content Index

Customer privacy			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
GRI 418: Customer privacy	3-3 Management of material topics	32	<p>See SEC Form 10-K page 14 for information about cybersecurity risk management, and Information Protection to learn more about privacy and data security. To protect our company, technology and intellectual property from potential cybersecurity threats, we employ various defensive and monitoring techniques based on industry frameworks and cybersecurity standards (which may include personal information). We also collaborate with experts and industry partners about threats, best practices and trends.</p> <p>Assessment We:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Regularly review and test controls to ensure that protections function as they should. • Conduct external penetration tests, internal vulnerability assessments, and audits at the site and business level. • Evaluate our practices against industry standards and vet with external experts. • Address any identified deficiencies. <p>Grievance channels If employees identify potential threats or have questions or concerns about IT security, we have internal channels to assist them. Customers and suppliers can contact us directly through their account managers and other channels.</p>
	418-1 Substantiated complaints concerning breaches of customer privacy and losses of customer data	–	<p>TI investigates and evaluates all potential breaches or privacy concerns that are brought to its attention. While the company does not report or publish information about individual concerns or allegations, we would report or disclose any material breach or data concern as required by applicable legal or regulatory requirements.</p>

Business continuity and risk management			
GRI Standard	Indicator	Page	Additional response
N/A	3-3 Management of material topics	31	<p>See SEC Form 10-K and Risk Management and Business Continuity to learn more about TI's enterprise risk management strategy. TI is a member of the BCP Conference Board, a consortium of business stakeholders who discuss and share best practices on ways to anticipate, mitigate and avoid risks.</p>

Task Force on Climate-Related Financial Disclosures

The Financial Stability Board created the Task Force on Climate-Related Financial Disclosures (TCFD) to improve and increase reporting of climate-related financial information. This index includes information that is not material to TI but may be considered important to TI and its stakeholders.

Category	Subtopic	Description	Response
Governance	Board oversight	Describe the board's oversight of climate-related risks and opportunities.	See Board Oversight of Environmental, Social and Governance (ESG) Matters and TI's most recent CDP response .
	Management's role	Describe management's role in assessing and managing climate-related risks and opportunities.	See Board Oversight of ESG Matters and TI's most recent CDP response .
Strategy	Risks and opportunities	Describe the climate-related risks and opportunities the organization has identified over the short, medium and long term.	See TI's most recent CDP response .
	Impact on organization	Describe the impact of climate-related risks and opportunities on the organization's business, strategy and financial planning.	See TI's most recent CDP response .
	Resilience of strategy	Describe the resilience of the organization's strategy, taking into consideration different climate-related scenarios, including a 2°C or lower scenario.	See TI's most recent CDP response .
Risk management	Risk assessment processes	Describe the organization's processes for identifying and assessing climate-related risks.	See TI's most recent CDP response .
	Risk-management processes	Describe the organization's processes for managing climate-related risks.	See TI's most recent CDP response .
	Resilience of strategy	Describe the resilience of the organization's strategy, taking into consideration different climate-related scenarios, including a 2°C or lower scenario.	See TI's most recent CDP response .
	Integration into overall risk management	Describe how processes for identifying, assessing and managing climate-related risks are integrated into the organization's overall risk management.	See TI's most recent CDP response .
Metrics and targets	Climate-related metrics	Disclose the metrics used by the organization to assess climate-related risks and opportunities in line with its strategy and risk management process.	TI has not defined metrics to assess climate-related risks at this time.
	Scope 1, 2 and 3 GHG emissions	Disclose scope 1, scope 2, and if appropriate, scope 3 GHG emissions and the related risks.	See the Greenhouse Gas Emissions section of TI's 2023 Corporate Citizenship Report and TI's most recent CDP response .
	Climate-related targets	Describe the targets used by the organization to manage climate-related risks and opportunities and performance against targets.	See the Greenhouse Gas Emissions section of TI's 2023 Corporate Citizenship Report and TI's most recent CDP response .

Sustainability Accounting Standards Board

TI uses the Sustainability Accounting Standards Board (SASB) Standards on topics deemed significant to semiconductor companies. This index includes information that is not material to TI, but may be considered important to TI and our stakeholders.

Subtopic	Indicator	Description	Response
Greenhouse gas emissions	TC-SC-110a.1	Gross global scope 1 greenhouse gas (GHG) emissions and the amount of total emissions from perfluorinated compounds.	See Greenhouse Gas Emissions in TI's 2023 Corporate Citizenship Report, Performance Data in the appendix, and TI's most recent CDP response .
	TC-SC-110a.2	Discussion of long- and short-term strategy or plan to manage scope 1 emissions, emissions reduction targets and an analysis of performance against those targets.	See TI's most recent CDP response .
Energy management in manufacturing	TC-SC-130a.1	Total energy consumed, percentage grid electricity and percentage renewable energy.	In 2023, TI consumed 14,009,965 GJ of energy. See Performance Data in the appendix of TI's 2023 Corporate Citizenship Report for additional energy data.
Water management	TC-SC-140a.1	Total water withdrawn, total water consumed, and percentage of each in regions with high or extremely high baseline water stress.	In 2023, TI consumed 4,071 TCM of water and withdrew 24,516 thousand cubic meters. See Performance Data in the appendix of TI's 2023 Corporate Citizenship Report and TI's most recent CDP response for additional water data.
Waste management	TC-SC-150a.1	Amount of hazardous waste from manufacturing, percentage recycled.	TI recycled 68.8% of hazardous waste in 2023; see Performance Data in the appendix of TI's 2023 Corporate Citizenship Report for additional waste-related data. TI uses the Basel Convention on the Control of Transboundary Movements of Hazardous Wastes, and their Disposal framework for waste definitions.
Employee health and safety	TC-SC-320a.1	Description of efforts to assess, monitor and reduce employees' exposure to human health hazards.	See Safety and Health, GRI 403: Occupational Health and Safety section of the GRI index and Performance Data in the appendix of TI's 2023 Corporate Citizenship Report.
	TC-SC-320a.2	Total amount of monetary losses as a result of legal proceedings associated with employee health and safety violations.	TI had no legal proceedings associated with employee health and safety that resulted in monetary losses in 2023.
Recruiting and managing a global and skilled workforce	TC-SC-330a.1	Percentage of employees who are foreign nationals and located offshore.	TI does not track the percentage of employees who are foreign nationals. See Performance Data in the appendix of TI's 2023 Corporate Citizenship Report for the percentage of offshore employees.
Product life-cycle management	TC-SC-410a.1	Percentage of products by revenue that contain International Electrotechnical Commission (IEC) 62474 declarable substances.	TI does not track the percentage of products by revenue that contain IEC 62474 declarable substances.
	TC-SC-410a.2	Processor energy efficiency at a system level for servers, desktops and laptops	Processor energy efficiency is not relevant to our business.
Material sourcing	TC-SC-440a.1	Description of the management of risks associated with the use of critical materials.	See the Responsible Minerals Sourcing section of TI's 2023 Corporate Citizenship Report, TI's Responsible Minerals Policy , and its most recent SEC Form 10-K and Form SD .
Intellectual property protection	TC-SC-520a.1	Total amount of monetary losses as a result of legal proceedings associated with anti-competitive behavior regulations.	TI was not subject to any monetary losses from legal proceedings associated with anti-competitive behavior regulations in 2023.

Independent Limited Assurance Report to Texas Instruments Incorporated

ERM Certification & Verification Services Incorporated (“ERM CVS”) was engaged by Texas Instruments Incorporated (“TI”) to provide limited assurance in relation to the selected information set out below and presented in the 2023 TI Corporate Citizenship Report (the “Report”).

Engagement summary	
Scope of our assurance engagement	<p>Whether the fiscal year 2023 GHG emissions and energy data for the following selected indicators are fairly presented in the Report, in all material respects, in accordance with the reporting criteria.</p> <ul style="list-style-type: none"> • Total Scope 1 GHG emissions (excluding those generated from fluorinated heat transfer fluids) [metric tonnes CO2e] • Total Scope 2 GHG emissions (location-based) [metric tonnes CO2e] • Total Scope 2 GHG emissions (market-based) [metric tonnes CO2e] • Total Energy Consumption [MWH] • Total Renewable Energy [MWH] <p>Our assurance engagement does not extend to information in respect of earlier periods or to any other information included in the Report.</p>
Reporting period	<p>1 January 2023 – 31 December 2023</p> <ul style="list-style-type: none"> • Texas Instruments’ Basis of Reporting Criteria as published on Texas Instruments’ website.
Reporting criteria	<ul style="list-style-type: none"> • World Resources Institute (WRI)/World Business Council for Sustainable Development (WBCSD) Greenhouse Gas (GHG) Protocol Corporate Accounting and Reporting Standard (Scope 2) • United States Environmental Protection Agency (USEPA), Greenhouse Gas Reporting Program (GHGRP), Subpart I –Electronics Manufacturing <p>We performed a limited assurance engagement, in accordance with the International Standard on Assurance Engagements ISAE 3000 (Revised) ‘Assurance Engagements other than Audits or Reviews of Historical Financial Information’ issued by the International Auditing and Assurance Standards Board.</p>
Assurance standard and level of assurance	<p>The procedures performed in a limited assurance engagement vary in nature and timing from and are less in extent than for a reasonable assurance engagement and consequently, the level of assurance obtained in a limited assurance engagement is substantially lower than the assurance that would have been obtained had a reasonable assurance engagement been performed.</p> <p>Texas Instruments is responsible for preparing the Report and for the collection and presentation of the information within it, and for the designing, implementing, and maintaining of internal controls relevant to the preparation and presentation of the Report.</p>
Respective responsibilities	<p>ERM CVS’ responsibility is to provide a conclusion to Texas Instruments on the agreed scope based on our engagement terms with Texas Instruments, the assurance activities performed and exercising our professional judgement.</p>

Our conclusion

Based on our activities, as described below, nothing has come to our attention to indicate that the 2023 data and information for the disclosures listed under ‘Scope’ above are not fairly presented in the Report, in all material respects, in accordance with the reporting criteria.

Emphasis of matter

Without affecting our conclusion, we draw attention to the explanatory notes provided by Texas Instruments relating to the data on page 10 of the Report and on page 4 in the Appendices section of the Report, in particular the limitations relating to the exclusion of Fluorinated Heat Transfer Fluids from Scope 1 GHG emissions reported.

Our assurance activities

Considering the level of assurance and our assessment of the risk of material misstatement of the Report a multi-disciplinary team of sustainability and assurance specialists performed a range of procedures that included, but was not restricted to, the following:

- Evaluating the appropriateness of the reporting criteria for the Report;
- Interviews with relevant staff to understand and evaluate the management systems and processes (including internal review and control processes) used for collecting and reporting the selected disclosures;
- A review at corporate level of a sample of qualitative and quantitative evidence supporting the reported information;
- An analytical review of the year-end data submitted by all locations included in the consolidated 2023 group data for the selected disclosures which included testing the completeness and mathematical accuracy of conversions and calculations, and consolidation in line with the stated reporting boundary;
- In-person site visit to Texas Instruments' North Dallas Campus (USA) and Chengdu (China) facilities to review source data and local reporting systems and controls;
- Evaluating the conversion and-emission factors and assumptions used;
- Reviewing the presentation of information relevant to the scope of our work in the Report to ensure consistency with our findings.

The limitations of our engagement

The reliability of the assured information is subject to inherent uncertainties, given the available methods for determining, calculating or estimating the underlying information. It is important to understand our assurance conclusions in this context.

Our independence, integrity and quality control

ERM CVS is an independent certification and verification body accredited by UKAS to ISO 17021:2015. Accordingly, we maintain a comprehensive system of quality control, including documented policies and procedures regarding compliance with ethical requirements, professional standards, and applicable legal and regulatory requirements. Our quality management system is at least as demanding as the relevant sections of ISQM-1 and ISQM-2 (2022).

ERM CVS applies a Code of Conduct and related policies to ensure that its employees maintain integrity, objectivity, professional competence and high ethical standards in their work. Our processes are designed and implemented to ensure that the work we undertake is objective, impartial and free from bias and conflict of interest. Our certified management system covers independence and ethical requirements that are at least as demanding as the relevant sections of the IESBA Code relating to assurance engagements.

ERM CVS has extensive experience in conducting assurance on environmental, social, ethical and health and safety information, systems and processes, and provides no consultancy related services to Texas Instruments in any respect.

Other Matters - observations

We have provided Texas Instruments with a separate management report. Without affecting the conclusions presented above, we have the following observations:

- During the 2023 assurance engagement, Texas Instruments provided insights on the ongoing assessment of available methodologies, standards and impacts of incorporating Fluorinated Heat Transfer Fluids (FHTFs) into its GHG inventory to align with IPCC 2019 and industry peers. We highly encourage completion of these efforts in 2024.



Andrea Duque
Partner, Corporate Assurance
Malvern, PA

27 March 2024
On behalf of:

ERM Certification & Verification Services Incorporated

www.ermcvs.com | post@ermcvs.com



Notice regarding forward-looking statements

This communication includes forward-looking statements intended to qualify for the safe harbor from liability established by the Private Securities Litigation Reform Act of 1995, including statements regarding expectations for the achievability and impact of the company's environmental sustainability goals. These forward-looking statements generally can be identified by phrases such as TI or its management "will," "believes," "expects," "anticipates," "foresees," "forecasts," "estimates" or other words or phrases of similar import. Similarly, statements herein that describe TI's business strategy, outlook, objectives, plans, intentions or goals are forward-looking statements. All such forward-looking statements are subject to certain risks and uncertainties that could cause actual results to differ materially from those in forward-looking statements. For a more detailed discussion of these factors, see the risk factors discussion in the first quarter of 2024 form 10-Q, filed with the SEC. The forward-looking statements included in this communication are made only as of the date of this communication. We undertake no obligation to update the forward-looking statements to reflect subsequent events or circumstances.